



# Tokyo Asset Management Forum2021

2021年2月24日(水)



開会のご挨拶

# 東京版Emerging Managers Program の紹介

■ FinCity.Tokyo 専務理事 有友 圭一



# Introduction to Tokyo's Emerging Managers Program

2021年2月

一般社団法人 東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)

専務理事 有友圭一

# Objectives of



1. Welcome, embrace and integrate Emerging Managers and international fund managers opening/ expanding presence in Tokyo/ Japan into the existing investment ecosystem
2. Inspire asset owners
3. Make a connections between independent fund managers and asset owners



We would like to obtain your candid feedback and suggestions

# 一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）概要 1/3

法人名	一般社団法人 東京国際金融機構（通称“FinCity.Tokyo”）
法人格	一般社団法人
設立日	2019年4月1日
代表理事/会長	中曾 宏 大和総研理事長（元日本銀行副総裁）
専務理事	有友 圭一
コンタクト	住所：中央区日本橋兜町6番5号 FinGATE KABUTO(〒103-0026) 電話番号：+81-(0)3-5614-0063 (代表) E-mail： <a href="mailto:contact@fincity.tokyo">contact@fincity.tokyo</a> ウェブサイト： <a href="https://fincity.tokyo">https://fincity.tokyo</a> Linkedin： <a href="https://www.linkedin.com/company/14651900/">https://www.linkedin.com/company/14651900/</a> Facebook： <a href="https://www.facebook.com/FinCityTokyo/">https://www.facebook.com/FinCityTokyo/</a>



2016年11月  
小池百合子東京都知事が国際金融都市・東京のあり方懇談会を設置

2017年11月  
東京都が国際金融都市・東京構想を発表

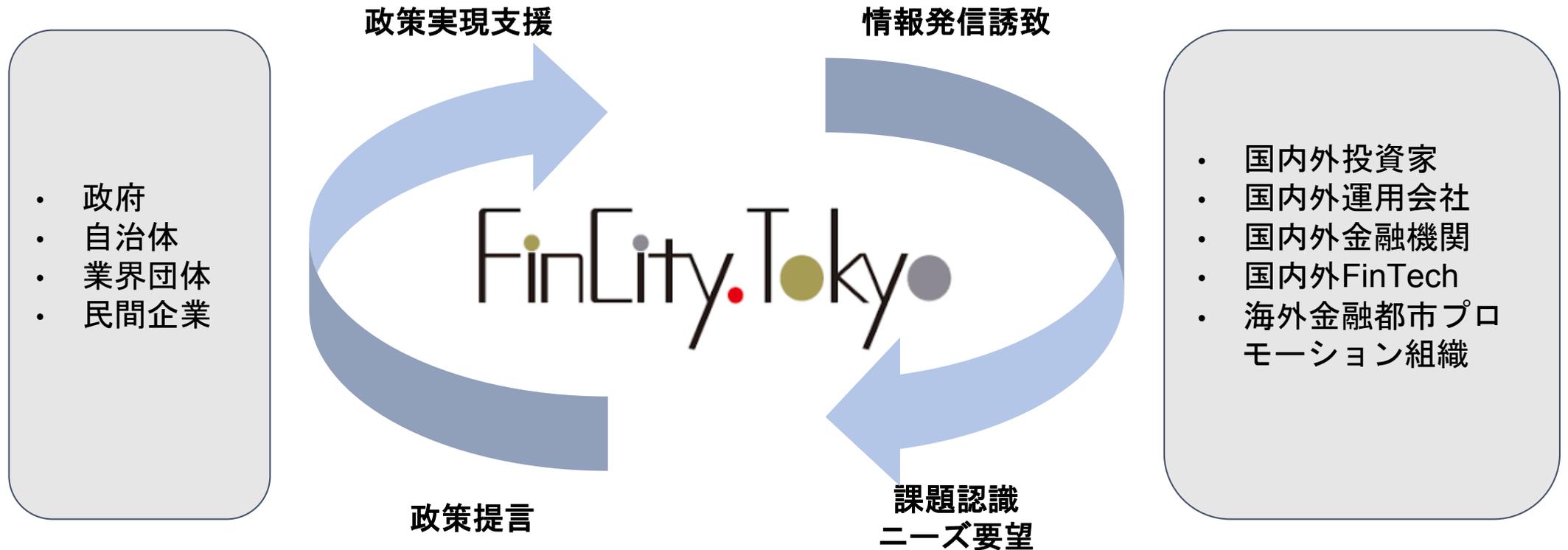
2018年6月  
東京金融プロモーション組織設立のためのワーキンググループ発足

2019年4月～  
FinCity.Tokyo設立ロードショーの実績

- ・パリ（19年7月）
- ・香港（19年8月）
- ・ニューヨーク・アブダビ（19年10月）
- ・香港（19年11月）
- ・香港・ロンドン（20年1月）等

# 一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo）概要 2/3

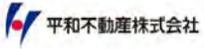
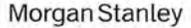
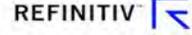
- 東京都が2017年11月にとりまとめた「国際金融都市・東京」構想を契機として、2019年4月に官民連携金融プロモーション組織「一般社団法人東京国際金融機構（FinCity.Tokyo：フィンシティー・トーキョー）」が発足。
- 東京市場に関するプロモーション活動と同時に、利用者のニーズを政府、東京都、業界団体等に伝えることで制度の全体最適を目指す政策提言を推進。



# FinCity.Tokyo 概要 3/3 (2021年1月現在)

現在FinCity.Tokyoには東京都、業界団体、金融機関、機関投資家、サービスプロバイダー等計45社がメンバーとして参画。

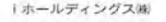
## 正会員 (16)

 株式会社QUICK	 一般社団法人国際銀行協会	 株式会社大和証券グループ本社	 東京都 東京都
 日本証券業協会 日本証券業協会	 DBJ 日本政策投資銀行 株式会社日本政策投資銀行	 株式会社日本取引所グループ	 New Horizon Capital ニューホライズンキャピタル株式会社
 野村ホールディングス株式会社	 平和不動産株式会社	 株式会社みずほ銀行	 三井住友銀行 株式会社三井住友銀行
 三井住友信託銀行株式会社	 三菱UFJ銀行 株式会社三菱UFJ銀行	 モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社	 リフィニティブ・ジャパン株式会社

## 新興企業会員 (8)

 株式会社RIA JAPAN	 カタリスト投資顧問株式会社	 Shift Technology Japan株式会社	 シンフォニーコミュニケーションサービスジャパン合同会社
 株式会社日本資産運用基盤グループ	 株式会社FINOLAB	 株式会社みんの	 ロボット投資株式会社

## 賛助会員 (20)

 Iホールディングス株式会社	 アクセシブリティ株式会社	 アセットマネジメントOne株式会社	 アフィアク生命保険株式会社
 あさひ法律事務所 弁護士法人	 EY Japan株式会社	 クレア株式会社	 KPMGコンサルティング株式会社
 シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社	 短資協会	 一般社団法人投資信託協会	 日本生命 日本生命保険相互会社
 ヌベーン・ジャパン株式会社	 農林中央金庫	 野村総合研究所 株式会社野村総合研究所	 PwC Japan合同会社
 三井不動産株式会社	 三菱地所 三菱地所株式会社	 森ビル株式会社	 株式会社リクルートキャリア

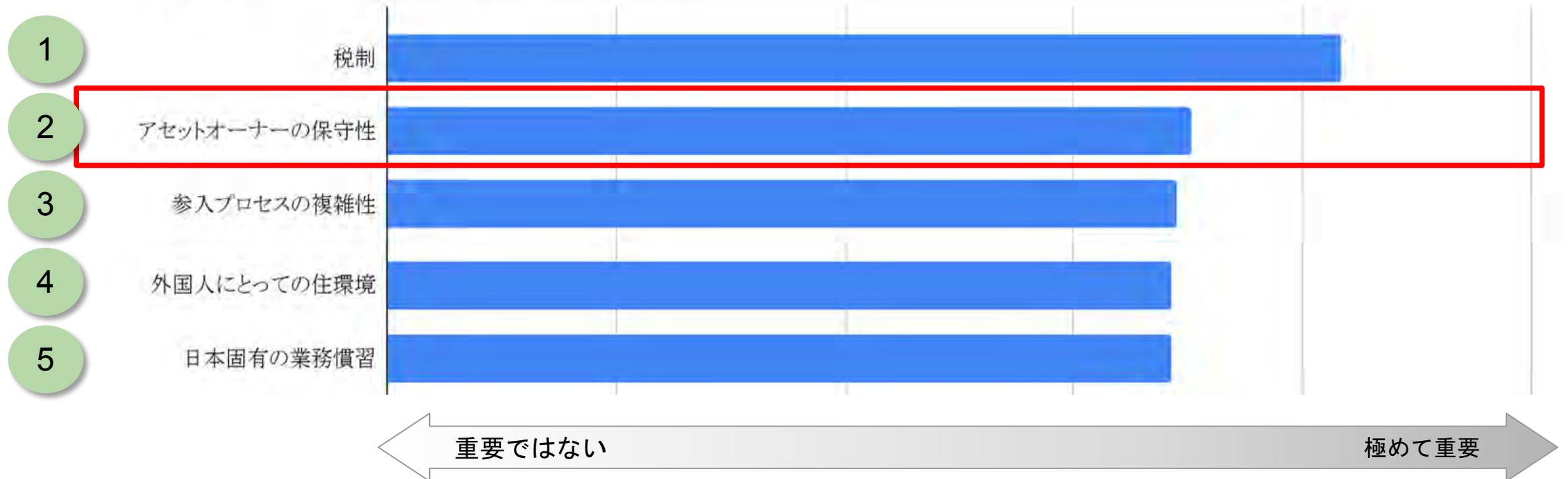
## 特別会員 (1)

 東京都立大学
---

# 新興資産運用会社（Emerging Manager）の育成に係る対応

- 国際金融都市構想を推進する上での重要課題として、税制に次いで年金基金等のアセットオーナーの保守性を問題視する指摘が多い。
- アセットオーナーの先進化・高度化を通じて自らの運用リターン改善を推進するとともに、リスクマネー供給者としての役割を發揮していく必要。

東京の金融都市としての課題 (N=82)



出典：日本証券業協会 資産運用者を対象に実施したニーズ調査 「Japan International Asset Management Center (JIAM) 構想の具現化に向けた調査報告と提言」 (2016年4月)

# FinCity.Tokyoからの政府への提言事項とその進捗状況（1/2）

**Not Exhaustive**

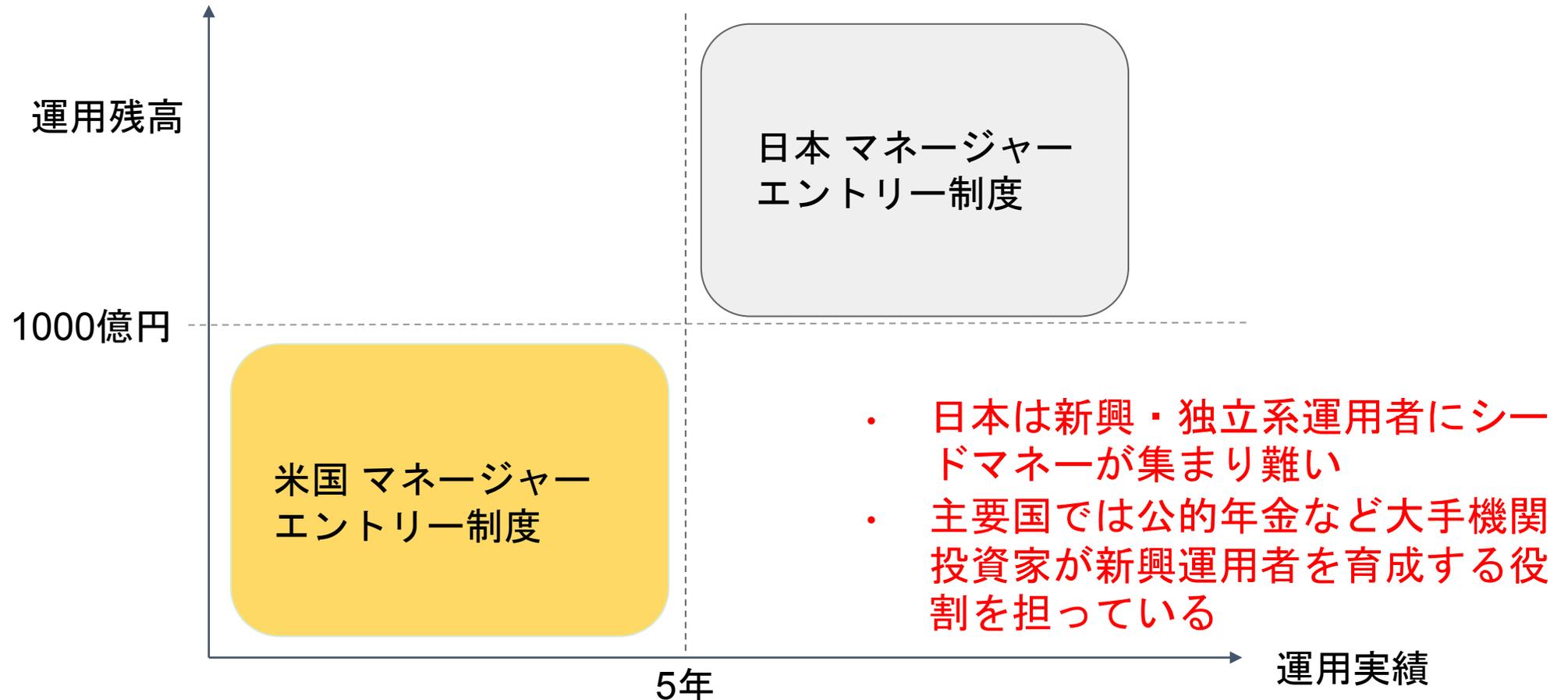
課題と主要な項目	進捗状況
<p>1 資産運用会社等の税制優遇措置の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人税</li> <li>● 相続税</li> <li>● 所得税</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>投資運用業を主とする非上場会社も一定の条件を満たせば、業績連動報酬の損金算入を認める。</u>（21年4月1日以降導入予定）</li> <li>➢ <u>勤務等の為に日本に居住する外国人について、居住期間に関わらず、国外財産を相続税の課税対象外とする。</u>（21年4月1日以降導入予定）</li> <li>➢ <u>一定の経済的合理性がある場合には、総合課税の対象ではなく、株式譲渡益として分離課税の対象となることが明確化。</u>（21年春導入予定）</li> </ul>
<p>2 資産運用者の市場参入促進とアセットオーナーの高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 独立系資産運用者等に対する信用補完・金融支援</li> <li>● 米国同様のマネージャーエントリー制度の整備</li> <li>● 新興資産運用者シード拠出プログラム（EMP）の実用化</li> <li>● 企業年金の運用の多様化・高度化を図る為の法改正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>独立系資産運用者も信用保証制度の対象や日本政策金融公庫等の融資対象になるよう制度改正が行われる予定。</u></li> <li>➢ <u>独立系資産運用業者やフィンテック企業が日本銀行の成長基盤融資制度の対象に該当することを確認。</u></li> <li>➢ <u>東京都が資産運用業の開業を目指す金融機関勤務者等に対し、開業のためのノウハウの提供を行うセミナー「独立開業道場」を定期的開催。</u></li> <li>➢ <u>東京都が、フィンテック事業者等の経営を支援するファンド設立を予定。</u>（21年度）</li> <li>➢ 今後詳細検討と対応が必要。</li> </ul>

# FinCity.Tokyoからの政府への提言事項とその進捗状況 (2/2)

課題と主要な項目	進捗状況
<p><b>3</b> 海外資産運用会社等の日本進出プロセスの簡素化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 金商法ライセンス取得期間のさらなる迅速化</li> <li>● 天災等で事業継続が困難な海外の金融機関への業務継続支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ FSAと財務局が合同で<u>拠点開設サポートデスク</u>を開設。(21年1月12日)</li> <li>➢ <u>海外運用会社等の登録・監督等の英語による実施に向けた改正内閣府令の施行。</u>(21年1月12日)</li> <li>➢ <u>主として海外の資金を運用する運用事業者を簡素な参入手続きで受け入れ可能とする特例の創設。</u>(21年通常国会に法案提出予定)</li> <li>➢ <u>金融商品取引法第二条に規定する定義に関する内閣府令の一部を改正する内閣府令施行(20年7月22日)により、天災等海外で業務を継続することが困難な場合で、日本で一時的な業務の実施を選択する場合、3か月を上限に、日本の金商法ライセンスを取得することなく一定業務の実施を容認。</u></li> </ul>
<p><b>3</b> 資産運用会社等の業務コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 運用業務に付随するコストの削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東京都が、<u>ミドル・バックオフィス業務の外部委託に係る費用の一部を補助。</u></li> <li>➢ 東京都が、<u>金融系外国企業に対し、人材採用経費等拠点設立に要した経費の一部を補助。</u></li> </ul>
<p><b>4</b> 外国人の職場・住環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事務所等の賃料補助</li> <li>● 高度外国人材の在留資格要件、並びに家事使用人の帯同条件等の緩和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 東京都が、<u>事前調査に係るオフィス賃料等の一部を補助。</u></li> <li>➢ 「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」(20年12月8日閣議決定、以下経済対策)に、<u>在留資格付与の特例、高度外国人材(資産運用者)に対するボーナスポイント新設、家事使用人の雇用要件緩和、配偶者就労に係る利便性向上の特例設置が明記された。</u></li> </ul>
<p><b>5</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本固有の業務慣習の撤廃</li> <li>● 複数の当局・業界団体・取引所等・公的年金基金への報告重複の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ <u>経済対策に、計表等のデジタル化・整理統合・提出一元化等がなされる旨が明記された。</u></li> </ul>

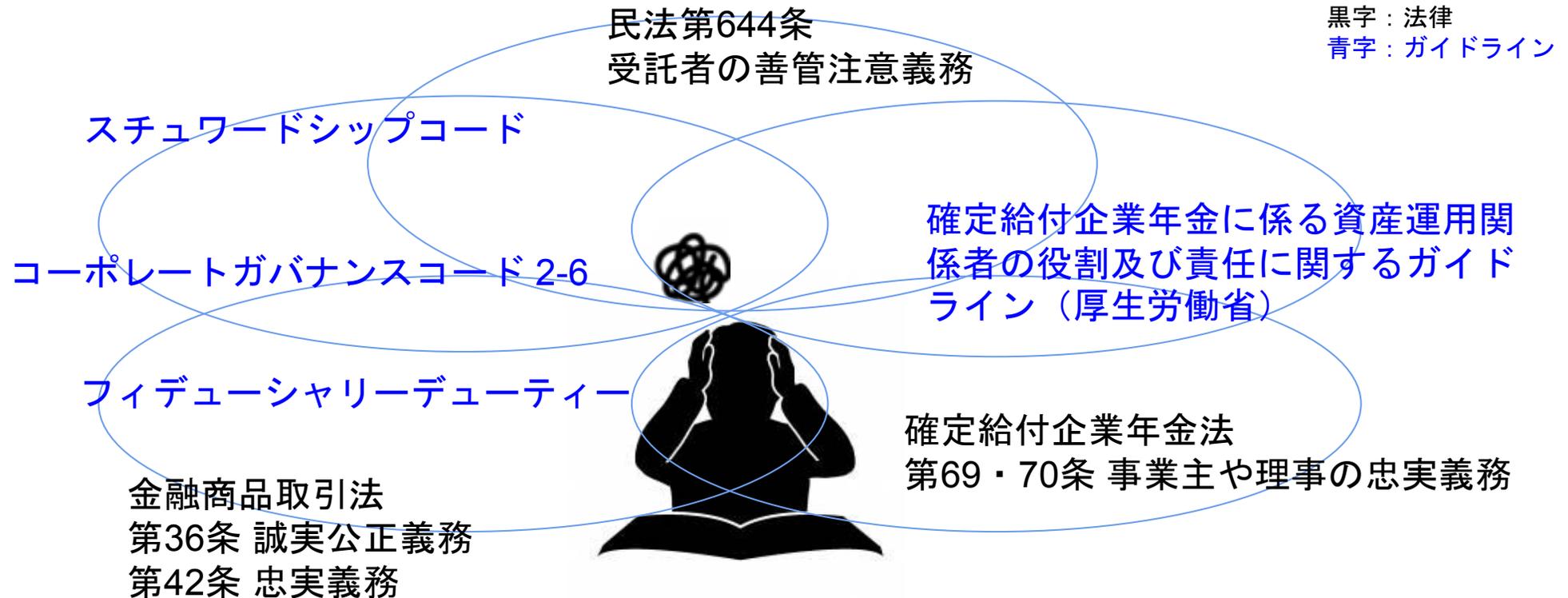
# 公的年金におけるマネージャーエントリー制度の整備

- ・ 米国の公的年金制度が整備しているマネージャー・エントリー制度は、運用実績等の要求水準が低く抑えられており、新興運用者が容易にアプローチ可能。
- ・ 一方、日本の公的年金のマネージャー・エントリー制度の要求水準は高く、新興の運用者が応募要件を満たすことは困難。我が国でも、新興の運用者育成の必要性を踏まえ、より育成視点での制度へと改善する必要。



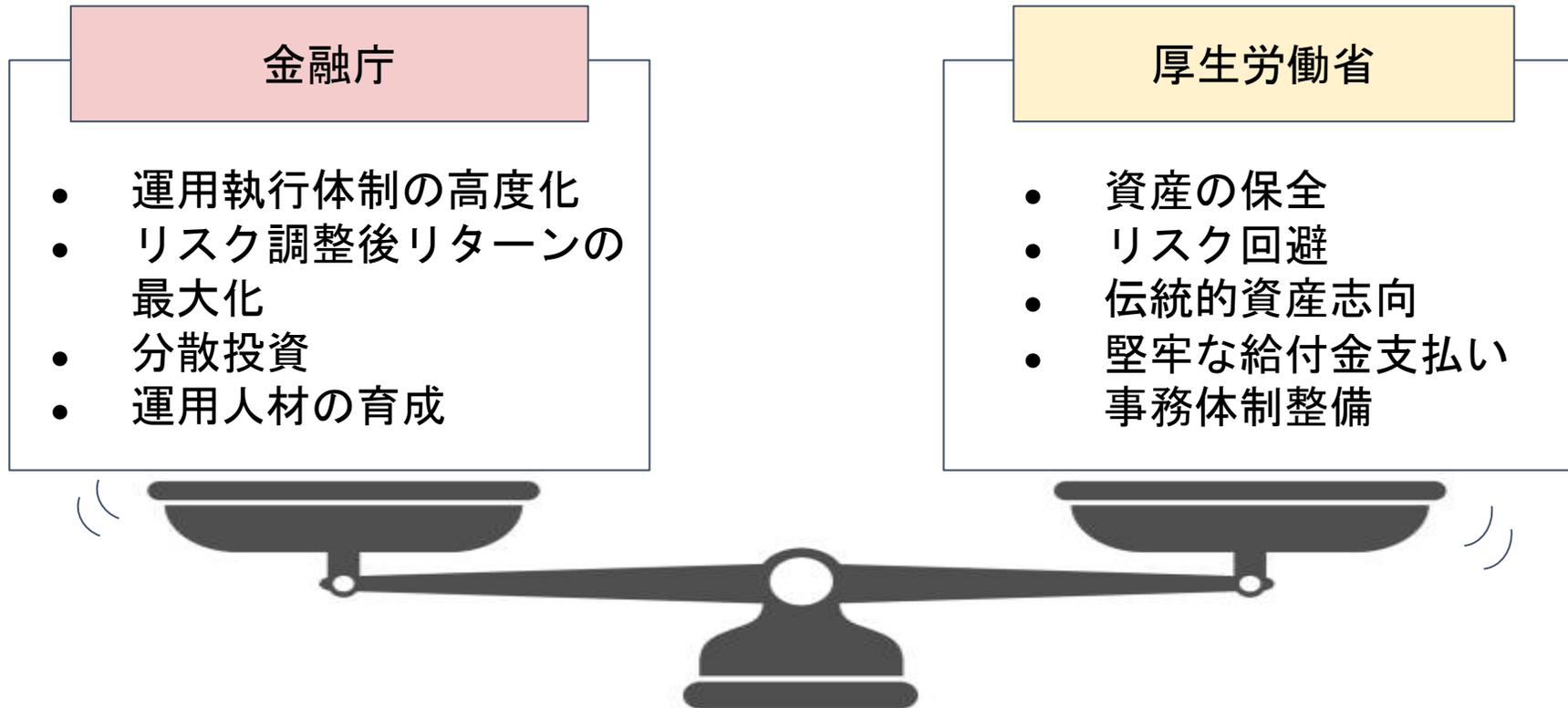
# 企業年金基金を取り巻く複雑な規制環境 1/2

- 我が国の企業年金は、運用方針を策定する上で、年金法、金商法、行政機関の発出するガイドライン等、数々の法律や基準への準拠が求められる。
- しかしながら、関係法令間の関係性や運用などについて、必ずしも明確でない、利用者ニーズに答えられていない部分も少なくない。



## 企業年金基金を取り巻く複雑な規制環境 2/2

- 我が国企業年金の運用高度化・効率化のためには、安定給付に重点を置いたこれまでの年金行政に、金融行政的発想を反映させていく必要。

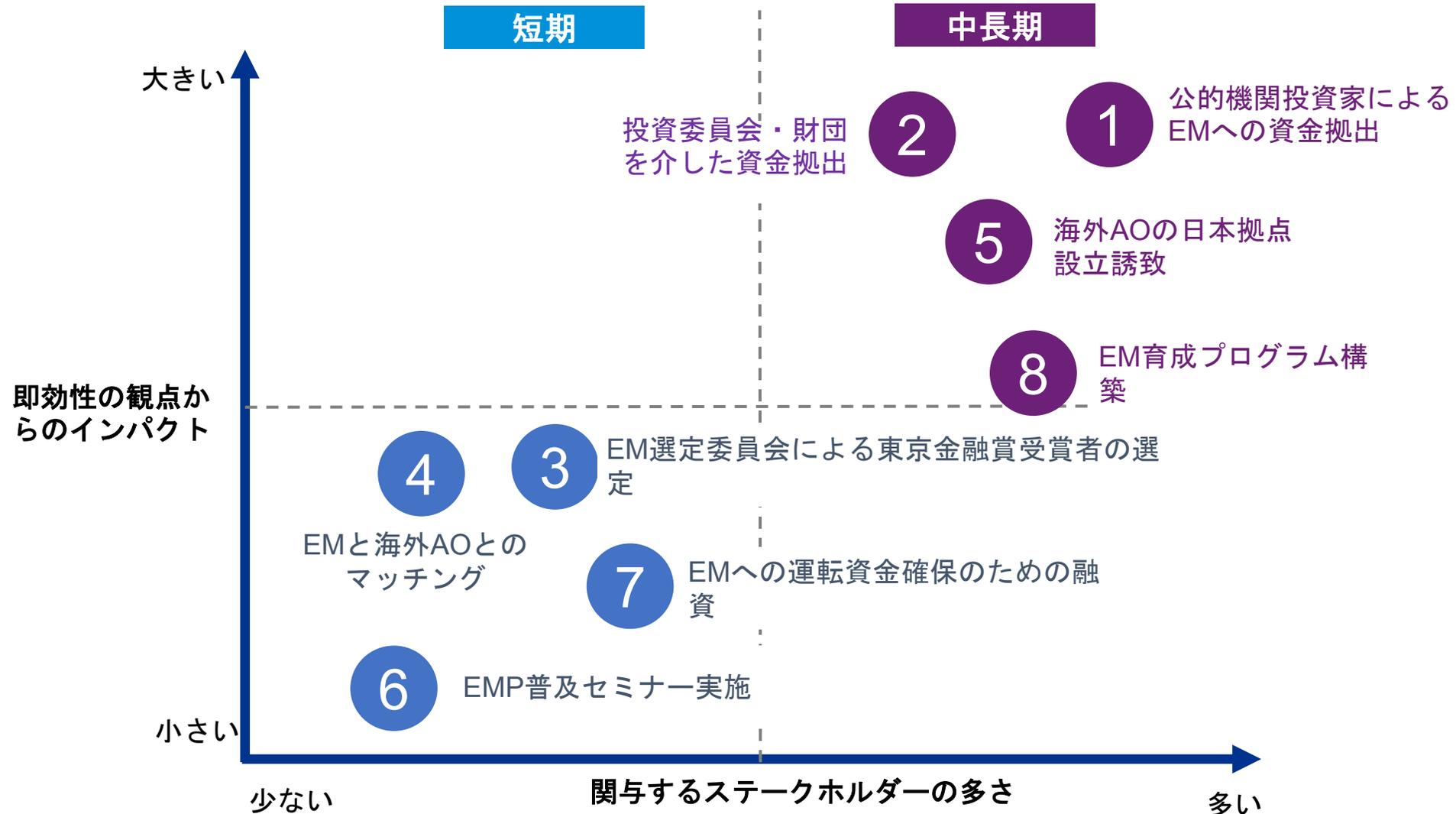


# 新興資産運用会社の育成に係る提言

- 公的年金のマネジャー・エントリー制度の要件緩和
- 企業年金の運用多様化・高度化促進
  - 適格機関投資家としての認定
  - 企業年金基金の独立性確保
  - オルタナティブ資産投資の許容と報告要件の緩和

# 時系列別の施策案

2020年3月～9月にかけて、FinCityにてアセットオーナー、Emerging Managers、監督当局計21者にインタビューを実施し、東京版Emerging Managers Programを再構築する上では、以下8つの施策の実現が必要であることを確認。



# Objectives of



1. Welcome, embrace and integrate Emerging Managers and international fund managers opening/ expanding presence in Tokyo/ Japan into the existing investment ecosystem
2. Inspire asset owners
3. Make a connections between independent fund managers and asset owners



We would like to obtain your candid feedback and suggestions

## 基調講演① 「国際金融都市・東京」構想

■ 東京都 戦略政策情報推進本部 国際金融都市担当部長 三浦 知氏

# 「国際金融都市・東京」構想

2021年2月24日

**Tokyo Metropolitan Government**

東京都 戦略政策情報推進本部

国際金融都市担当部長

三浦 知

# 「国際金融都市・東京」構想の達成状況

「国際金融都市・東京のあり方懇談会」を8回開催(2016年11月～2017年10月)

2017年11月「国際金融都市・東京」構想を策定



## ロンドン、ニューヨークに並ぶ世界に冠たる国際金融都市の実現

- 構想策定時GFCIランキング 6位 ⇒ 2020.3時点 3位 ⇒ 2020.9時点 4位(上海と1点差)
- ニューヨーク、ロンドンに次ぐ地位を僅差で上海、香港、シンガポールと争う状況

## 官民連携の金融プロモーション組織「FinCity.Tokyo」の設立(平成31年4月)

- 外資系を含む金融関係者等 43者が会員として参画(令和2年9月末時点)
- 国内外において金融プロモーション活動を実施

令和元年度:海外5都市において、延べ7回実施

## 英国シティ・オブ・ロンドンとの連携協定(MoU)締結(平成29年12月)

- 金融分野での会合・フォーラム及び情報共有における連携
- ESG・グリーンファイナンスの発展・推進に係る連携

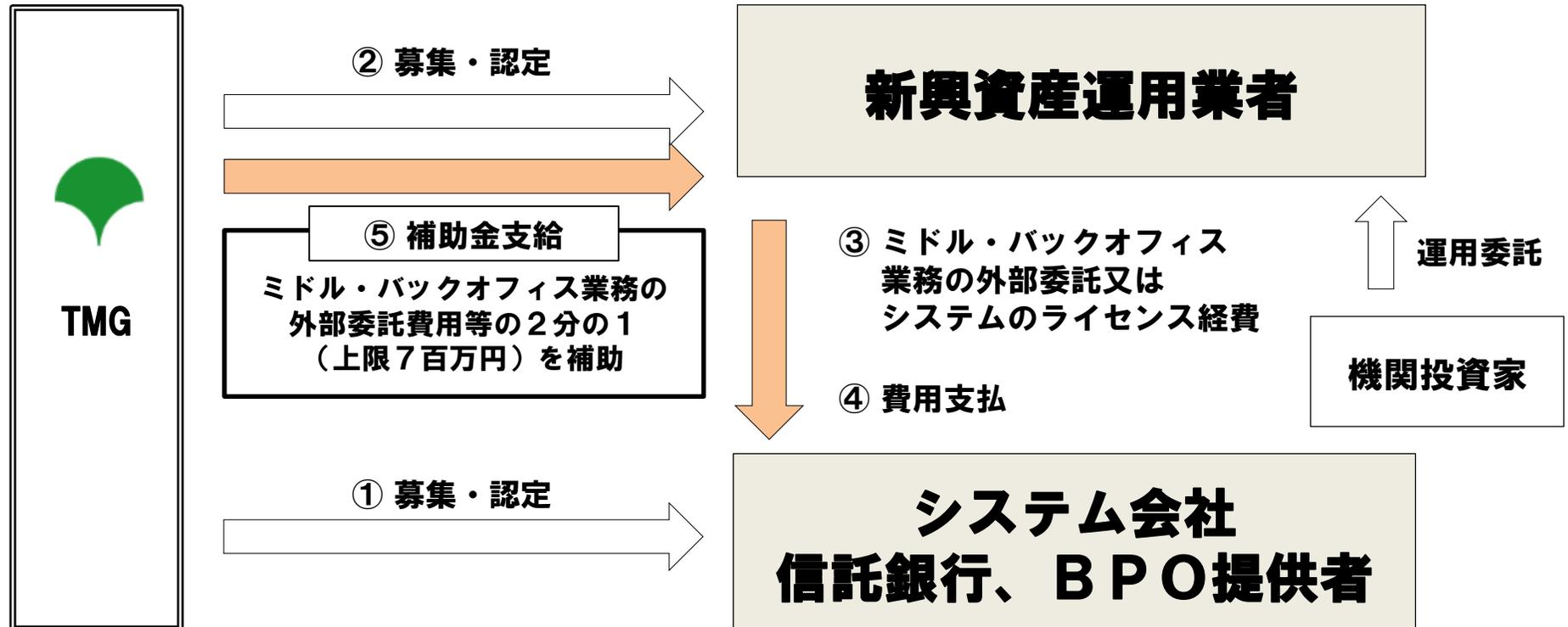
平成29年度より、東京・ロンドンにおいて各3回、グリーンファイナンス及び資産運用に関するセミナーを開催(今年度はオンライン開催予定)

- 東京都からの職員派遣

## 2. 東京市場に参加するプレイヤーの育成 ①

### ミドル・バックオフィス業務の外部委託費用等に係る補助金

- EM等が運用業務に経営資源を集中できるように、ミドル・バックオフィス業務の外部委託費用等の半額を補助  
(上限700万円) <令和3年2月28日まで募集中>



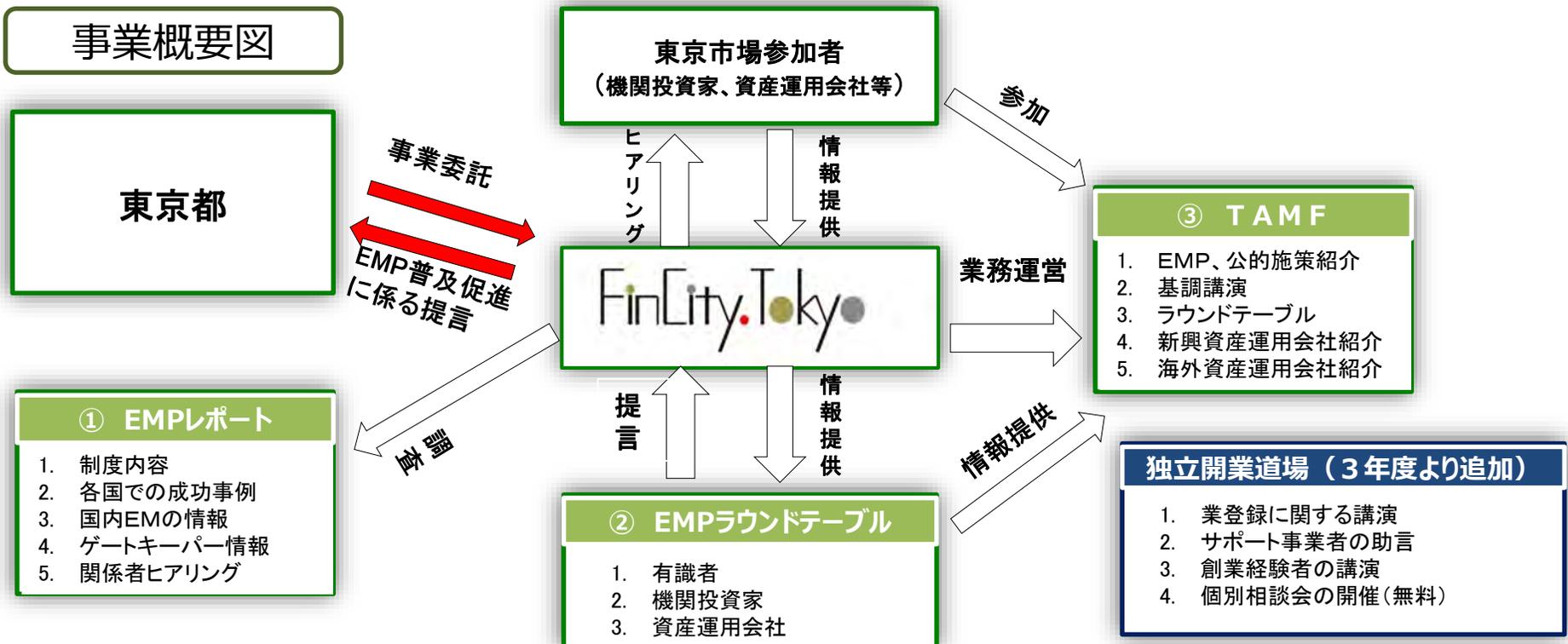
## 2. 東京市場に参加するプレイヤーの育成 ②

### EMPの普及促進に関する事業委託

#### 事業委託内容

① EMPレポート作成	EMPの制度内容や各国での成功事例、国内個別EMの情報、EM投資しているゲートキーパーの詳細等をまとめたレポート及び当事者からのヒアリング
② EMPラウンドテーブル	EMPを導入する上での課題、EMPの普及・促進に向けた今後の取組についての意見交換及び当事者からのヒアリング
③ TAMFの開催	EMPの認知度向上及びEM等と国内機関投資家とのマッチングを目的とするセミナー

#### 事業概要図



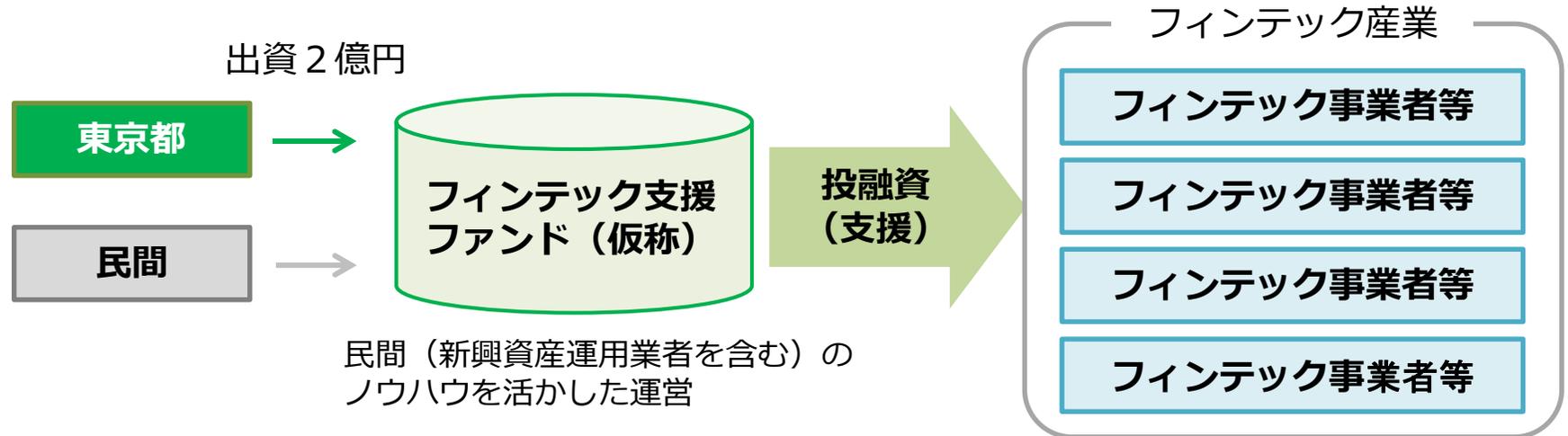
## フィンテック支援ファンド（仮称）の創設

### 事業概要

フィンテック産業の育成等を目的に、官民連携ファンドのスキームを用いて、都の出資を呼び水に民間の資金とフィンテック分野で目利き能力のある資産運用業者のノウハウを活用し、画期的な技術を有するフィンテックスタートアップ等を主に資金面から支援する。

### 事業内容

- ・ 都がファンド運営事業者を募集・選定した上、ファンド創設に際し2億円を出資
- ・ 募集対象の運営事業者には新興資産運用業者も含め、参画・育成の機会を創出
- ・ ファンドがフィンテック事業者等を資金面・経営面等から支援・サポート
- ・ 支援先の選定に際しては、金融による社会的課題解決の側面も考慮することを検討



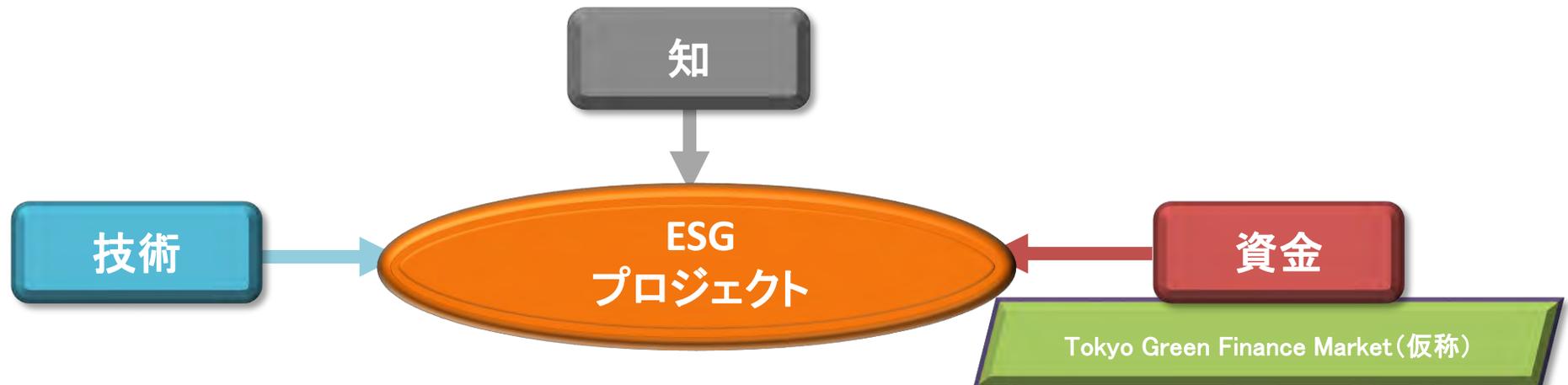
## Tokyo Green Finance Market（仮称）の実現に向けた検討

### 事業概要

東京を、世界規模のESGの知・技術・資金が集積する都市とするため、国内外からESG資金を集める『Tokyo Green Finance Market(TGFM)（仮称）』の実現に向けた検討を行う。

### 事業内容

- ・ 脱炭素社会の構築等に向け、社会の構造変革が必要
- ・ 社会の構造変革には、多額の資金を投入していくことなどが不可欠
- ・ 具体的には、ESGに関する「知」「技術」「資金」を東京に集積する必要
- ・ 資金面において、国内外からESG資金が集まる環境を構築するため、グリーンファイナンスのための市場として『Tokyo Green Finance Market（仮称）』の実現に向け検討



## 基調講演② 資産運用の高度化について

■金融庁 総合政策課 資産運用高度化室長 安野 淳 氏



Tokyo Asset Management Forum 2021

# 「資産運用の高度化について」

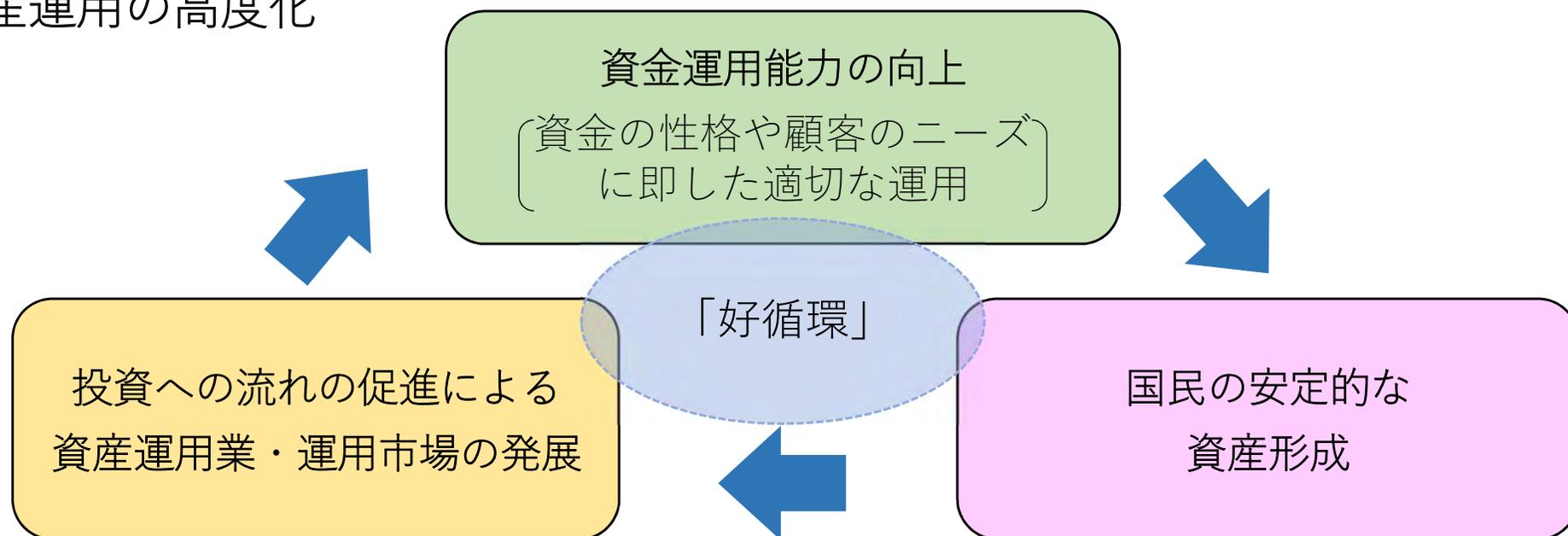
2021年2月24日(水)

金融庁 総合政策局 総合政策課 資産運用高度化室長  
安野 淳

# 1. 資産運用の高度化

2014年9月：「金融モニタリング基本方針」での重点施策のひとつとしての位置付け

## 資産運用の高度化

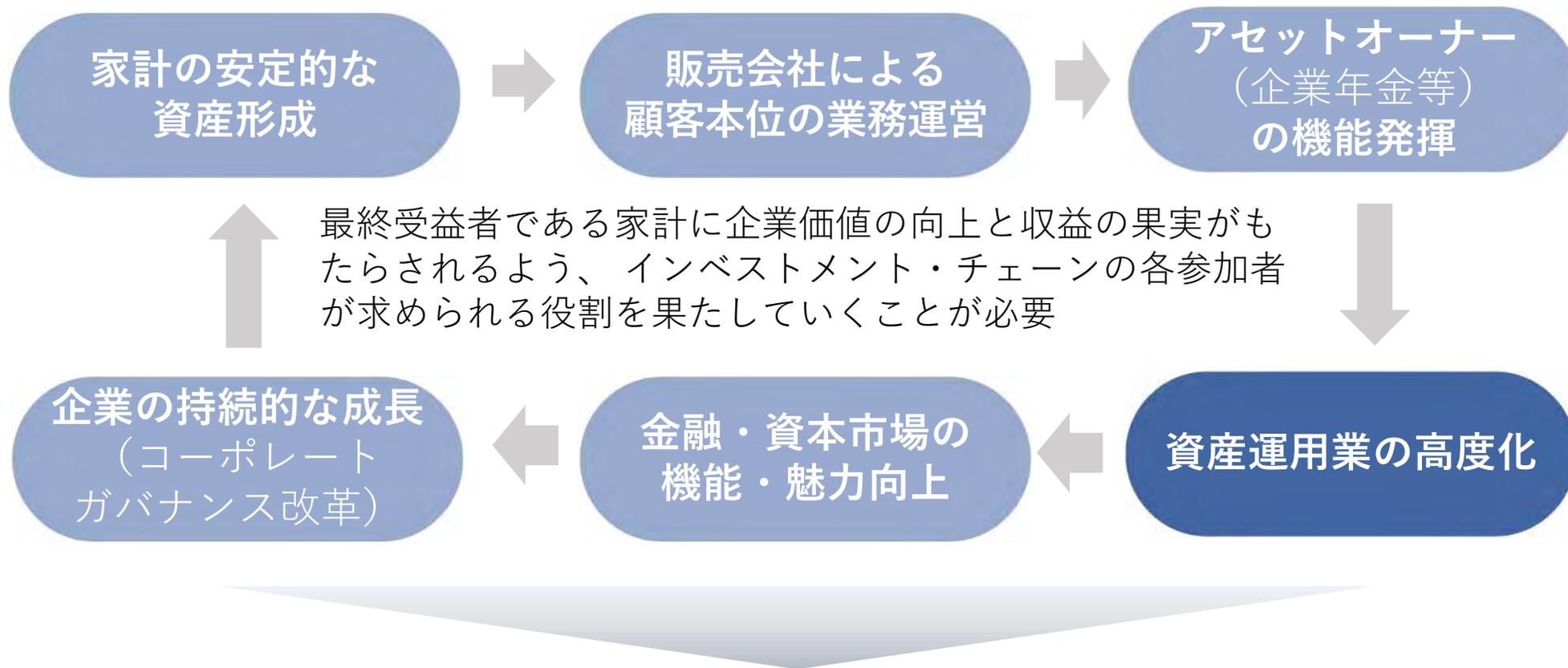


- 商品開発・販売・運用等それぞれに携わる金融機関がその役割・責任（フィデューシャリー・デューティー）を果たすことが必要。
- 金融機関の経営姿勢、提供されている商品・サービス、業績評価等について検証。
- 金融機関自身による有価証券運用についても、資産規模や資金の性格に見合った運用やリスク管理が行われているか検証。

（出所）「平成26事務年度 金融モニタリング基本方針の概要」（2014年9月11日）

## 2. インベストメント・チェーンの機能向上

2019年8月：「利用者を中心とした新時代の金融サービス～金融行政のこれまでの実践と今後の方針」での「最終受益者の資産形成に資する資金の好循環の実現」としての位置付け



- コロナ後の新たな経済社会の実現に向けて、資金循環機能を高める
- アジアや世界における日本の金融資本市場の役割を高める

(出所) 「利用者を中心とした新時代の金融サービス～金融行政のこれまでの実践と今後の方針～(令和元事務年度)」  
(2019年8月28日) より抜粋・編集

### 3. 資産運用業の高度化と資産運用の高度化

2020年6月：「資産運用業高度化プログレスレポート2020」公表

2020年7月：「資産運用高度化室」設置

2020年8月：「令和2事務年度 金融行政方針～コロナと戦い、コロナ後の新しい社会を築く～」公表

#### <資産運用の高度化>

- インベストメント・チェーンの各参加者が期待される役割を十分に果たし、資産運用を高度化していくことによって、資金の好循環を実現し、企業価値の向上と収益の果実を家計にもたらすことが重要だ。
- 中でも、資産運用会社は、重要な存在であり、運用力強化により中長期的に良好な運用成果を上げることで顧客の信頼を獲得し、自らの収益基盤を強固なものとする好循環を達成していくことが期待される。
- さらに、運用力の「見える化」等を通じて、資産運用会社相互の健全な競争が促進されることも重要だ。

(出所) 「令和2事務年度 金融行政方針 ～ コロナと戦い、コロナ後の新しい社会を築く～」(2020年8月31日)  
より抜粋・編集

## 資産運用者プレゼンテーション①

### ■ Emerging Managers

- 1 GMO
- 2 アミュレット キャピタルマネジメント株式会社
- 3 ありあけキャピタル株式会社
- 4 GO ファンド株式会社
- 5 HOKU 株式会社
- 6 株式会社 Mirage Mountain Technologies
- 7 オリオール・アセット・マネジメント株式会社
- 8 シルク・キャピタル株式会社
- 9 susten キャピタル・マネジメント

# GMO

# TOKYO ASSET MANAGEMENT FORUM

GMO Introduction

24 February 2021

# FIRM OVERVIEW

## Experienced, Focused, Independent

- Privately owned and founded in 1977, managing client assets is our only business

## Long-term, Valuation-based Investing

- Investment teams use quantitative techniques and fundamental judgment

## Differentiated Research that Drives Conversations

- Well known for our candid, academically-rigorous market insights and advice

## Global in Presence and Perspective

- Boston (HQ)
- London
- Sydney
- San Francisco
- Amsterdam
- Singapore
- Tokyo\*

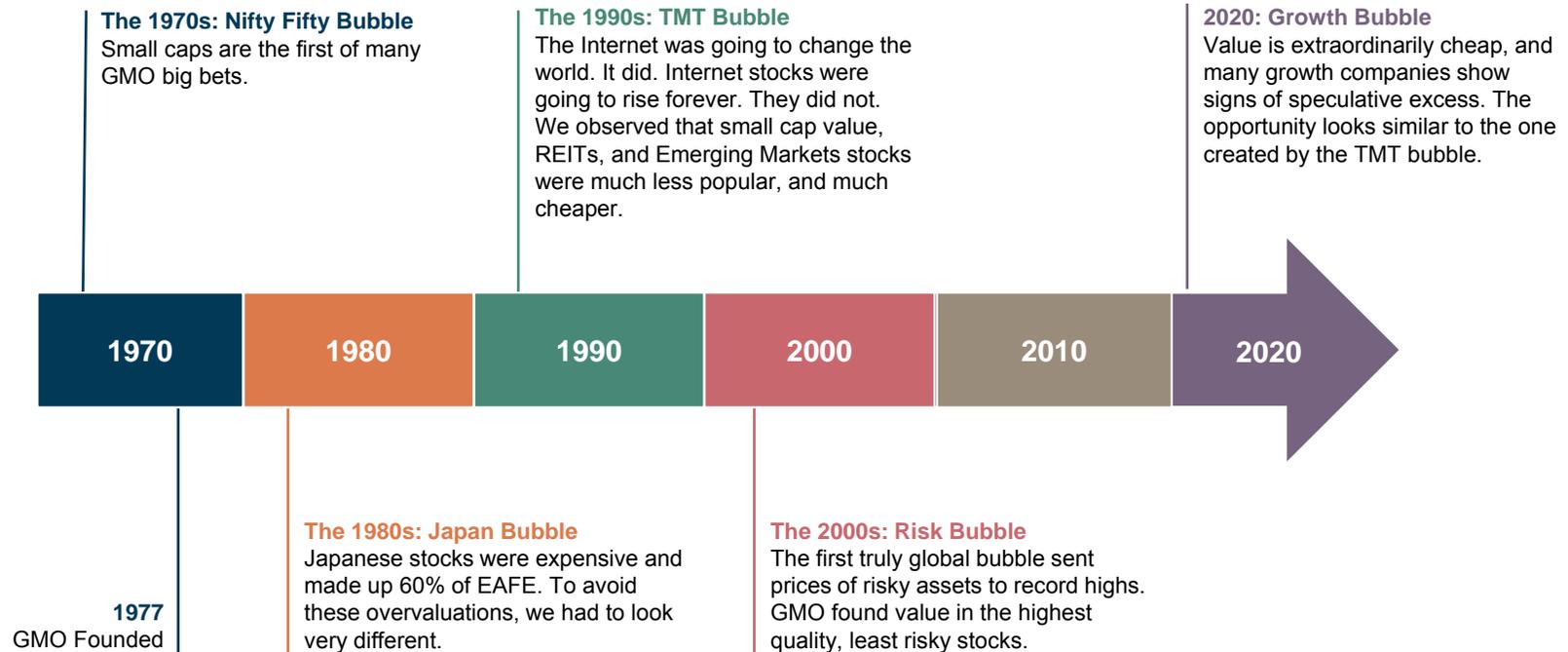
As of 9/30/20 | Source: GMO | Assets: USD  
AUM may not sum to Firm Total due to rounding.  
\*Representative office.

Firm Assets Under Management: \$59 Billion  
How our clients are invested:



# THIS IS WHO WE ARE

*A long history of value, patience, and conviction*



# INVESTMENT CAPABILITIES: SELECT OFFERINGS

Multi-Asset	Equities				Fixed Income		Alternatives	
Asset Allocation	Global Equity/Asset Allocation	Focused Equity	Emerging Markets Equity	Usonian Japan Equity	Emerging Country Debt	Multi-Sector	Systematic Global Macro	Other Alternatives
Benchmark-Free Allocation (2001)	Global Equity Allocation (1993)	Quality (2004) Quality Spectrum (2019)	Emerging Markets Equity (1993)	Usonian Japan Value (2011)	Emerging Country Debt (1994)	Multi-Sector Fixed Income (1997)	Systematic Global Macro (2002)	Alternative Allocation (2019)
Tax-Managed Benchmark-Free (2018)	International Equity Allocation (1994)	Resources (2011) Resources L/S (2018)	Emerging Domestic Opportunities (2011)		Emerging Country Local Debt (2008)	Credit Opportunities (2010)	Systematic Global Macro Major Markets (2011)	Risk Premium (2012)
Global Asset Allocation (1988)	Global Equity Extension (130/30) Strategies (2018)	Climate Change (2017)	Emerging Liquidity Premium (2017)			Opportunistic Income (2011)		Event-Driven (2016)
	Global Equity Long-Only Strategies (1987)	Cyclical Focus (2020)				High Yield (2017)		Fixed Income Absolute Return (2016)
								Equity Dislocation (2020)

The above capabilities may not be offered at all times due to capacity or vehicle restrictions. Numbers in parentheses indicate inception date.

# REPRESENTATIVE CLIENT LIST

## Endowments

- University of Arizona Foundation
- California Institute of Technology
- Dartmouth College
- Pepperdine University
- Perimeter Institute for Theoretical Physics
- Princeton University
- Santa Clara University
- Spelman College

## Foundations and Cultural Institutions

- Andersen Corporation
- The Cleveland Foundation
- Doris Duke Charitable Foundation
- Father Flanagan's Foundation
- Joyce Foundation
- Robert R. McCormick Foundation
- The Memorial Foundation
- Rockefeller Family Fund
- Surdna Foundation
- Toronto Foundation
- Wenner-Gren Foundation
- World Wildlife Fund

## Multiemployer Plans

- AFTRA Health and Retirement Funds
- Directors Guild of America – Producer Pension & Health Plans
- Motion Picture Industry Pension & Health Plans

## Pension Funds

- Alberta Motor Association
- BASF Corporation USA
- The Boeing Company
- Canadian National Railways
- Cargill
- TechnipFMC
- John Hancock
- McMaster University
- National Geographic Society
- Praxair, Inc.
- Saskatchewan Telecommunications
- Verizon

## Defined Contribution

- CenturyLink Investment Management
- DTE Energy
- SunSuper

## Public Funds

- Caisse de Depot et Placement du Quebec
- City of Fairfax, VA
- Future Fund
- Hydro-Quebec
- Iowa Fire & Police
- Public School & Education Employee Retirement Systems of Missouri
- San Diego City ERS
- San Francisco Employees Retirement System
- Virginia Retirement System

## Health Care Institutions

- Mayo Clinic
- MidMichigan Health
- Rochester General Hospital Foundation

## Sub-Advisory / Advisory

- Aspiriant
- Credit Suisse Australia
- MD Financial Management
- Partners Capital
- St. James's Place Wealth Management
- Santander Asset Management
- Wells Fargo

### As of 9/30/20

Clients listed here were chosen as generally representative of the types of clients that comprise GMO's worldwide primary client base (Pension Funds, Endowments, Foundations and International Organizations) and were not chosen based on performance-related criteria. It is not known whether the listed clients approve or disapprove of GMO or the advisory services provided.

# アミュレットキャピタルマネジメント社の 日本国債先物運用手法

日本国債先物のマネージドフューチャーズ運用  
金利上昇・ボラティリティ上昇局面も視野に！

---



アミュレットキャピタルマネジメント株式会社  
2021年2月24日

# アミュレットキャピタルマネジメント社は

- 日本国債先物の運用手法：アミュレットマルチストラテジーを開発しました
- 過去6年ほどのトラックレコードで、安定した良好なパフォーマンスを示しています
- これからの日本国債市場を考える上で、有力な運用手法の一つだと考えています

# アミュレットマルチストラテジーのしくみ

## 日本国債先物を運用対象とする

- 長年の知見を有する専門分野に特化し、日本国債市場へのフィッティングを追求

## 日本国債先物市場にフィットさせ、ウエイト付けした複数のストラテジーで構成

- 過去20年以上の日本国債先物市場(長期国債先物)のデータを分析
- 日本国債先物市場にフィットさせた複数のストラテジーを編み出し、それらをウエイト付けして、安定・良好な運用ができるよう全体をバランスさせた

## それぞれのストラテジーは、順張り系(トレンドフォロワー)、逆張り系(オシレーター)、日計りなど様々な特徴を持つ

- それぞれのストラテジーは、独自に「市場にエントリーするポイント」「利益確定」「損切り」「期間満了」のルールが厳格に定められている
- それぞれのストラテジーは、「買い」、「売り」、「様子見」のいずれかのスタンスを取る
- 全てのストラテジーの「買い」「売り」のネット合計が、アミュレットマルチストラテジーのポジションとして、市場に出される

## 基本的に毎日運用を行う

# 当社のマネージド・フューチャーズの運用手法

一般的な マネージド フューチャーズ	アミュレット マルチ ストラテジー
--------------------------	-------------------------

分析手法	テクニカル分析	◎	◎
	ファンダメンタルズ分析		
投資判断	システムチック取引	◎	◎
	自己裁量取引		
投資戦略	順張り（トレンド・フォロー）戦略	◎	◎
	逆張り（オシレーター）戦略		◎
投資対象	世界中の株・債券・為替・商品等の先物	◎	日本国債先物

# アミュレットマルチストラテジーの特徴①

## 安定した良好なパフォーマンス

- 長年の知見を有する専門分野に特化し、日本国債市場へのフィッティングを追求
- 複数のストラテジーで構成することで、ストラテジー分散効果を楽しむ
- 絶対リターンよりもシャープレシオ(リスク対比のリターン)を高めることを重視して商品設計

## 金利上昇局面にも強い

- 順張り(トレンドフォロー)の性質を有しているため、大きく金利上昇(債券下落)局面で力を発揮する傾向がある

## ボラティリティ上昇局面に強い

- ボラティリティが上昇すれば、収益チャンスが増加し、パフォーマンスが向上する傾向がある

## 債券ベンチマークに対して低相関

# アミュレットマルチストラテジーの特徴②

## 高い流動性

- 日本国債先物市場は流動性が高いため、マーケットインパクトやスリッページが小さい
- 速やかに運用を中止することが可能

## あらゆる局面への対応をめざす ⇒ いつでも始められる

- 順張り戦略を組み込むことで、上でも下でも動きが出れば収益チャンスとする
- 逆張り戦略を組み込むことで、レンジ相場での収益チャンスを窺う

### アミュレット キャピタルマネジメント株式会社の会社概要

■ 商号等	アミュレット キャピタルマネジメント株式会社
■ 本店所在地	〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-6-705
■ 登録	適格投資家向け投資運用業(関東財務局長(金商第3197号))
■ 加盟協会	一般社団法人日本投資顧問業協会
■ 資本金	22,060,000円
■ 設立年月	平成24年2月
■ 連絡先	03-6258-1810 t.matsuda@amulet-cm.com



### アミュレット キャピタルマネジメント株式会社の運用者略歴

松田 利晴(代表取締役)  
平成4年慶應義塾大学卒業、同年野村総合研究所入社  
デリバティブの研究及び応用開発に携わる。  
野村証券、IBJノムラフィナンシャルプロダクツ、  
国際証券、三菱UFJモルガンスタンレー証券等でデリバティブ・トレーディングに従事。国債先物、スワップ、オプションなどの金利系のトレーダー歴が長い。  
金融商品開発にも長く携わり、機関投資家向け、事業法人、富裕層向けに多くの商品を開発・供給した。  
平成24年当社設立。

長岡 聖貴(取締役 CIO)  
平成14年慶應義塾大学卒業、ドイチェ信託銀行入社  
平成16年から三菱UFJモルガンスタンレー証券にて  
機関投資家向けデリバティブセールス業務に従事。  
その後、円スワップディーリング業務を担当。  
短期デリバティブ取引のOIS取引において日系ハウスで  
トップクラスの市場シェアを誇った。  
円・外貨金利マーケットにおいてプロップトレーディング  
及びシステムトレーディングも行っていった。  
グローバル金融市場に精通している。  
平成24年当社設立。

# ありあけキャピタル株式会社

Ariake Capital Inc.

**Name of CEO / CIO** 田中 克典

**Address** 東京都中央区日本橋兜町8-1

**Email** ops@ariakecapital.com

**TEL** 03-6206-2867

**# of Employee/Fund Managers** 4 / 1

**Type of License Registration** 適格投資家向け投資運用業

**Registration date** 2021年2月3日

**Amount of Net Assets** NA (JPY mil.)

**AuM (or investment advisory amounts)** NA (JPY mil.)

**Revenue** NA (JPY mil.)

## 運用対象資産、投資哲学等

Asset Class, Investment Philosophy, etc.

金融業に特化した日本株式のロングオンリー戦略のエンゲージメント戦略です。株主として、企業に価値向上の提案を行い企業価値向上を目指します。規制業種である銀行業は長年当局に守られてきましたが、改革の機運は高まりました。隠れた価値を引き出し、絶対リターンを追求します。特に地銀業界は集中投資の対象になりえなかった業種でしたが、当局、経営陣との綿密な交渉がそれを可能にします。マイナス金利も5年目に入り、政府、当局、経営陣、収益状況、外部環境といった諸条件が揃いました。規制業種であり、倒産の可能性が低い中でPBR0.2倍前後に放置されている歴史的に低いバリエーション水準からの絶対リターンの獲得を目指します。

Ariake Capital is a new Japan strategy based out of Tokyo. Strategy is Japan equity long only focused on financial sector. Specifically Japanese regional banks are left attractive for years due to technical reasons and we find it a proverbial "diamond in the rough".

## その他運用に関する特記事項

Other Investment Strengths

調査に基づき、当該企業の今後10年間にわたる業績予想モデルを作成、そのモデルに基づき企業価値を算定します。業績モデルの作成においては、現時点での情報を反映させるだけでなく、当該企業と当社のエンゲージメント活動で生じることが期待される変化に関しても、予想し反映させます。

## 投資に関する意思決定プロセス

Decision Making Process to Invest

産業調査、財務情報調査、非財務情報の調査の3点から企業の企業価値算定を行い、当社とのエンゲージメントを実施した場合の企業価値を予想した上で、現在の企業価値との乖離の大きい銘柄を投資対象とします。

1) Industrial Research, 2) Financial Research, and 3) Non-Financial Research will be the key component of our value calculation.

## 運用責任者等の業務経験

Professional Experience of CIO and Others

田中克典 (CIO)：2001年から2019年までゴールドマン・サックス証券にてアナリストとして活躍。2004年より消費財セクター、2011年より銀行セクターを担当。2012年マネージング・ディレクター就任。2019年12月に退社し、ありあけキャピタルを創設。

Katsunori Tanaka (CIO) worked as an analyst at Goldman Sachs from 2001 to 2019, specifically covering consumer products industry from 2004 and banking sector from 2011. He was named Managing Director in 2012.

Ongoing conversation with FSA and the managements will be the key element of the engagement process. Ariake Capital finds it important to be on the same page with them both dealing with this old and conservative industry.

GroFund

# GOファンド株式会社とは



## 完全独立系の資産運用会社

- ・ 金融機関やVCの資本を入れず、役職員の自己資金で2020年3月に設立  
資本金1億円（資本準備金含む）
- ・ 経営メンバーには、金融出身者のみならず、弁護士や公認会計士も参画
- ・ 現在は適格機関投資家等特例業務にてファンドを運用  
⇒ 投資運用業及び第二種金融商品取引業の申請中

## 企業理念は「良質なヘッジファンドを個人投資家へ小口提供」

- ・ 当社が運用するGOファンドを個人投資家へ小口提供することが目標（Web申し込み、10万円～）  
⇒ 年内にサービス開始予定

## 日本・米国・欧州の株価指数先物、債券先物を機動的に売買するマネージドフューチャーズ戦略

- ・具体的な投資対象

株価指数先物 : TOPIX、日経225、S&P500、DAX

債券先物 : 日本10年債、米国10年債、独国10年債、英国10年債

## 独自開発のクオンツモデルに基づき、完全なルールベースでの売買執行

- ・投資の時間軸やロジックの異なる複数のモデルを採用し、リターンの源泉を多様化
- ・「過去の説明力」ではなく、田沼の個人投資家経験を活かした「将来的な予測力（再現性）」を重視したモデル開発（オーバーフィッティングの回避）

## 2020年6月にGOファンドを運用開始※

設定来リターン : 20.2% (年率換算 : 29.8%)

標準偏差 (年率) : 13.6%

シャープレシオ : 2.2

⇒ 投資家のリスク許容度に沿ったファンドを組成可能

## 最後に



**運用パフォーマンスには自信がありますが、マーケティングは今後の課題ですので、販売会社等の可能性があれば是非ご連絡ください。**

会社窓口

info@gofund.co.jp

**また、会社としてではなく個人的なご連絡も大歓迎です！**

個人メール

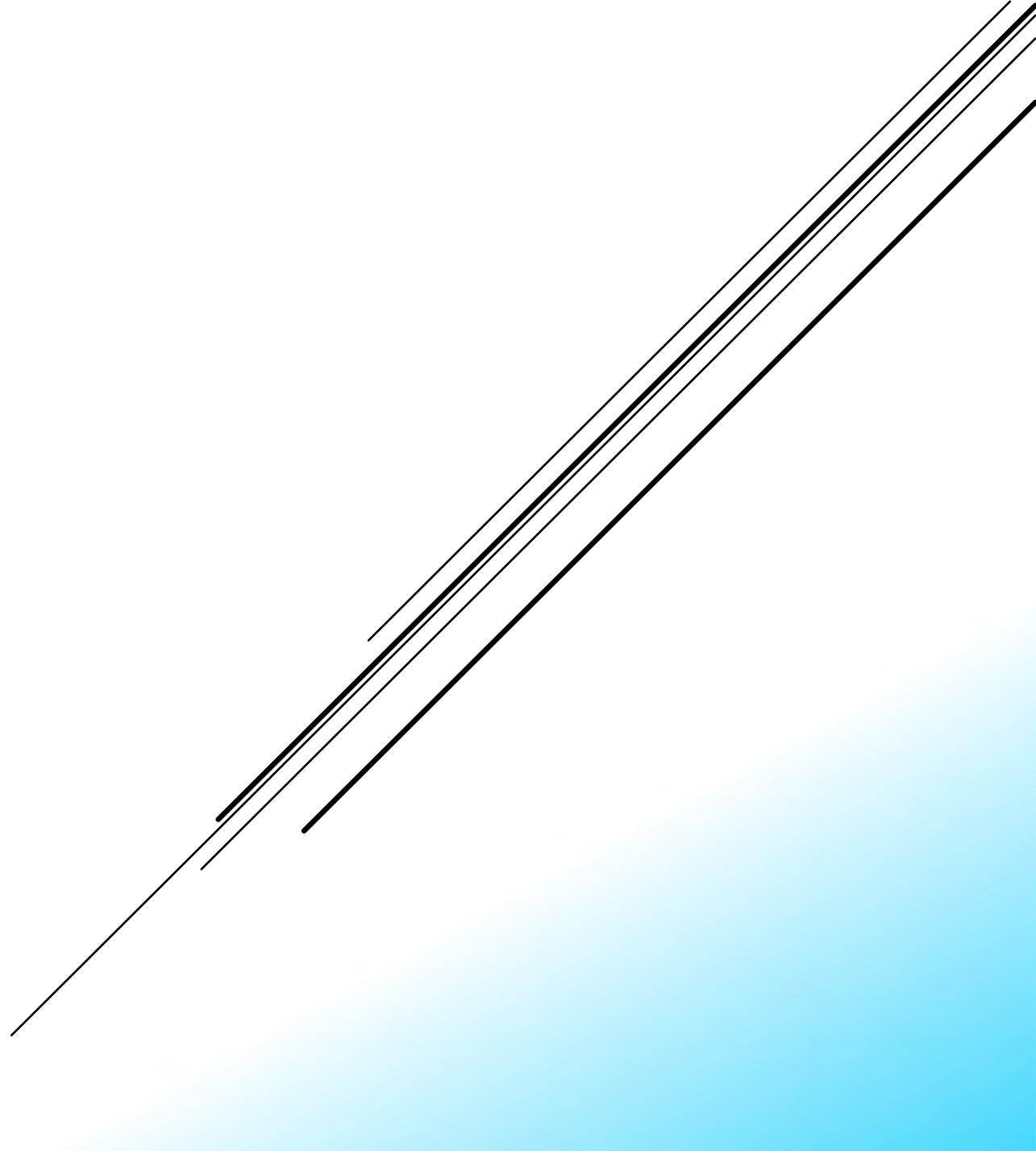
tanuma@gofund.co.jp



**Hoku**

February 2021

*Strictly Confidential*



## HOKU株式会社 会社概要

- 2017年2月 CIO松本リードにより設立
- 2017年8月 適格投資家向け投資運用業登録
- 2017年10月 運用開始
- 2020年4月 日本橋兜町に本社移転

## 投資運用戦略

日本株ロングショート/マーケットニュートラル

## チーム

- 全メンバー日本株運用/オペレーション業務に20年以上の経験
- セルサイド/バイサイド、ファンド運用経験
- 日本へのコミットメント / 多様性

お問い合わせ [info@hoku-fund.com](mailto:info@hoku-fund.com)



# Introduction of Attractor

Feb 2021



# CEO/CIO Yoshinori Nomura

---



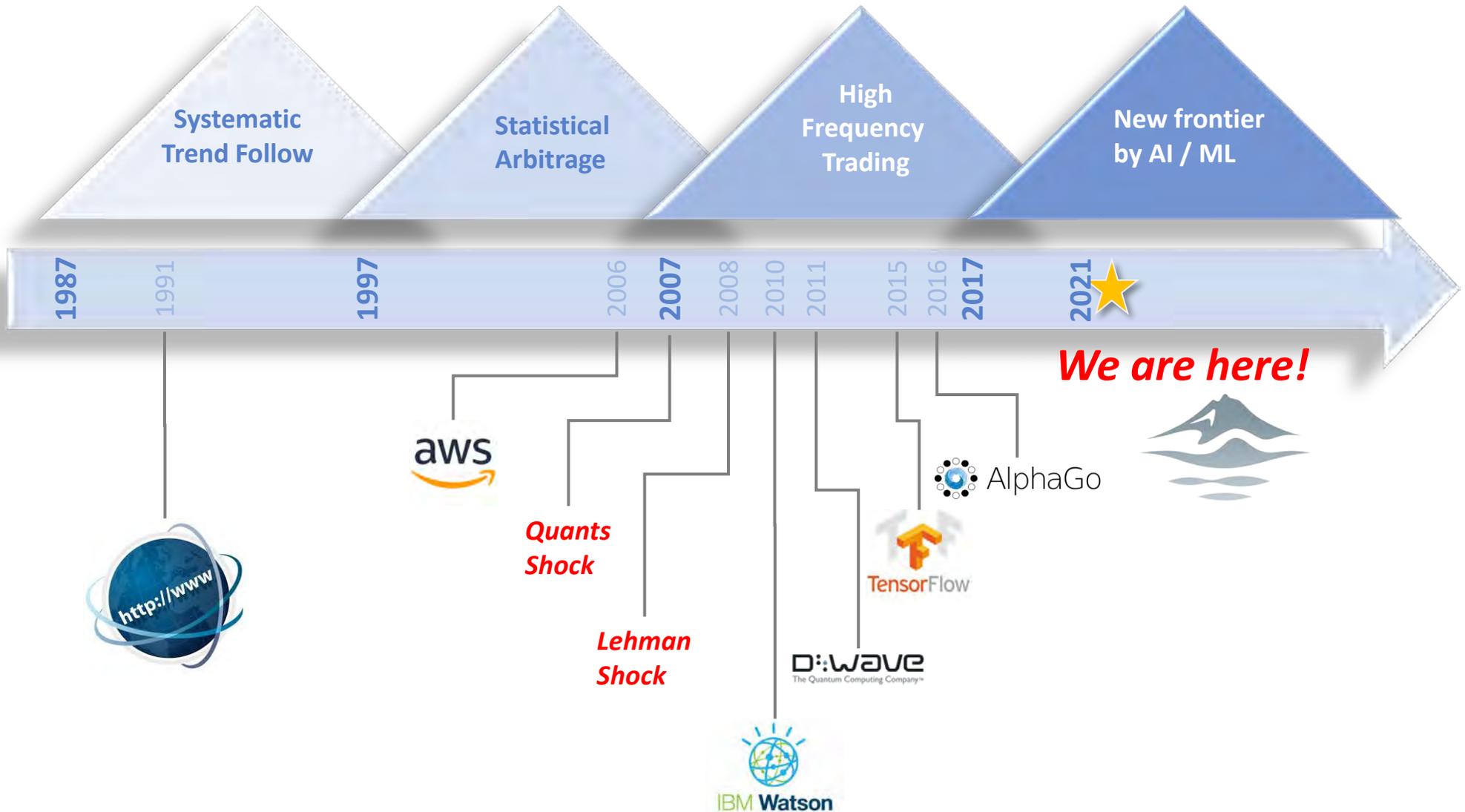
Mr. Nomura founded Mirage Mountain Technologies Inc as an AI/Machine Learning driven hedge fund company. Prior to MMT, he worked at Simplex Asset Management as a director and fund manager of AI driven hedge fund strategy which was well known in the space.

He also worked at Investment Banking Division of Citigroup Global Markets (Tokyo) as M&A and corporate finance advisor. He also conducted corporate strategy consulting at Accenture and Nomura Research Institute where he led a lot of data mining projects and acquired several business model patents.

He graduated from Waseda University with a Master's Degree in Science in 1998, major in Nonlinear non-equilibrium statistical physics.

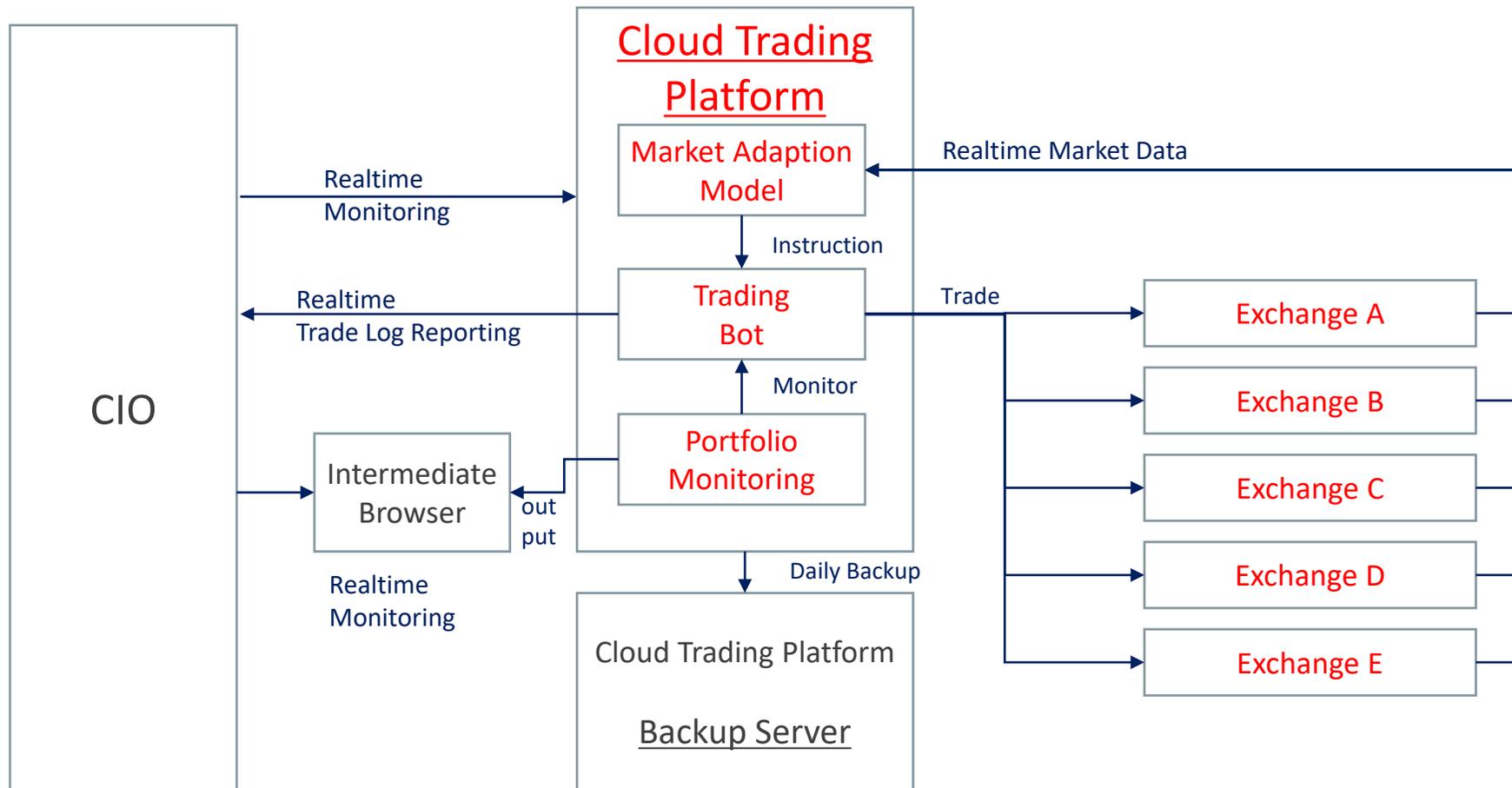


# Long history of technological innovation in investment strategies



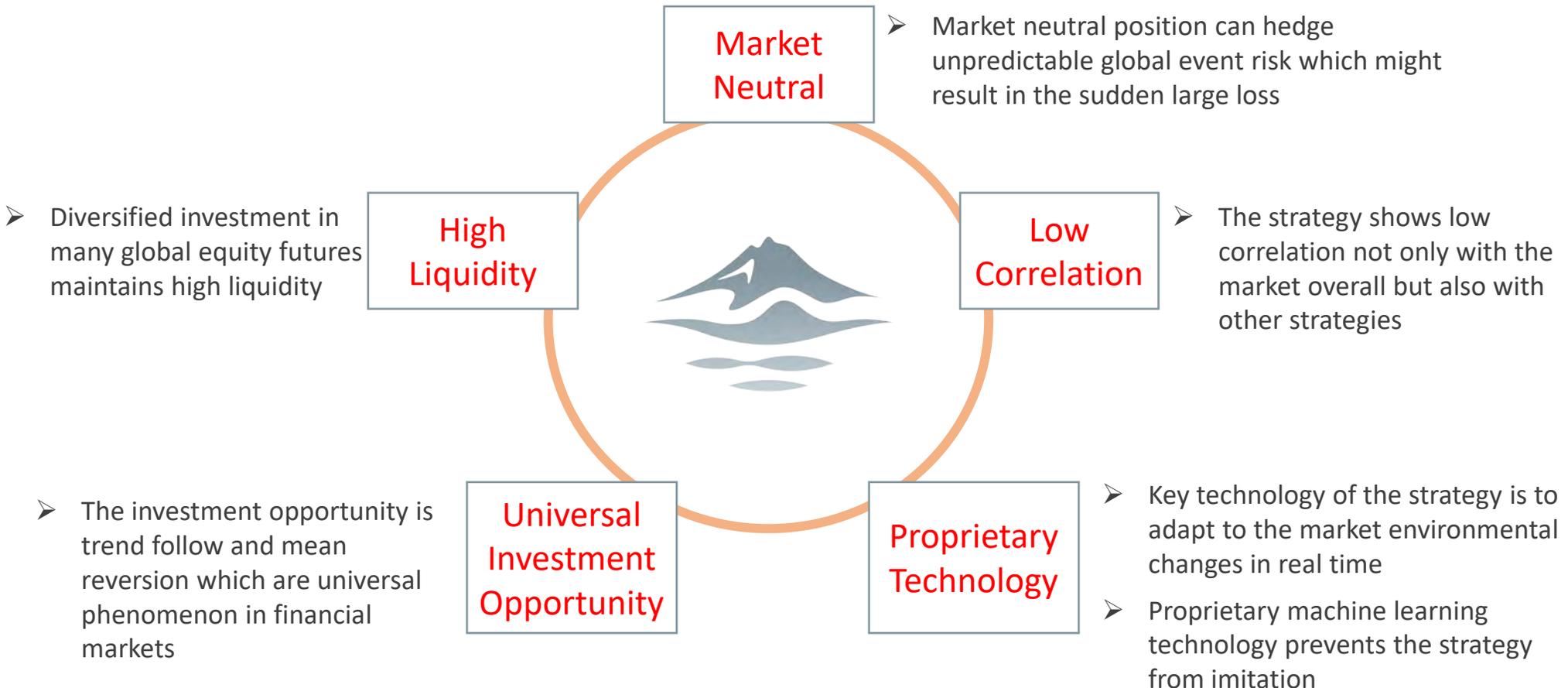
# Trading System Architecture and BCP

- ✓ Trading Platform is in the cloud (COVID19 is not our threat)
- ✓ Little chance of human error



# Executive Summary of Attractor

Attractor aims to adopt the all-weather strategy to achieve long term growth of asset under management by targeting competitive risk adjusted returns.



# T A M F 2021

オリオールの意味は、ラテン語で「昇る」「盛り上がる」です

私達は日出ずる国の金融商品取引業者として日本の資産運用業界を盛り上げることに寄与したいと考えています

そして、世界の投資家からも注目されるような運用会社を目指しています



# 投資哲学

## 投資対象および投資環境の徹底したリサーチ

私達今般のデジタル化が標榜されている前の創業時(2012年)より一貫してIT・インターネット・サービスの技術を使った企業群を助言対象企業としています。

競合や周辺取材等徹底したディープリサーチを行います。周辺リサーチ、投資環境を検証、納得した企業に投資します。

リスク管理および市場環境の変化に常に注意を払います。

## 収益の源泉は個別銘柄選択

銘柄選択は固有企業のファンダメンタル(基礎的)分析およびディープリサーチにより総括的に判断します。

投資環境の変化に対応し、アクティブにウエイトを変更します。

市場の大勢を占める見方には懐疑的に接します。そうした見方に間違いの余地がないか検証、分析を繰り返します。

間違いの余地が発見できれば、そこに最大の収益機会があると考えています。

# 会社紹介

社名

オリオール・アセット・マネジメント株式会社

【英語表記】ORIOR Asset Management Inc.

2012年4月17日に設立

2020年11月13日適格投資家向け投資運用業、

従業員は現在非常勤社員を含め6名です。

代表取締役(CEO) 田所 昇

代表取締役(CRO) 奥川 智彦

取締役 小野塚 二也

事業内容

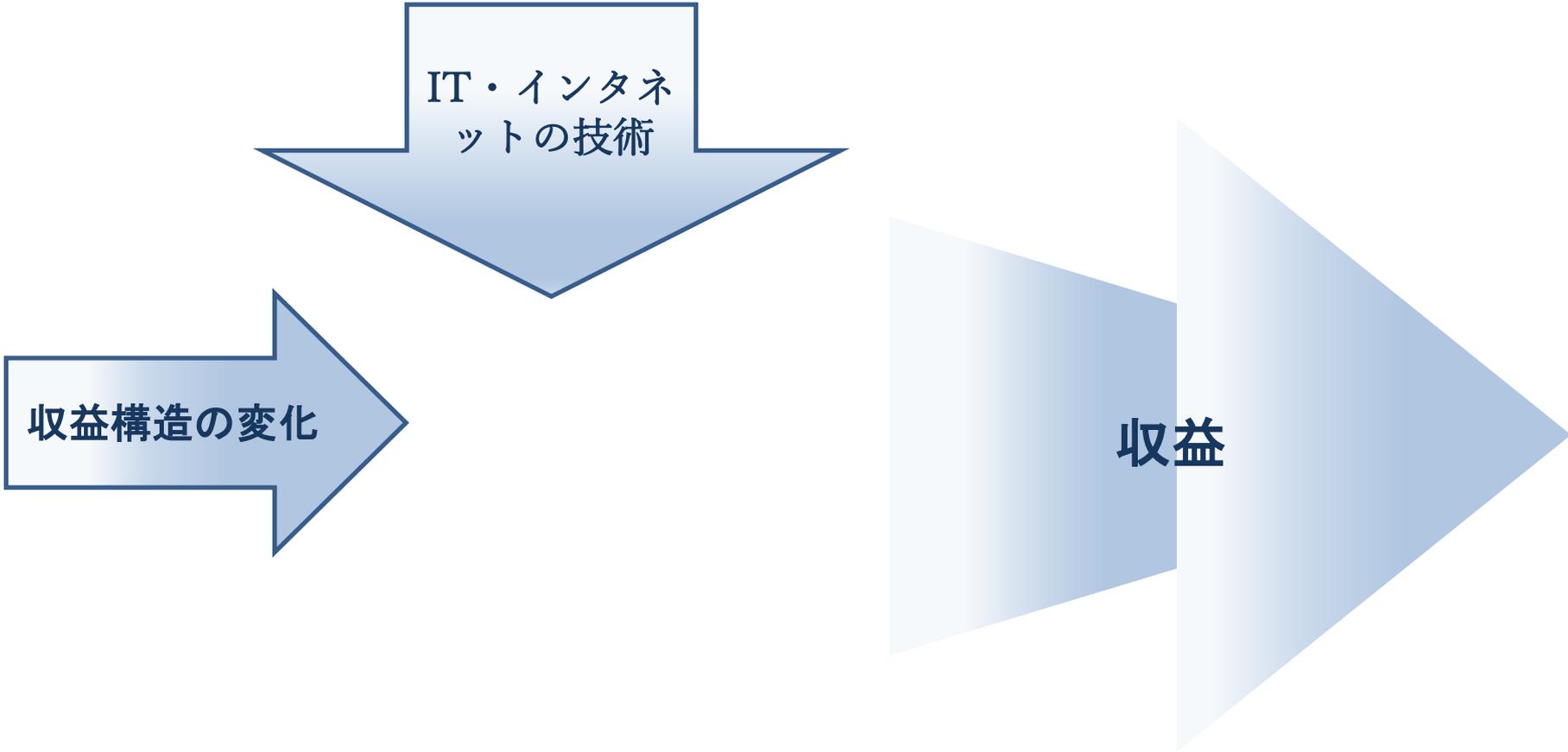
金融商品取引業者 適格投資家向け投資運用業、投資助言・代理業(関東財務局長(金商)第2647号)の運用会社

〒104-0045 東京都中央区日本橋室町1-11-6-1102

Tel 03-3277-0819 e-Mail [INFO@orior-am.com](mailto:INFO@orior-am.com)

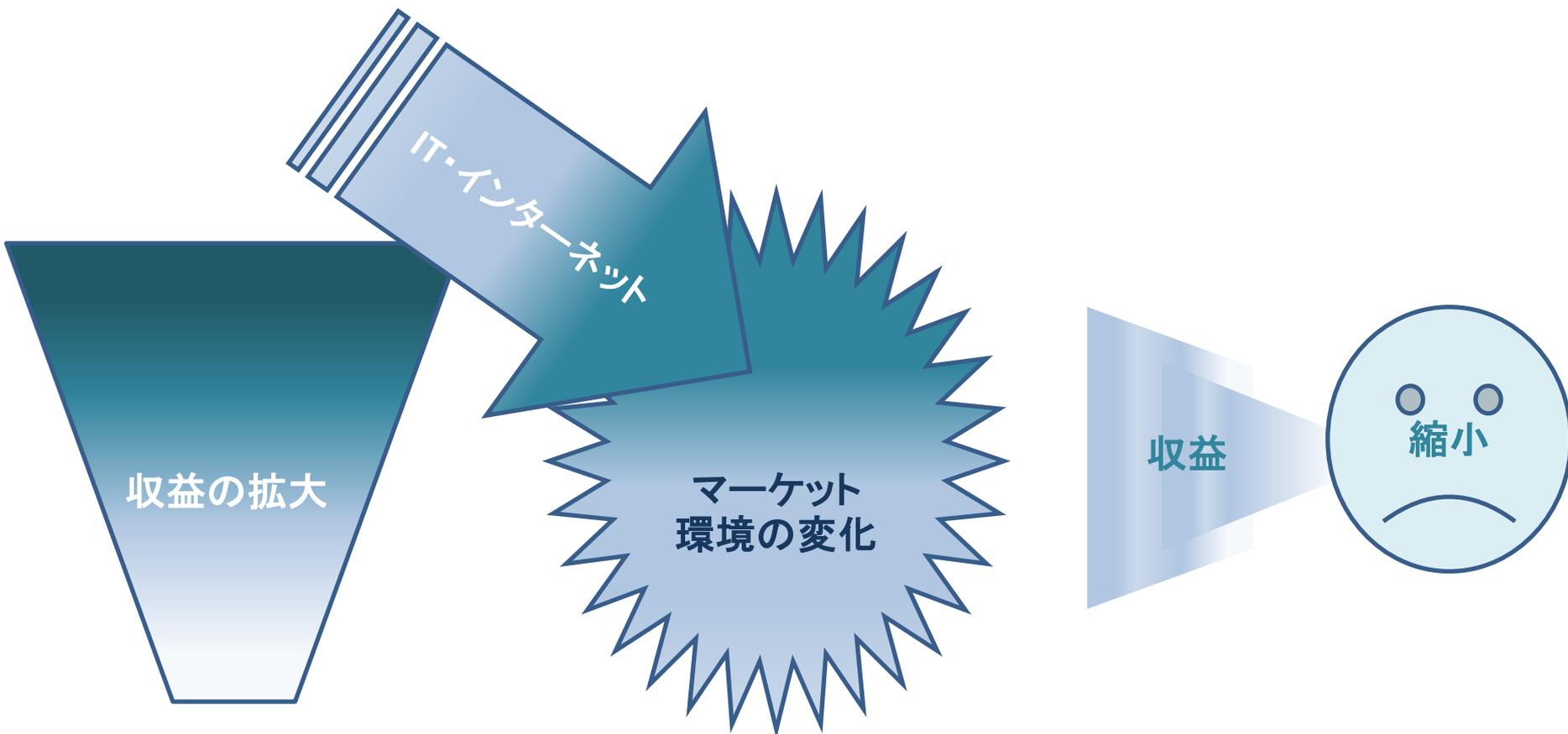
上記寄稿レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。またオリオール・アセット・マネジメント(株)が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、信頼性等については、いかなる保証をするものではありません。本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品その他金融商品は、企業の活動内容、経済政策および世界情勢等の影響により、その価値が変動し、また価値を失う場合があります。よって本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。本レポートに記載された内容は作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。本文およびデータの著作権を含む知的所有権はオリオール・アセット・マネジメント(株)に帰属し、オリオール・アセット・マネジメント(株)に無断で本レポートおよびその複製物を修正、加工、送信、配布することは禁じられています。

# 拡大期の企業



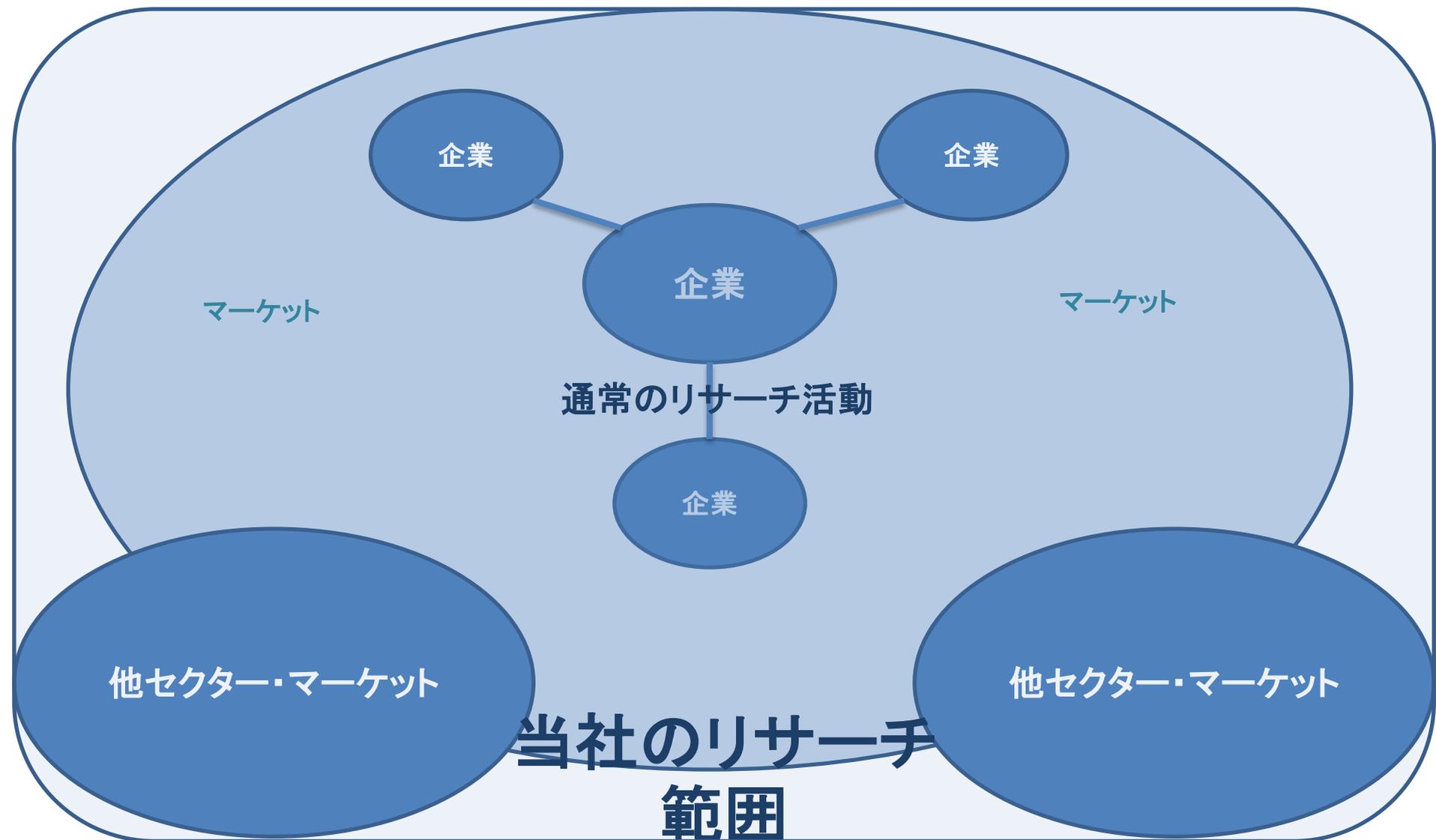
上記寄稿レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。またオリエール・アセット・マネジメント(株)が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、信頼性等については、いかなる保証をするものではありません。本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品その他金融商品は、企業の活動内容、経済政策および世界情勢等の影響により、その価値が変動し、また価値を失う場合があります。よって本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。本レポートに記載された内容は作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。本文およびデータの著作権を含む知的所有権はオリエール・アセット・マネジメント(株)に帰属し、オリエール・アセット・マネジメント(株)に無断で本レポートおよびその複製物を修正、加工、送信、配布することは禁じられています。

# 変化への対応



上記寄稿レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。またオリオール・アセット・マネジメント(株)が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、信頼性等については、いかなる保証をするものではありません。本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品その他金融商品は、企業の活動内容、経済政策および世界情勢等の影響により、その価値が変動し、また価値を失う場合があります。よって本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。本レポートに記載された内容は作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。本文およびデータの著作権を含む知的所有権はオリオール・アセット・マネジメント(株)に帰属し、オリオール・アセット・マネジメント(株)に無断で本レポートおよびその複製物を修正、加工、送信、配布することは禁じられています。

# ディープリサーチ



上記寄稿レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。またオリエール・アセット・マネジメント(株)が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、信頼性等については、いかなる保証をするものではありません。本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品その他金融商品は、企業の活動内容、経済政策および世界情勢等の影響により、その価値が変動し、また価値を失う場合があります。よって本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。本レポートに記載された内容は作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。本文およびデータの著作権を含む知的所有権はオリエール・アセット・マネジメント(株)に無断で本レポートおよびその複製物を修正、加工、送信、配布することは禁じられています。

# Appendix (セクター一覧)

東証33業種	2015/12/30 来騰落率	2015/12/30 来EPS変化額
その他製品(東証1)	114.7%	117
精密機器(東証1)	94.1%	-30
電気機器(東証1)	91.3%	34
情報・通信業(東証1)	79.2%	114
サービス業(東証1)	71.4%	-32
化学(東証1)	51.5%	-24
機械(東証1)	48.1%	-43
卸売業(東証1)	45.4%	-20
パルプ・紙(東証1)	26.8%	14
<b>TOPIX (東証株価指数)</b>	<b>25.3%</b>	<b>-29</b>
小売業(東証1)	23.1%	-12
医薬品(東証1)	15.3%	49
非鉄金属(東証1)	12.0%	-77
ガラス・土石製品(東証1)	9.2%	-19
金属製品(東証1)	8.9%	4
倉庫・運輸関連(東証1)	6.8%	63
石油・石炭製品(東証1)	5.4%	71
その他金融業(東証1)	2.4%	3
保険業(東証1)	1.3%	0
水産・農林業(東証1)	-0.5%	7
建設業(東証1)	-0.5%	36
海運業(東証1)	-1.9%	3
証券・商品先物取引(東証1)	-3.1%	-4
ゴム製品(東証1)	-4.6%	-235
陸運業(東証1)	-7.3%	-187
不動産業(東証1)	-8.7%	21
輸送用機器(東証1)	-11.0%	-208
食料品(東証1)	-12.2%	-4
繊維製品(東証1)	-20.6%	-34
電気・ガス業(東証1)	-26.8%	-32
鉄鋼(東証1)	-30.7%	-106
銀行業(東証1)	-31.9%	-8
鉱業(東証1)	-33.3%	-29
空運業(東証1)	-37.3%	-98

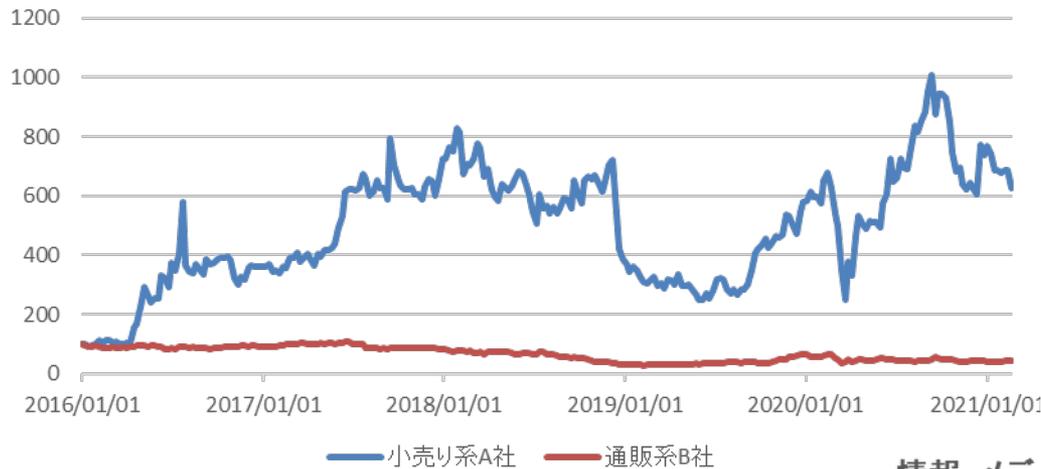
2015年末以来の東証33業種の騰落率比較とEPS(一株当たり利益)の変化幅

QUICKなど各種データを利用し、オリオール・アセット・マネジメントが作成  
期間: 2015年12月末—2021年2月

上記寄稿レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。またオリオール・アセット・マネジメント(株)が信頼できると判断した情報をもとに作成したのですが、本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、信頼性等については、いかなる保証をするものではありません。本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品その他金融商品は、企業の活動内容、経済政策および世界情勢等の影響により、その価値が変動し、また価値を失う場合があります。よって本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものではありません。本レポートに記載された内容は作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。本文およびデータの著作権を含む知的所有権はオリオール・アセット・マネジメント(株)に帰属し、オリオール・アセット・マネジメント(株)に無断で本レポートおよびその複製物を修正、加工、送信、配布することは禁じられています。

# Appendix (セクター内企業比較)

## 小売り通販系企業・2015年末を100として指数化



QUICKなど各種データを利用し、オリオール・アセット・マネジメントが作成  
期間: 2015年12月末—2021年2月

## 情報・メディア系企業・2015年末を100として指数化





# 会社案内

2021年2月

# 会社概要

## 創業の経緯

- 機関投資家向けの資産運用に携わりつつも、国内の個人投資家の置かれた状況（自分が利用したい、家族や友人に勧めたいと思える投資商品が少ない）を何とかしたいと思い、創業を決意。
- ゴールドマン・サックスの運用担当者2人と、DeNA/楽天のエンジニア2人、計4人が集い創業。
- 創業者全員が理系の大学院を修了し、エンジニアバックグラウンドを持っており、「無いものは自分で作る」。

会社名	株式会社sustenキャピタル・マネジメント
設立	2019年7月
代表	岡野 大、山口 雅史
自己資本	約4億500万円
役職員数	13人
登録業	第一種金商業、第二種金商業、投資運用業
サービスの特徴	インターネットを通じて、一般投資家向けの資産運用サービスを提供。 国内で初めて、プロフィットシェア型（完全成果報酬型）の費用体系を導入し、一般投資家の金融サービスへの心理的ハードルを引き下げ、資産運用者の拡大を狙う。
所在地 および連絡先	中央区日本橋兜町8-1 FinGATE TERRACE 6F info@susten.jp



## 代表者紹介



### 岡野 大（代表取締役CEO）

2012年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント入社。2014年から2019年まで戦略株式運用部にて機関投資家向け運用の投資判断者として従事。数百億円規模のポートフォリオの株式、デリバティブ、為替等を運用した。ジャッジメンタルベースでの投資判断を行いつつ、ファンドの計量ヘッジングモデルも開発。在籍中のシャープレシオは1.3以上。東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻（修士）。



### 山口 雅史（代表取締役CIO）

2007年ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント入社。運用投資戦略部にてポートフォリオ・マネージャーを務め、法人顧客の資産管理に従事。2012年にGoldman Sachs(在NY)へ移籍後は、2019年まで北米機関投資家約15兆円の資産配分、タクティカル・アセット・アロケーションの計量運用責任者を歴任。京都大学大学院情報学研究科卒(修士)。日本証券アナリスト協会検定会員。

# 資産運用サービスSUSTEN

## 1. ロボアド x 高品質な分散 x 成果報酬

主に個人を対象に、伝統的なグローバル分散ポートフォリオの枠組みを超えて、互いに低相関な7種類のリスク・プレミアムの獲得を目指すサービスを2月15日にリリース完了

## 2. クロス・アセット・マルチ戦略を部品提供

独自開発の市場中立型マルチ戦略により、主としてグローバルの株価指数先物取引、国債先物取引および通貨先物取引等を利用し、円建て絶対収益の獲得を目指す

## 3. 日次流動性、ロング・ショート

流動性は日次でロックアップはありません。投資対象は先進国指数先物。円建て・日本国内で運用



SUSTENの特徴 費用について インサイト 企業情報 [口座開設](#) [ログイン](#)

### プロ向け資産運用をリーズナブルに

業界初のプロフィットシェア型<sup>1)</sup>資産運用サービス

リターンが出なければ費用なし<sup>2)</sup>  
SUSTENは最先端アルゴリズムを取り入れた資産運用システムであなたの資産形成をお手伝いします

あなたのポートフォリオ運用状況

先週初年度対比 31.2%

資産クラス名	比率
先進国大株株式	31.2%
先進国小株株式	4.4%
新興国株式	4.2%
新興国債券	40.5%
円債	1.7%
円株	15.0%

まずは無料診断から →  
あなたの資産形成に最適なプランをご提案します

### SUSTENが選ばれる理由

- プロ向けの高度な資産運用を個人にも**  
個人投資家にはハードルの高いデリバティブや最先端アルゴリズムなどを駆使し、リスク
- 全てをおまかせスマホで完結**  
面倒な銘柄選定や売買は全ておまかせ。入金から出金まですべての手続きがスマホ1つで
- 業界初のフェアな料金体系**  
私たちのサービスは従来の資産運用サービスと異なり、投資家にとって利益のない運用に



# sustenの運用哲学



## 資産運用は科学

sustenでは、全ての投資意思決定は科学的プロセスを経てなされます。

人による場当たりの近視眼的な投資行動を排除し、事前のリサーチ、統計的テストを経て承認された計量モデルでの運用を行います。



## リターンの源泉は リスク・プレミアム

リターンの源泉は、リスクを取ることに対する対価だと考えます。

ただし、すべてのリスクにリターンが付随するものではありません。長期的にリターンをもたらす得るリスク・ファクターを厳選し、不必要なリスクを低減します。



## 分散は 唯一のフリーランチ

株式市場と相関の低いリスク・ファクターを複数活用することで、真の分散投資を実現します。

古典的分散法に基づいた資産クラスレベルでの分散では特定のリスクに大きく偏ることとなり、最適ではありません。



# リスク・プレミアム分散

## バリュウ

特定の指標に基づき“割安な”資産を買い、“割高な”資産を売ることで得られるリスク・プレミアム。  
「アクティブ投資」と呼ばれる投資の中で、最も言及されることの多いポピュラーな収益源泉。

## モメンタム

直近の“投資効率が低い”資産を買い、“投資効率が悪い”資産を売ることで得られるリスク・プレミアム。  
「マクロ系ヘッジファンド」や「CTA」と呼ばれる投資主体の代表的な収益源泉として知られている。

## キャリー

“配当や利子の多い”資産を買い、“配当や利子の少ない”資産を売ることで得られるリスク・プレミアム。  
特に通貨の世界における収益源泉として活用されることが多い。

## ディフェンシブ

“リスクの低い”資産を買い、“リスクの高い”資産を売ることで得られるリスク・プレミアム。  
学術的には比較的新しい部類に入る収益源泉。

## スキュー

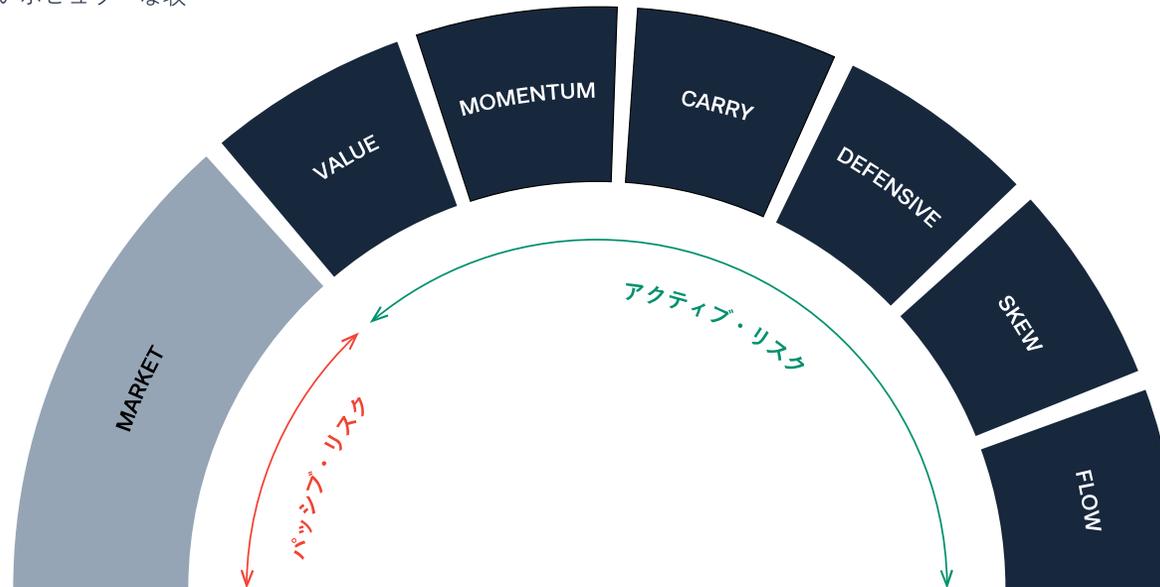
リターンの出方に“非対称性のある”資産を売り、“非対称性のない”資産を買いすることで得られるリスク・プレミアム。  
身近な例では、「宝くじ」や「保険」が非対称なリターンをもたらす商品として知られている。

## フロー

市場に影響を与えうる機関投資家や中央銀行等の動向、ポジションを利用するリスク・プレミアム。大局的な情報の織り込みには時間を要することが知られており、素早く投資行動を取ることで得られる収益源泉。

## マーケット

市場で取引されている証券に投資を行うことで得られる最も基本的なリスク・プレミアム。  
近年、このリスク・プレミアムを獲得するのにもっとも合理的な方法として「インデックス投資」の注目が上がっている。





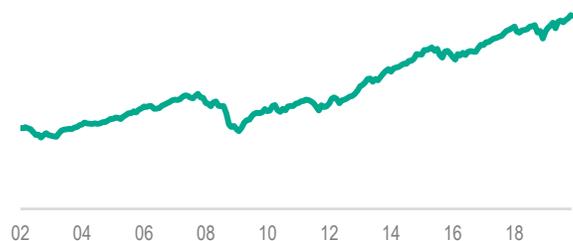
# リスク・プレミアムの比較分類

分類	役割	投資信託名称	リスク・プレミアム大分類	概要	背景となる認知バイアス	得意な環境	苦手な環境
最終顧客 ポートフォリオ	収益追求	R	マーケット	国際分散投資による経済成長の享受	-	景気拡大期	景気後退期
		G	モメンタム	情報伝達の遅延に由来する 価格変動の趨勢	バンドワゴン効果 ハウスマネー効果	持続的な上昇 または下落	一定のレンジ内の動き トレンドの転換期
			バリュー	本源的価値に対して 割安な資産への投資	外挿効果 損失回避バイアス	景気サイクルの回復期	景気サイクルの 上昇後期
			キャリー	インカム・ゲインと収益率の連動性	フォワード・プレミアム・バイアス	穏やかな金融緩和局面	流動性枯渇局面
			ディフェンシブ	高リスク資産への過大評価	レバレッジ 回避効果	株式と債券の 逆相関局面	株式と債券の 同時下落局面
			フロー	市場参加者の投資行動パターン	回帰の誤謬	平均からの乖離が 縮小する局面	平均からの乖離が 拡大する局面
			スキュー	収益率分布の非線形性に付随する リスク・プレミアム	宝くじ効果	標準的な上下動が 続く局面	市場急落 または急上昇局面
	リスク低減	B	N/A	グローバル投資適格債券	-	金利下落期	金利上昇期



# sustenが投資するリスク・プレミアム

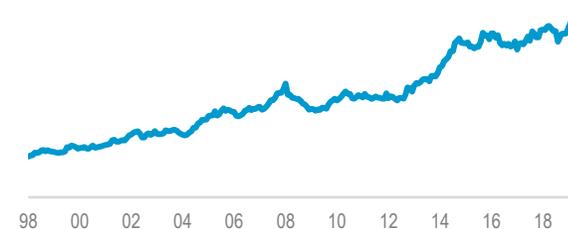
- sustenではマーケット・リスク以外では全6分類のリスク・プレミアムを活用し、真の分散投資を実現します。



マーケット・プレミアム



バリュー・プレミアム



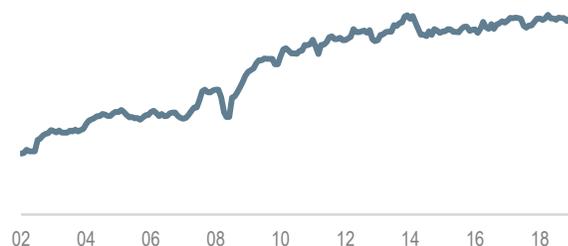
モメンタム・プレミアム



キャリー・プレミアム



ディフェンシブ・プレミアム

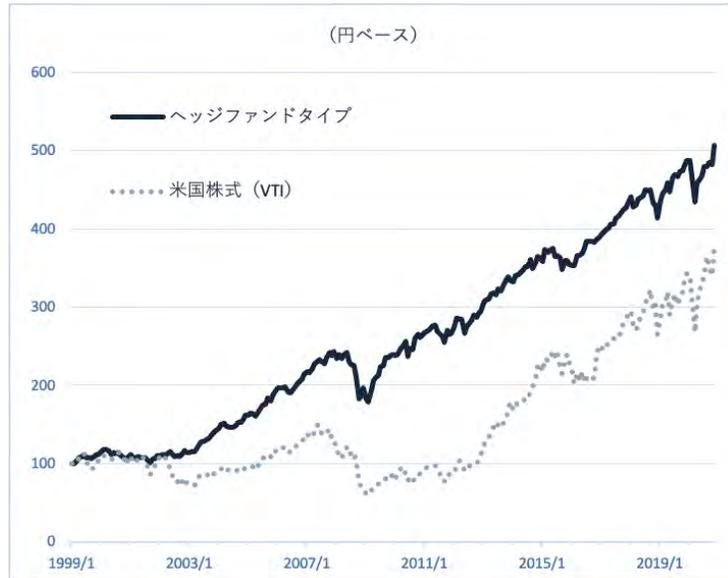


スキュー・プレミアム



# 不要なリスクの低減（効率の最大化）

## 代表戦略のバックテスト（ヘッジファンドタイプ）



## 資産運用は科学である

私たちの運用哲学の根幹をなすのは科学です。すべての運用の意思決定は、科学的プロセスを経てなされます。

リターンのもとなわなないリスクを極力排除し、リスクあたりのリターンを高める運用を目指します。

2002年12月-2020年11月	年率リターン	年率リスク	投資効率
SUSTEN ヘッジファンドタイプ	8.3%	9.0%	0.93
米国株式	9.5%	18.7%	0.51

上記はあくまで例示を目的とするものであり、将来のリターンを保証するものではありません。



# 各リスク・プレミアムにおける投資対象

	株式インデックス							長期国債						通貨						短期国債							
	米国株式	カナダ株式	ドイツ株式	英国株式	スペイン株式	オーストラリア株式	日本株式	米国10年国債	カナダ10年国債	ドイツ10年国債	英国10年国債	オーストラリア10年国債	日本10年国債	米ドル USD	ユーロ EUR	日本円 JPY	英ポンド GBP	豪ドル AUD	加ドル CAD	NZドル NZD	スイスフラン CHF	ノルウェークローネ NOK	スウェーデンクローナ SEK	米2年国債	米5年債	クレジット	株式個別銘柄
MARKET	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
MOMENTUM	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	●
VALUE	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	●
CARRY	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	●
DEFENSIVE	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
SKEW	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	●	—



# 巻末開示情報

- 本資料は、株式会社sustenキャピタル・マネジメント（以下「弊社」といいます。）が情報提供を行うことのみを目的として作成した資料です。本資料は一般投資家向け資料ではありません。
- 本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されたシミュレーションおよびバックテストは、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。
- 本資料に記載された個別の指数については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる指数の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。
- **守秘義務**
- 本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく (I)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)受領者に所属する役職員あるいは受領者の委任を受けた代理人以外の第三者に再配布することを禁じます。

## 株式会社sustenキャピタル・マネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3201号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

承認番号：210222

## 基調講演③

# サステナビリティ・トランスフォーメーション

■環境省 大臣官房環境経済課 環境金融推進室 室長 近藤 崇史 氏



---

# サステナビリティ トランスフォーメーション

---

2021年2月

環境省 環境経済課 環境金融推進室



# はじめに：環境・社会・経済のウェディングケーキ

- 国連は、SDGsは「持続可能な開発の三側面、すなわち経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである。」と説明。環境・社会・経済は相互に関連しつつ、同軸にあるもので、ウェディングケーキに例えられる。
- 経済は社会の上に、社会は環境の上に成り立つ。経済がバランスを欠けば環境や社会に悪影響が及び、環境の崩れは社会・経済を脅かす。
- SDGs/ESGは、「経済を犠牲にした慈善活動」として付加的に対応するものではなく、本業の戦略に利用するもの。

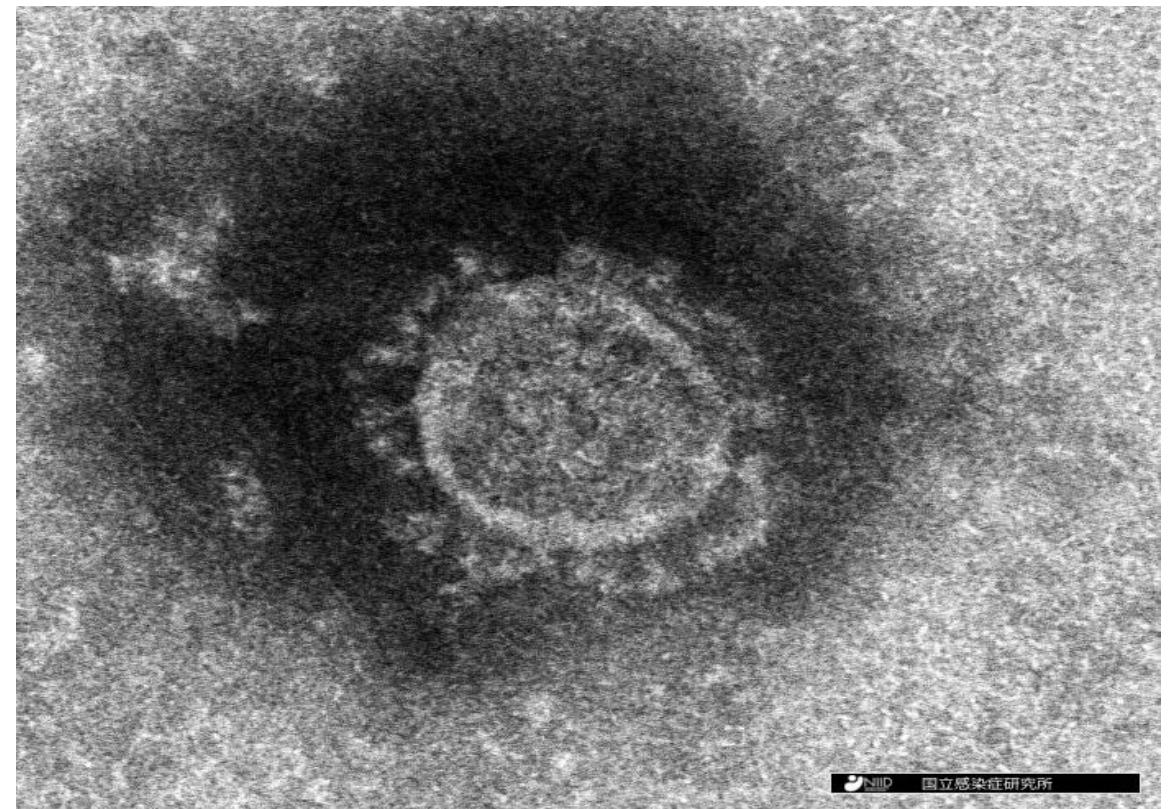


# 「気候危機」と「コロナ」と2つの危機に直面

- 国内外で深刻な気象災害が多発、更に気象災害のリスクが高まる
- 6月12日、環境省として「気候危機宣言」を実施。
- 新型コロナウイルスによる世界中の経済社会、健康等に甚大な影響



▲令和元年東日本台風による被害の様子  
＜長野県長野市千曲川＞



▲2019-nCoVの電子顕微鏡写真（資料：国立感染症研究所）

# 「3つの移行」による経済社会のリデザイン（再設計）

<ウィズコロナ・ポストコロナの時代>

## 「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計）

⇒ **地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造**

### 脱炭素社会

- ゼロカーボンシティ再エネ強化支援パッケージ
- 「新たな日常」の脱炭素化
- 脱炭素イノベーション加速化

### 循環経済

- プラスチック資源循環戦略の具体化
- 持続可能な廃棄物処理体制構築
- レジリエントな廃棄物処理

### 分散型社会

- 「気候変動x防災」「適応復興」によるレジリエント化
- 国立公園の抜本強化
- 新たな里地里山里海の創造

## 移行を支える取組

### ESG金融・ナッジ等を活用した社会変革

- **ESG金融、インパクトファイナンス**
- ナッジ
- 脱炭素経営、スタートアップ支援

### 環境外交の強化

- COP26、COP15 に向けた外交強化
- 大阪ブルーオーシャンビジョン拡大・深化
- 脱炭素化原則に基づく環境インフラ輸出

### 基盤となる健康と環境を守る取組

- 人獣共通感染症対策
- 石綿、PCB、水俣、動物愛護管理

## 東日本大震災からの復興・創生と未来志向の取組

- 福島環境再生に向けた取組の着実な実施
- 未来志向の環境施策推進による復興加速  
ー希望ある未来へのリデザインー

# 脱炭素社会実現に向けた環境省・経団連の連携に関する合意 (2020年9月24日)



- 令和2年(2020年)9月24日、環境省と経団連は「**環境と成長の好循環に向けたコロナ後の経済社会の再設計(Redesign)－脱炭素社会実現に向けた環境省・経団連の連携に関する合意－**」を取り交わした。
- 脱炭素社会実現に向けた**双方の具体的な取組を連携**して進めるとともに、**定期的な意見交換等**を行うこととしている。



## 環境と成長の好循環に向けたコロナ後の経済社会の再設計(Redesign) －脱炭素社会実現に向けた環境省・経団連の連携に関する合意－

2020年9月24日  
環境省  
(一社)日本経済団体連合会

### 〔総論〕

1. コロナ危機と気候危機という2つの危機に直面する中、経済社会をより持続可能でレジリエントなものへと再設計(Redesign)し、環境と成長の好循環を創出することが求められている。とりわけ気候変動問題の解決には、革新的技術開発とその地球規模の普及が不可欠である。こうした観点から、環境省と経団連は、パリ協定に掲げられた脱炭素社会の実現を目指し、緊密に連携を図っていく。
2. あわせて、わが国のNDC(国が決定する貢献)の着実な実現に向け協力するとともに、技術開発や生活様式の変化を踏まえ、更なる削減努力を追求していく。

### 〔脱炭素社会の実現〕

3. 脱炭素社会の実現に向け、経団連は「チャレンジ・ゼロ」イニシアチブを強力に推進する。環境省は、他の政府機関と協力し、経団連及び会員企業等の取組を後押しする。
4. さらに環境省と経団連は、TCFDやSBT、RE100などの我が国企業の脱炭素経営推進に向け連携を図る。

### 〔パリ協定に基づくNDCの着実な達成〕

5. 経団連は、パリ協定に基づくNDC達成に向けた主体的取組を着実に実行するとともに、環境省は、他の政府機関と連携して、フォローアップ・支援を行う。

### 〔サステナブル・ファイナンス/ESG金融〕

6. 経団連は、脱炭素社会の実現に資する技術開発やトランジションの推進のため、情報開示を含むサステナブル・ファイナンス/ESG金融を積極的に推進する。環境省は、他の政府機関と連携し、サステナブル・ファイナンス/ESG金融推進に向けた環境整備を行う。

### 〔定期的な意見交換等〕

7. 環境省と経団連は、上記1. から6. の推進に向け、定期的な意見交換等を行う。また、環境と成長の好循環に向けたコロナ後の経済社会の再設計(Redesign)と、「脱炭素社会」、「循環経済」、「自然共生・分散型社会」への移行(「3つの移行」)、その未来像としての地域循環共生圏、Society 5.0 for SDGsの実現に向けた取組についても連携を図る。

## (参考) 地球温暖化対策に関する菅総理大臣の発言

### ◆第203回国会における菅内閣総理大臣所信表明演説（令和2年10月26日）

#### 三. グリーン社会の実現

菅政権では、成長戦略の柱に経済と環境の好循環を掲げて、グリーン社会の実現に最大限注力してまいります。

我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします。

もはや、温暖化への対応は経済成長の制約ではありません。積極的に温暖化対策を行うことが、産業構造や経済社会の変革をもたらし、大きな成長につながるという発想の転換が必要です。

鍵となるのは、次世代型太陽電池、カーボンリサイクルをはじめとした、革新的なイノベーションです。実用化を見据えた研究開発を加速度的に促進します。規制改革などの政策を総動員し、グリーン投資の更なる普及を進めるとともに、脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設するなど、総力を挙げて取り組みます。環境関連分野のデジタル化により、効率的、効果的にグリーン化を進めていきます。世界のグリーン産業をけん引し、経済と環境の好循環を作り出してまいります。

省エネルギーを徹底し、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、安全最優先で原子力政策を進めることで、安定的なエネルギー供給を確立します。長年続けてきた石炭火力発電に対する政策を抜本的に転換します。

### ◆第42回地球温暖化対策推進本部における菅内閣総理大臣指示（令和2年10月30日）

2050年カーボンニュートラルに向けた取組について議論が行われ、総理は、議論を踏まえ、次のように発言。

「2050年カーボンニュートラルへの挑戦は、日本の新たな成長戦略です。この挑戦を産業構造や経済社会の発展につなげ、経済と環境の好循環を生み出していきたいと思えます。

梶山大臣には、成長戦略策定の中心となって、厳しい課題ではありますが、世界市場獲得の可能性のあるエネルギー・産業分野の変革という大きな課題を背負っていただきたいと思えます。

小泉大臣には、新たな地域の創造や国民のライフスタイルの転換など、カーボンニュートラルへの需要を創出する経済社会の変革や、国際的な発信に取り組んでいただきたいと思えます。

各閣僚には、それぞれの所掌分野の排出削減策、脱炭素技術の開発や実装、グリーンファイナンス促進、関連規制の改革などを検討いただきたいと思えます。そして世界をリードする外交も進めていただきたいと思えます。

このような課題について、成長戦略会議や、国と地方で検討する新たな場、こうしたところにおいて議論を重ね、地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画、パリ協定に基づく長期戦略の見直しを加速していただきたいと思えます。

全閣僚一丸となって取り組んでいただきますようお願いいたします。」

# ESG金融促進のための主要施策

■ **ESG要素を考慮した資金の流れをさらに大きくし、ESG投融資を通じてインパクトを生み出す**よう、**ESG金融を促進**する。これにより、2℃目標やSDGsの達成に向けたビジネス・グリーンプロジェクトに資金が集まるような金融メカニズムを構築し、環境と成長の好循環を実現する。

## 1 金融セクターのESGのコミットとESG情報開示に基づく対話の促進

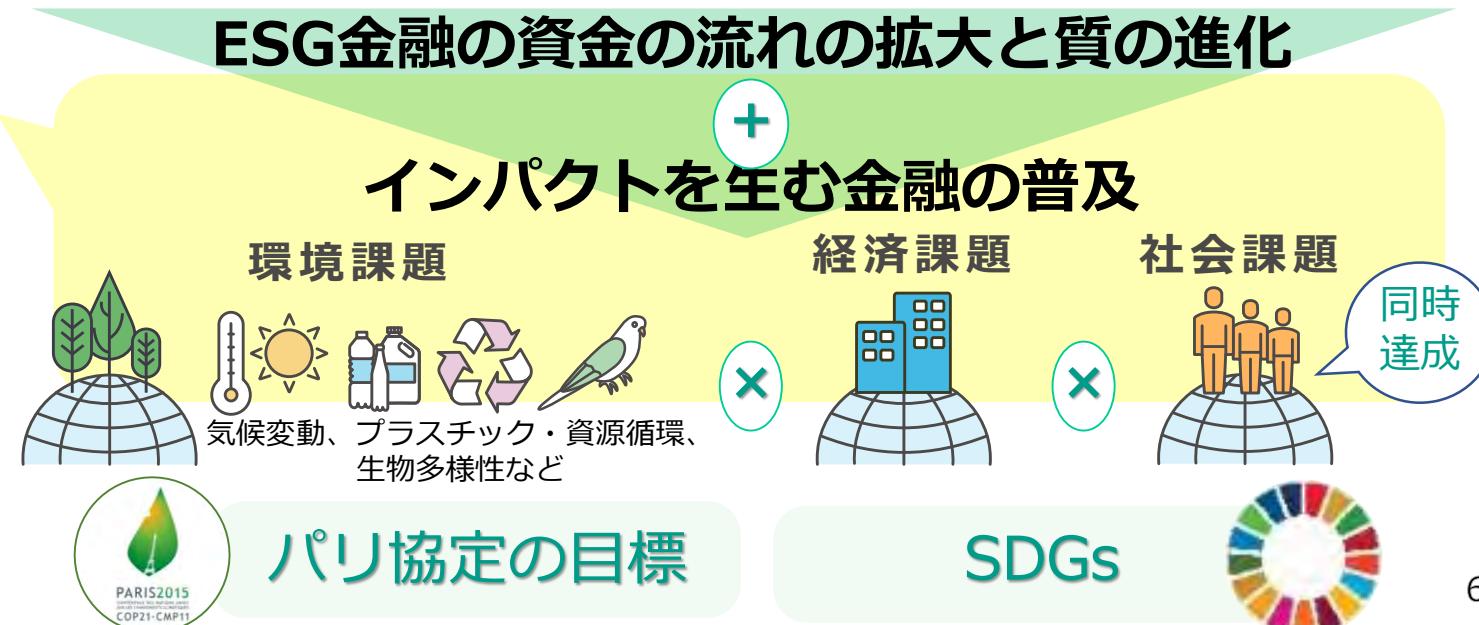
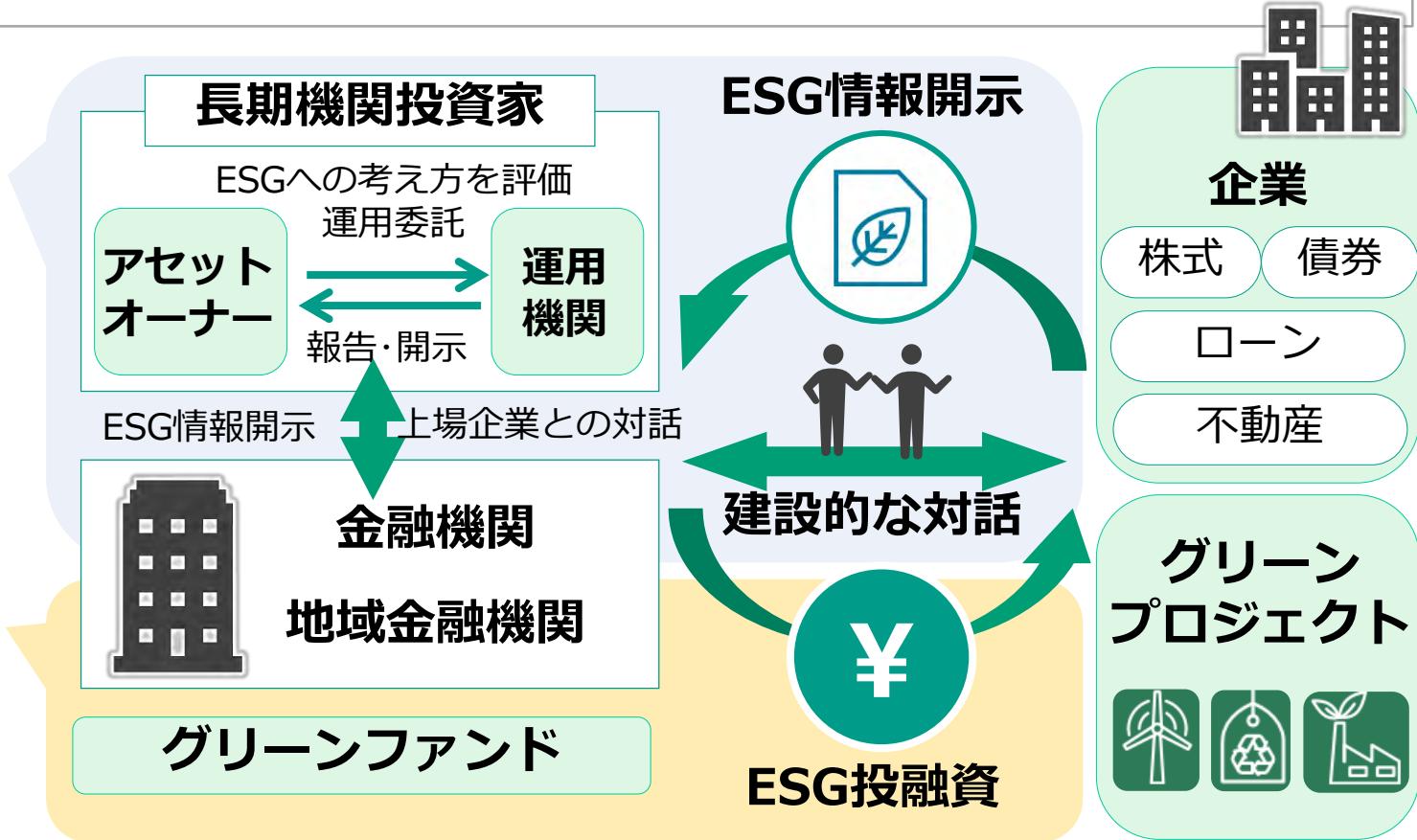
- PRI・PRBで求められるESG方針設定支援
- TCFD、ESG情報開示の促進
- 生物多様性等に関する対話の促進

## 2 地域課題解決を支えるESG地域金融の実践

- ESG地域金融実践ガイドや促進事業等を通じたESG地域金融の普及展開
- グリーンファンド、利子補給、ESGリースによる支援

## 3 ポジティブなインパクトを狙った投融資の拡大

- インパクト重視の金融商品をガイドライン整備や補助事業により支援  
グリーンボンド / グリーンローン  
サステナビリティ・リンク・ローン など
- モデル事業等を通じたトランジションファイナンスやインパクトファイナンスの実践促進



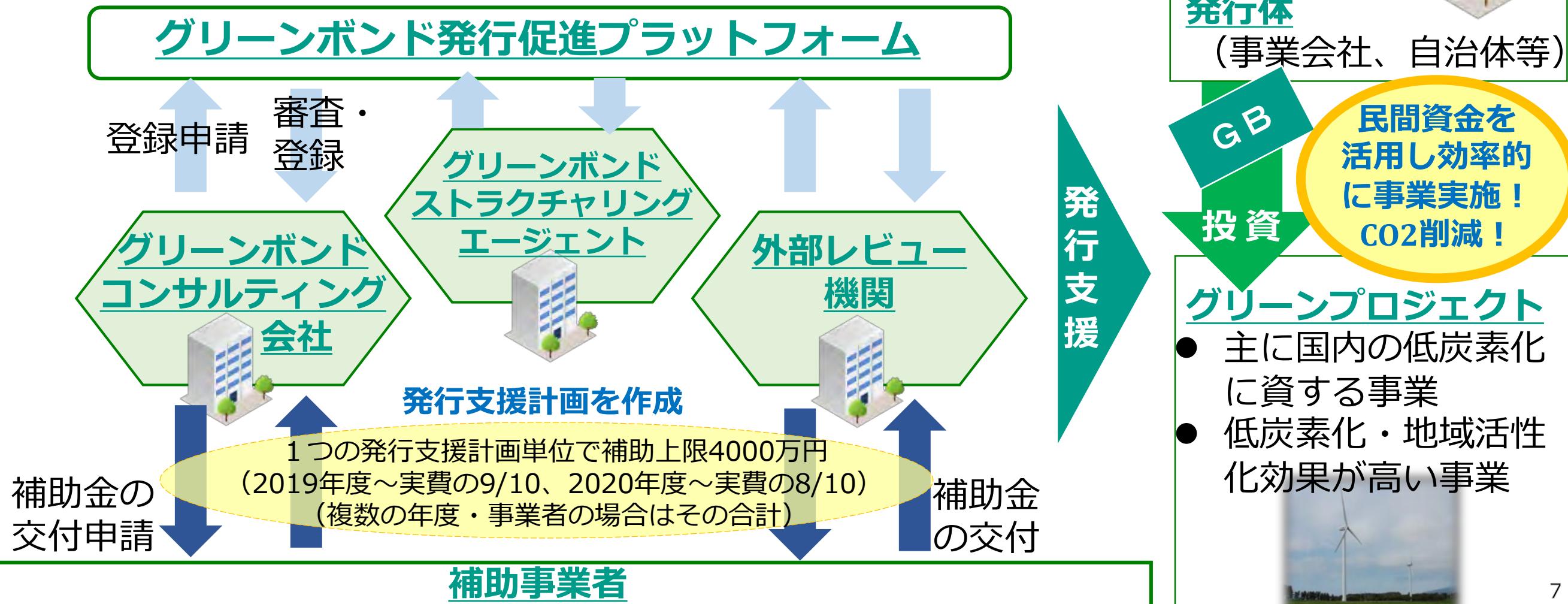
# グリーンボンド発行促進のための支援制度

## 1 GB発行に要する追加コストを補助制度により支援

- ✓ GBを発行しようとする企業・自治体等に発行支援（外部レビュー付与、GBフレームワーク整備のコンサルティング等）を行う者に対し、その支援に要する費用を補助

## 2 GB発行促進プラットフォームの整備

- ✓ GB発行支援を行う者の登録・公表、発行事例の情報共有や国内外の動向分析・情報発信等を行う



# アセットオーナーへの期待

- 2020年10月8日に開催されたESG金融ハイレベル・パネル（第3回）では、小泉環境大臣より **アセットオーナーの役割の重要性** 及び **ESG金融への取組みに対する期待** が述べられた。

## ◆小泉環境大臣ご挨拶

アセットオーナーの皆様の役割は非常に重要です。

保険会社や年金基金だけでなく、銀行や信用金庫、信用組合なども含め、資産の保有主体の意向は、投融資の意思決定に大きな影響を与え、ESG金融の質と量の両面を左右します。

金融機関の皆様におかれましては、ESGを付加的な要素としてではなく、それぞれのビジネスに統合していく形で、収益を追求しつつ取り組んでいただけることを強く期待しています。

(第3回ESG金融ハイレベル・パネルの様子)



小泉環境大臣

# パネルディスカッション①

## 大学基金運用の高度化に向けて

### ■ パネラー :

国際基督教大学 常務理事 新井 亮一 氏

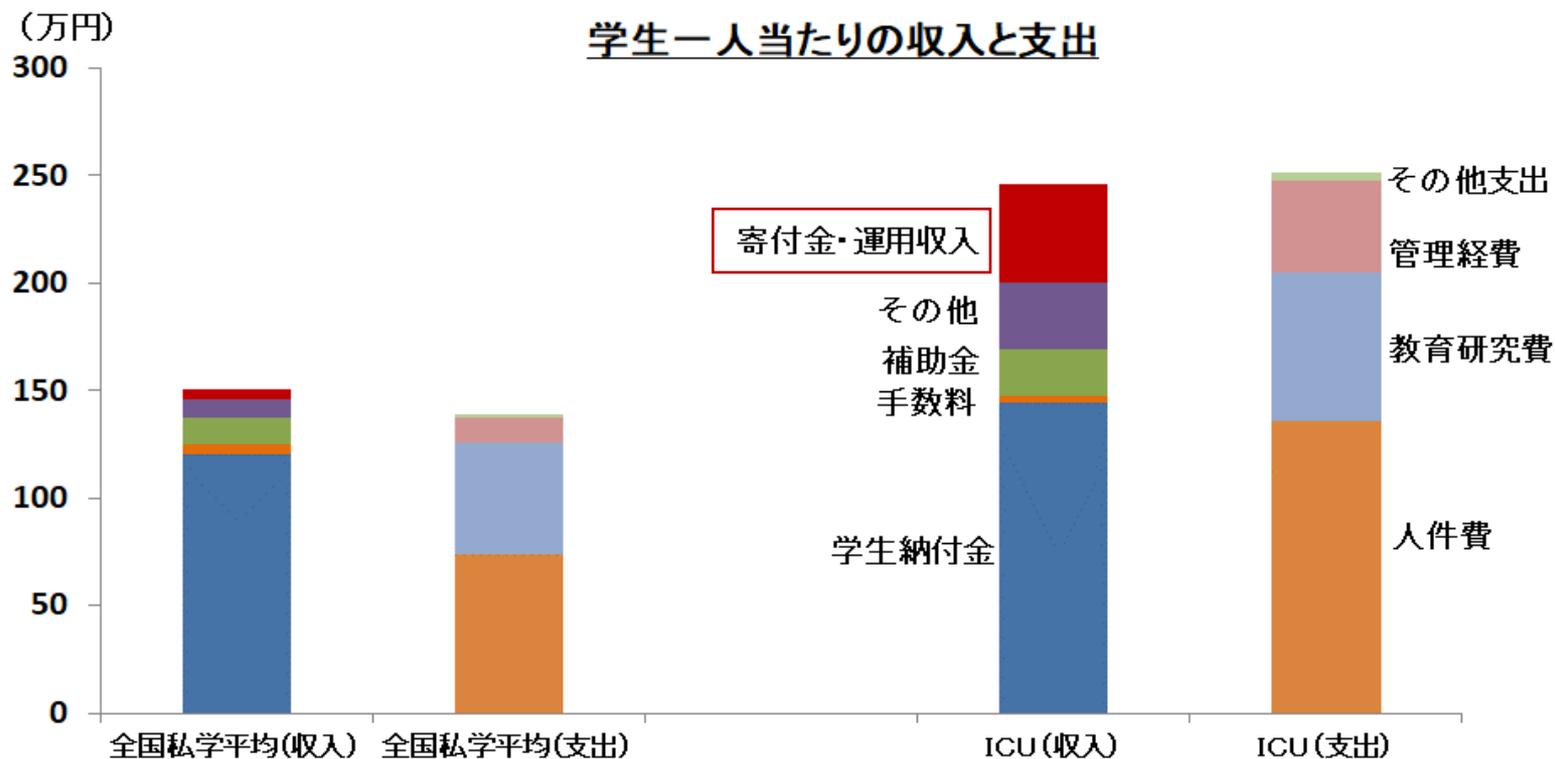
東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社 代表取締役社長 片寄 裕市 氏

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役/パートナー 坂本 教晃 氏

### ■ モデレーター :

カタリスト投資顧問株式会社 取締役副社長 小野塚 恵美 氏

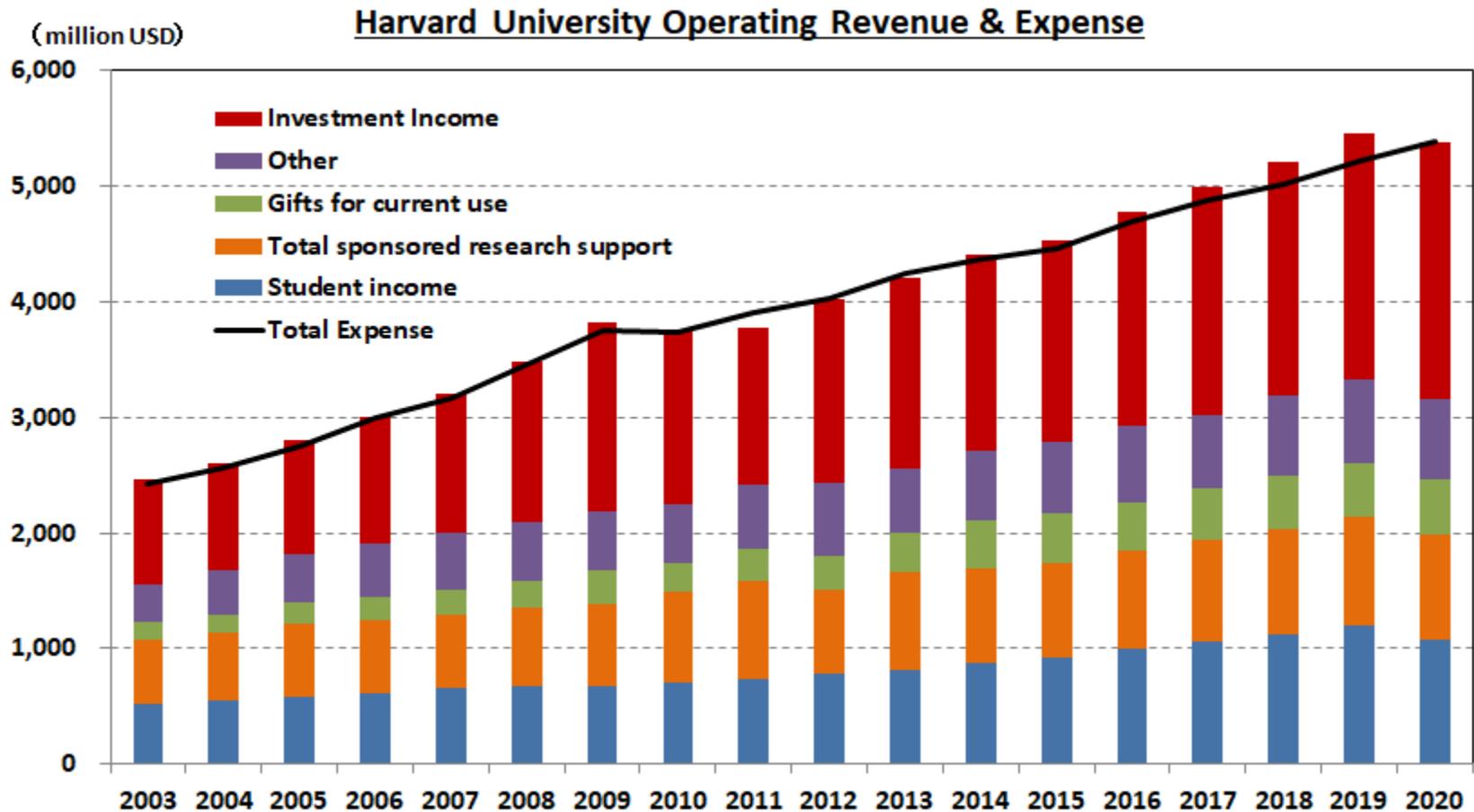
# ICUの収支



注) 全国私学平均は2018年度。ICUIは、2019年度。ICUの運用益は、過去10年間の時価基準総合収益の平均値  
出所) ICU、私立学校共済事業団

# Havard University Operating Revenue & Expense

➤ ハーバードは、収入の4割が運用収入。学費は2割しかない



Source: Annual Reports

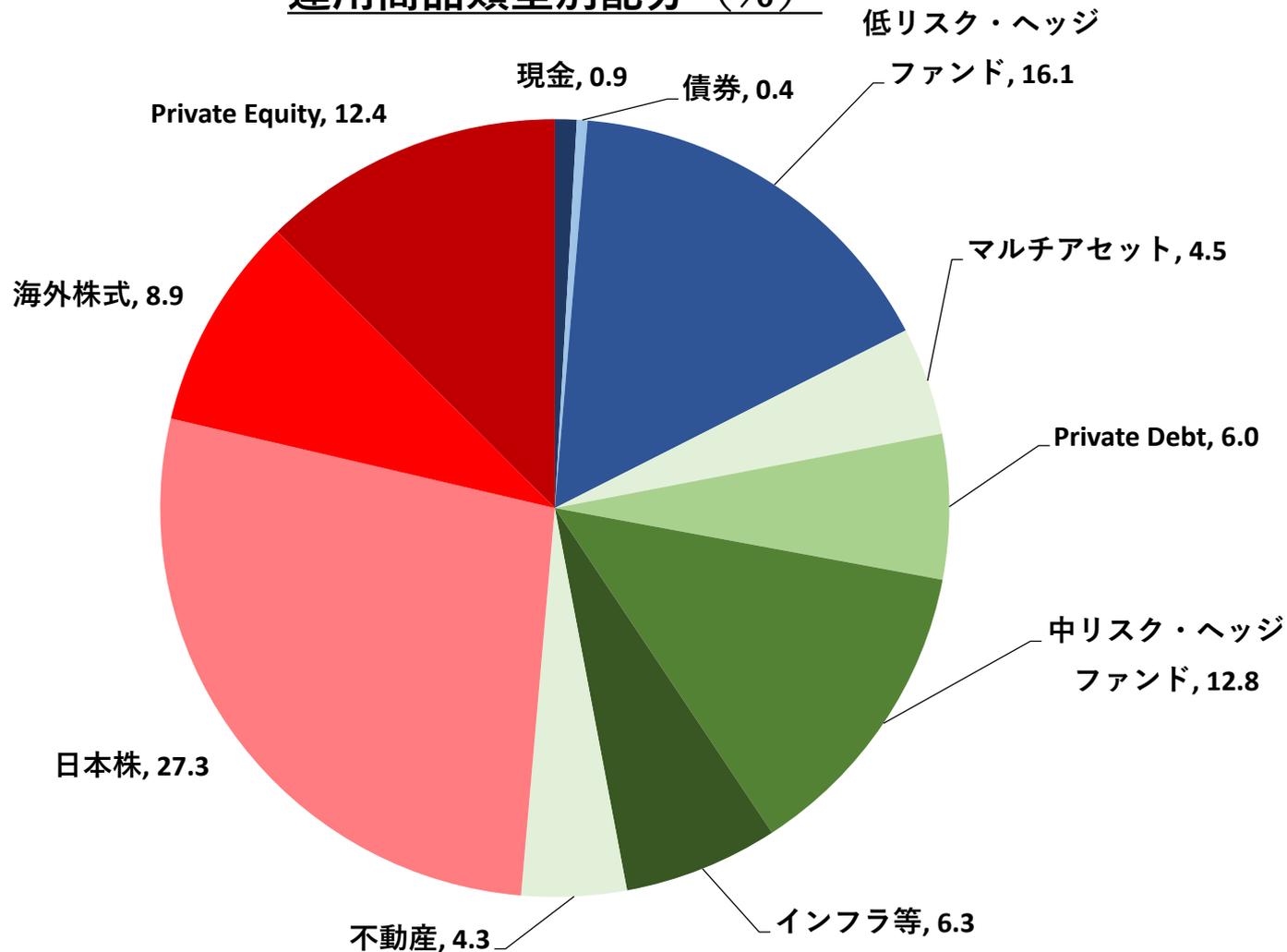
# ICUの基金運用

---

- 目標収益率は、インフレ + 4 %
- 基本ポートフォリオは設定しない
- 最悪シナリオにおける元本回収期間と教育研究予算への繰入スケジュールをマッチさせる
- 時価ベースで管理
- 簿価会計上の収支均衡のための益出し等を行わない
- 外部有識者、コンサルタントを活用
- 理事会の下部組織である基金委員会で意思決定

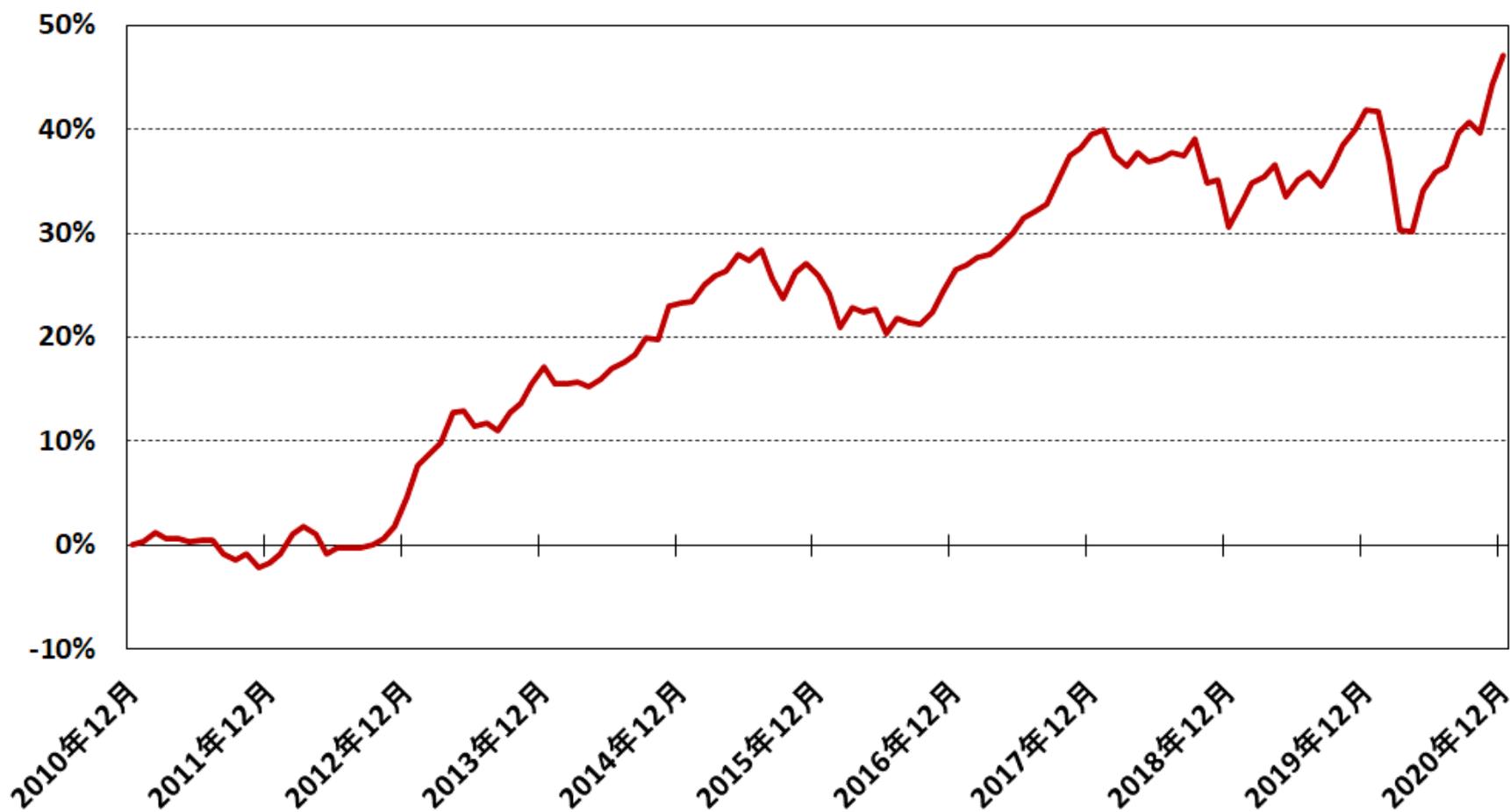
# ICUの基金運用（組み入れ商品）

運用商品類型別配分（％）



# 収益率

2010年末からの累積収益率



# 運用商品選定における基本的な考え方

---

- 信託銀行の口座経由で投資
- シャープ・レシオでは重視しない：長期投資には月次の収益率変動ではなく、より本質的なリスクを見る必要
- 過去3年の収益率をファクター分解し、残差の超過収益率の安定性を重視（ファクターそのものに投資する場合を除く）
- ただし、トラック・レコードが充分に無くても、客観的なバック・テストのデータ等がある場合には、それで代替
- 流動性は、期待収益率とリスクにより考慮する
- バック・テスト等の客観データ以外に、経営者・運用担当者の評判なども参考にする

# 東京理科大学が取り組む 資産運用の高度化とイノベーションの創出 ～大学基金の設立とベンチャーエコシステムの構築

2021年2月

東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社  
代表取締役社長

東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社  
代表取締役マネージングパートナー  
片寄 裕市

# 目次

1. 東京理科大学の概要
2. 資産運用の高度化  
(大学基金、事業会社、ベンチャーキャピタルの設立)
3. イノベーションの創出とベンチャーエコシステムの構築



東京理科大学  
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE



TUSIMCo

東京理科大学インベストメント・  
マネジメント株式会社

TUSIC

東京理科大学イノベーション・  
キャピタル株式会社

# 1. 東京理科大学の概要

## ▶ 東京理科大学

創立: 1881年(旧東京物理学講習所)、国内最大級の私立理工系総合大学



4キャンパス体制 (7学部31学科、大学院11研究科31専攻)

- ▶ 東京 神楽坂: 理学部第一部・二部、経営学部、専門職大学院、大学院  
葛飾: 工学部、理学部第一部(応用物理学科)先進工学部、大学院
- ▶ 千葉 野田: 薬学部、理工学部、大学院、生命医科学研究所、総合研究院
- ▶ 北海道 長万部: 全寮制教育

▶ 専任教員数: 約800名、事務系職員数: 約500名 (\* 技術系職員・専門職員除く)

▶ 学生数: 約20,000名(学部約16,000名、大学院約4,000名)

▶ 卒業生: 約21万人



神楽坂キャンパス



葛飾キャンパス



野田キャンパス



長万部キャンパス

## 2. 資産運用の高度化

大学基金、事業会社、ベンチャーキャピタルの設立

2015年度以降、現体制で運営、収益は奨学金、教育・研究の原資として活用

### 1. 大学基金

目標リターン5%（うちインカム収益2%以上）、許容リスク7%

資産配分：オルタナティブ（プライベート・エクイティ、ヘッジファンド、不動産等）50%

株式・債券：50%



### 2. 大学事業会社：東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社

インキュベーション事業、地方創生事業、

先端技術の社会実装、事業化（データセンター、再生可能エネルギー）

不動産運用（プロジェクトファイナンス、インキュベーション施設、学生寮）

TUSIMCo

東京理科大学インベストメント・  
マネジメント株式会社

TUSIC

東京理科大学イノベーション・  
キャピタル株式会社

### 3. ベンチャーキャピタル：東京理科大学イノベーション・キャピタル株式会社

設立当初より、大学発、卒業生にかかわらず、社会イノベーションの実現を目指す技術、サービスの開発に出資

### 3.イノベーションの創出とベンチャーエコシステムの構築

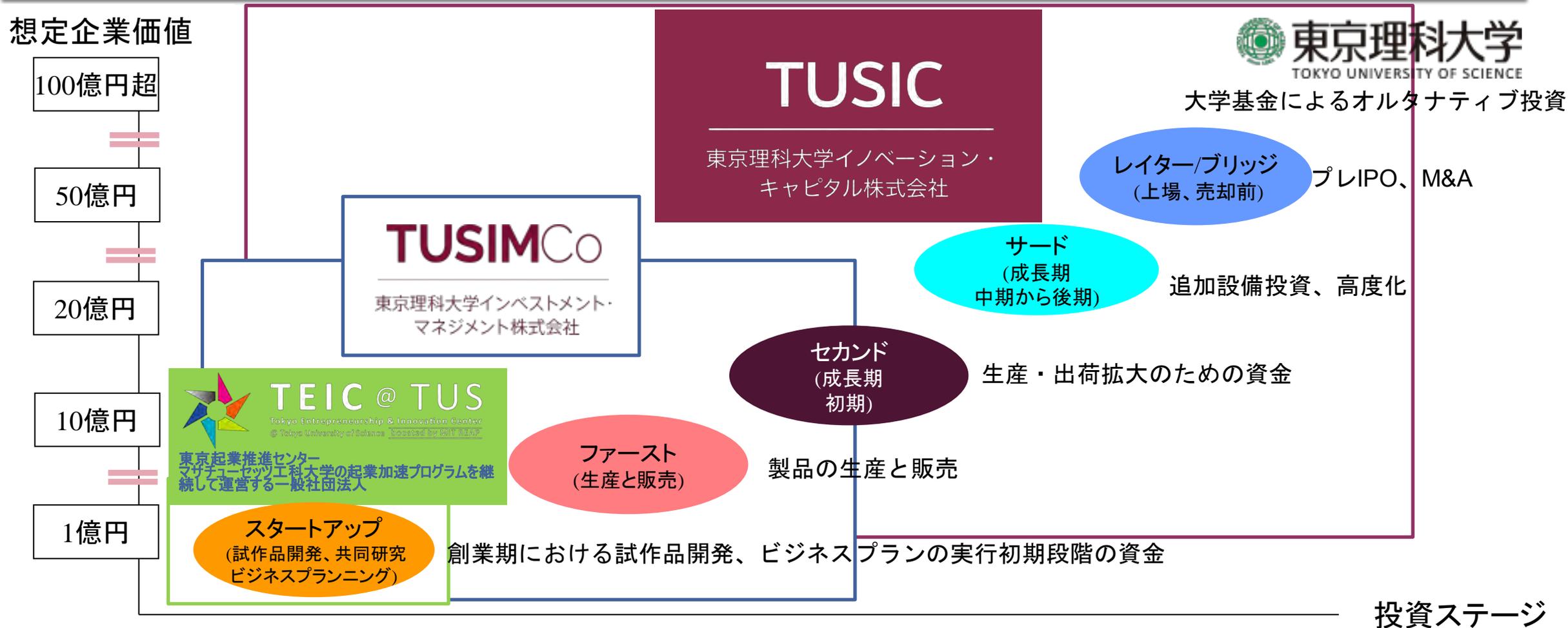
インキュベーション施設、産学連携オープンラボの開設

#### 1. 神楽坂・飯田橋・市ヶ谷・九段下イノベーション・スクエア構想

- 大学事業会社がインキュベーション事業を主導
- 施設名：   
東京理科大学インベストメント・  
マネジメント株式会社
- 利用制限なし（学内外、社会人、連携協定を締結したVC、企業等が入居可能）
- 世界有数の大学、学生集積地域である飯田橋駅周辺をベンチャー企業と投資家が集積する拠点として整備
- 2021年、市ヶ谷と飯田橋にビル2棟が竣工（シェアオフィスから大規模オフィスまで対応）、コロナ禍に対応しオンラインのバーチャルオフィスシステムを稼働

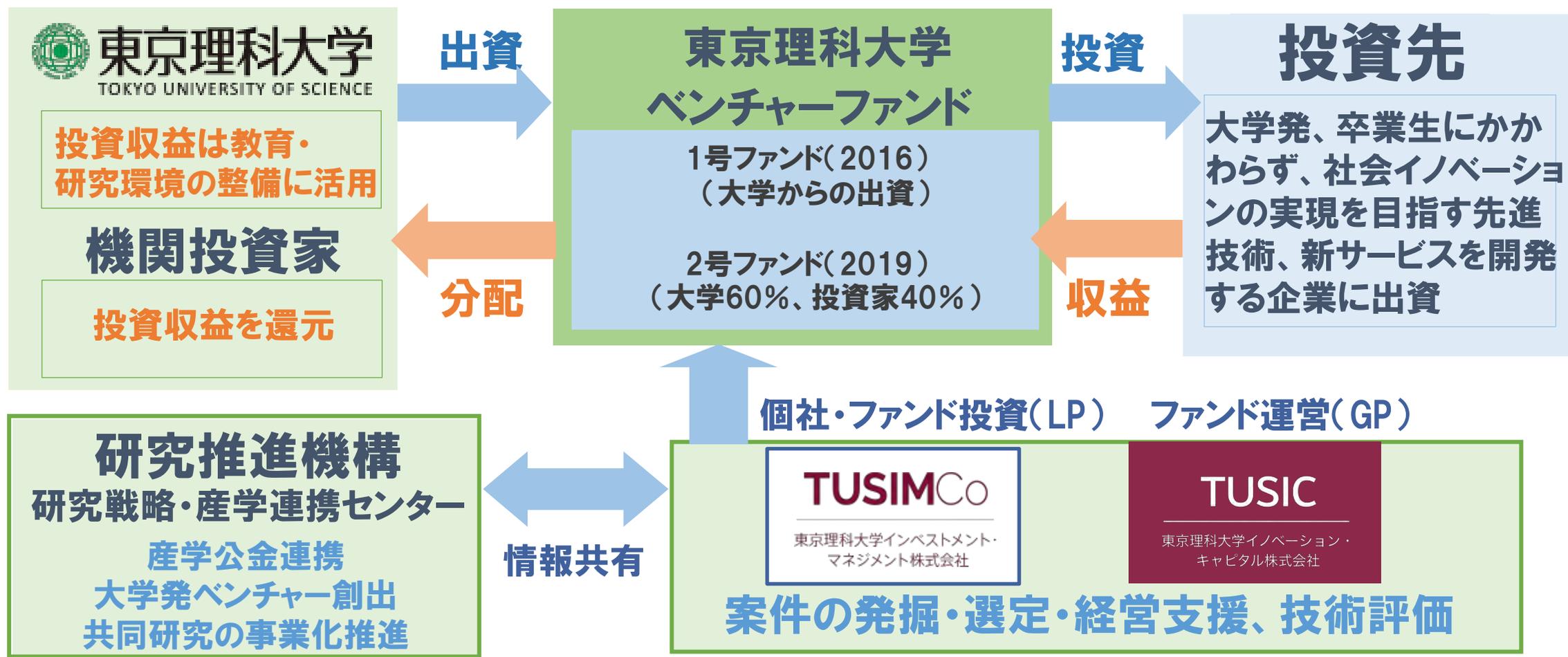
# 3.イノベーションの創出とベンチャーエコシステムの構築

起業家教育（エデュケーション）、インキュベーション、インベストメントの機能の構築



# 3.イノベーションの創出とベンチャーエコシステムの構築

先進技術・新サービスの創出を実現するための体制



# 3.イノベーションの創出とベンチャーエコシステムの構築

## ベンチャー支援・大学ベンチャーファンドの投資実績

各所からの案件発掘

年間  
約300件

面談～投資検討

年間  
約200件

事業化支援  
・出資検討等

年間  
約100件

投資  
実行

累計  
約26件

BIZREACH

Gojo & Company, Inc.

susten  
capital management

cocon

大学発、卒業生にかかわらず、  
社会イノベーションの実現を  
目指す先進技術、新サービスを  
開発する企業に出資

東京理科大学  
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

TUS  
ALUMNI  
Tokyo University of Science  
Alumni Association

東京理科大学  
大学院 経営学研究所  
技術経営専攻 (MOT)

MIT Sloan  
MANAGEMENT

CDS  
Center for Data Science

研究戦略・産学連携センター  
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

地方創生 SDGs  
官民連携  
プラットフォーム

■投資担当者、学校法人東京理科大学の教職員・学生・卒業生  
産学連携センター、データサイエンスセンター、総合研究院、  
研究推進機構、産学連携インキュベーションオフィス等、  
地方創生 SDGs官民連携プラットフォーム分科会、金融機関、  
LP・VC・PE等のネットワークを活用した案件ソーシング実績

■投資検討プロセスにおいて、東京理科大学と起業加速プログラムで  
連携実績のあるマサチューセッツ工科大学スローンスクールの  
スタートアップの発掘・支援発掘ノウハウを活用し、投資担当者  
における投資検討およびデューデリジェンスを実施。

■大学内外のネットワークから案件発掘から事業化支援・出資検討を  
行う案件は年間100件以上、常時10～15案件程度の投資検討を  
並行して実施

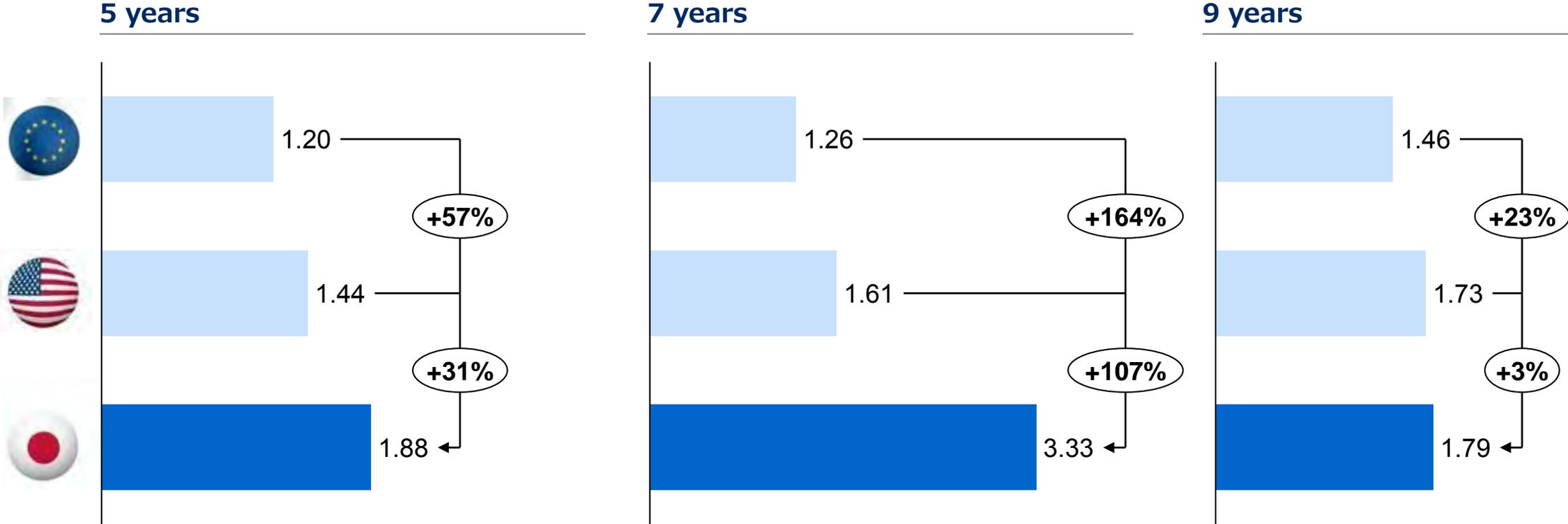
学内外 各種連携機関の一例



産学連携インキュベーションオフィス  
「THE CROSSPOINT」

# Fund TVPI Comparison (Median TVPI) 5-9 years

## Median TVPI by vintage



Note:  
 US data as of 30<sup>th</sup> June 2018: 5, 7, and 9 years corresponds to 2013-2018, 2011-2018, and 2009-2018 respectively.  
 EU data as of 30<sup>th</sup> June 2017: 5, 7, and 9 years corresponds to 2012-2017, 2010-2017, and 2008-2017 respectively.  
 Japan data as of 31<sup>st</sup> December 2019: 5, 7, and 9 years corresponds to 2014-2019, 2012-2019, and 2010-2019 respectively.  
 \*Since US and EU data only accounts until June of that year (2018 or 2017 respectively) the numbers may underestimate the funds' full year (until December) performance.  
 \*EU data was unavailable for 2010 and 2008, however their ±1 year data was available hence the numbers were interpolated accordingly.

Sources: [Japanese VC Performance Benchmark](#) (JVCA), [European Investment Fund](#) (EIF), and [US Venture Capital Index and Selected Benchmark Characteristics](#) (Cambridge Associates)

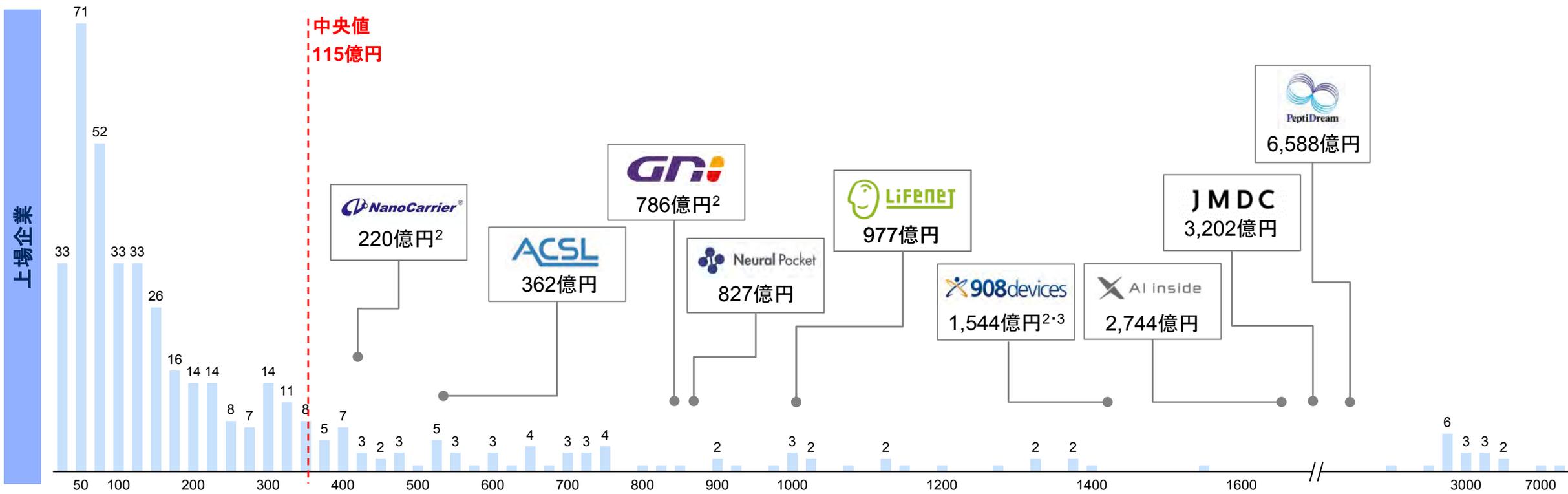
# UTECH投資先Science/Technologyベンチャーの存在感

上場ベンチャーの時価総額はベキ分布。株式市場において、UTECH投資のテクノロジーベンチャーは大きな存在感

## 上場ベンチャー企業<sup>1</sup>とUTECHポートフォリオの時価総額

2020年12月31日時点

社数; 国内上場企業: 2000年以降創業で2008年1月以降上場の431社(HD・子会社上場等除く)25億円刻み



1 HD会社、非ベンチャー企業子会社、統合会社等は除く。開示情報ベースでSPEEDA調べ  
 2 ナノキャリアは1996年設立、ジーエヌアイは2007年上場、908DevicesはNasdaq上場のため、リストの数には含まれていない  
 3 908 Devicesは米ドルベースの時価総額を、基準日レート(TTM)で日本円に換算

## 資産運用者プレゼンテーション②

### ■ Emerging Managers

- 1 Actelligent Capital Management Limited
- 2 AIP Asset Management Inc.
- 3 Mayar Capital
- 4 Northleaf Capital Partners
- 5 Octopus Investments
- 6 オービス・インベストメンツ株式会社
- 7 テイクオー・インベストメント・マネージメント・ジャパン株式会社
- 8 Vertex Holdings



***ACTELLiGENT***



February 2021

This presentation and the information contained herein (including the summary of terms) are strictly private and confidential and are being provided to prospective investors for information purposes only regarding Actelligent Capital Management Limited ("Actelligent"). The presentation has been produced by Actelligent solely for the specified recipient and its internal use. It is not directed to, or intended for distribution to or use by, any person or entity who is a citizen or resident of or located in any locality, state, country or other jurisdiction where such distribution, publication, availability or use would be contrary to law or regulation or which would subject Actelligent and its affiliates to any registration or licensing requirement within such jurisdictions.

By acceptance of the presentation, the prospective investors agree to keep confidential and not to disclose the contents of the presentation to anyone except (i) to the legal, tax and financial advisors of the prospective investors who agree to maintain the information in confidence, (ii) to any governmental or regulatory authority or otherwise required to be disclosed by any law or order of any laws of any competent jurisdiction to which the prospective investor is subject; or (iii) as otherwise permitted under the terms and conditions of the approved offering memorandum ("Memorandum") of the Actelligent Offshore Fund Ltd ("Fund"). None of the material, nor its contents, nor any copy of it, may be altered in any way, transmitted to, copied or distributed to any other party, without the prior express written permission of Actelligent. All trademarks, service marks and logos used in this presentation are trademarks or service marks or registered trademarks or service marks of Actelligent.

This presentation does not constitute an offer to sell or the solicitation of an offer to purchase any interests in the Fund. Statements contained in the presentation are based on current expectations, estimates, projections, opinions and beliefs of Actelligent. Such statements involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, and undue reliance should not be placed thereon. In addition, the presentation contains expectations, opinions, estimates, targets or other forward-looking statements which are speculative in nature, involves a number of assumptions which may not prove to be valid and may be changed without notice. Certain information contained in the presentation constitutes "forward-looking statements," which can be identified by the use of forward-looking terminology such as "may," "will," "seek," "should," "except," "anticipate," "project," "estimate," "intend," "continue," "target," "plan" or "believe" or the negatives thereof or other variations thereon or comparable terminology. Certain information included in this presentation is based on information obtained from sources considered to be reliable, however, Actelligent does not guarantee the accuracy of such information and such information may be incomplete or condensed.

Nothing in the presentation constitutes investment, legal, accounting or tax advice nor a representation that any investment or strategy is suitable or appropriate to the prospective investor. The information set out in the presentation does not constitute investment advice to any person and the recipient shall not be treated as a client of Actelligent by virtue of receiving the presentation. Neither Actelligent nor any other person accept any responsibility or liability whatsoever for any loss howsoever arising from any use of this presentation or its contents or otherwise arising in connection therewith.

The terms and other information included in this presentation are incomplete, condensed, may not materialize and may be changed without notice. The complete terms of investment for the Fund are set forth in the Memorandum. In the event of any conflict or inconsistency between the information in this presentation and the Memorandum, the Memorandum shall be controlling. Any offer or solicitation to invest into the Fund may only be made by means of delivery of the Memorandum. The Memorandum must be received and reviewed prior to any investment decision. Any person subscribing for an interest in the Fund must be able to bear the risks involved and must meet the suitability requirements relating to such investments. Alternative investment programs may not be suitable for certain investors.

Statements in the presentation are made as of 31 December 2017, unless otherwise stated herein. The delivery of the presentation shall not at any time under any circumstances create an implication that the information contained herein is correct as of any time subsequent to such date. Actelligent does not have any obligation to update or revise any statement in the presentation or correct inaccuracies whether as a result of new information, future events or otherwise.

In considering the target performance information contained herein, prospective investors should bear in mind that such targeted performance is not necessarily indicative of future results. While the targeted results are based on assumptions regarding estimates of underlying cash flows, business plans, timing, financing terms and residual values for the investments which Actelligent believes are reasonable, the Fund's return targets are aspirational and are neither guarantees nor predictions of future performance. There can be no assurance that targeted returns will be met, that the Fund will achieve comparable results or be able to implement its investment strategy and investment approach. Actual gross and net returns for the Fund, and prospective investors' participating directly or indirectly in the Fund, may vary significantly from the targeted returns set forth herein and will depend on a number of assumptions and factors beyond the control of Actelligent. Past performance in this presentation is neither an indication of future results nor a guarantee of future returns that may be achieved by the Fund. Past investment environment may not be repeated and may change.

*Alternative investments are speculative and involve a great degree of risk of loss and are not suitable for all investors.* The Fund is not registered or regulated under U.S. or other laws. An investment in the Fund should be considered illiquid. The Fund may be leveraged, and the Fund's returns may be volatile. The fees and expenses of the Fund may be higher than those of other investment opportunities. The Fund does not represent a complete investment program.

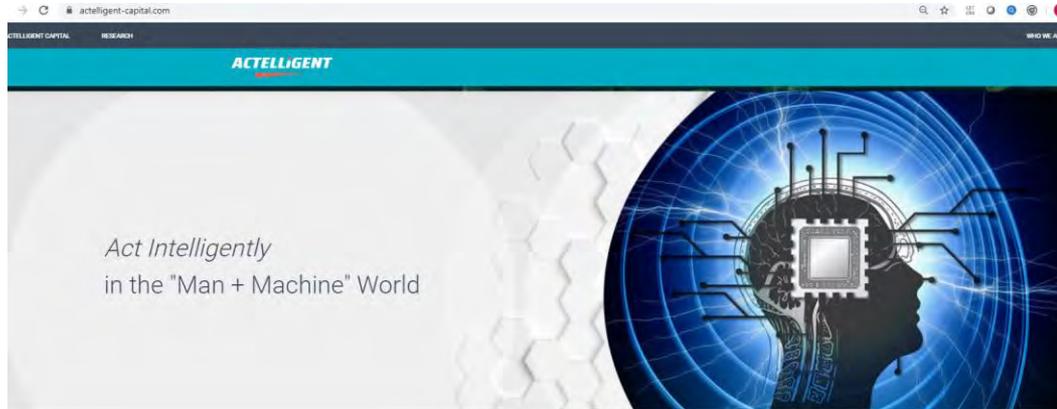
Hong Kong: this presentation is not an offering document for any securities and is intended for information purposes only. Any such offer or invitation may only be made by means of delivery of the Memorandum. The contents of this presentation have not been reviewed or approved by any regulatory authority in Hong Kong. This presentation does not constitute an offer or invitation to the public in Hong Kong to acquire securities. Accordingly, no person may issue, or have in its possession for the purpose of issue, this presentation or any advertisement, invitation or document relating to securities, which is directed at, or the contents of which are likely to be accessed or read by, the public in Hong Kong, except (i) to "professional investors" (as such term is defined in the Securities and Futures Ordinance (Cap. 571 of the laws of Hong Kong) (the "SFO") and the subsidiary legislation made thereunder) and in circumstances which do not result in this presentation being a "prospectus" as defined in the Companies (Winding Up and Miscellaneous Provisions) Ordinance (Cap. 32 of the laws of Hong Kong) (the "CO") by virtue of only being provided to "professional investors", or (ii) in circumstances which do not constitute an offer or an invitation to the public for the purposes of the SFO or the CO. This presentation is issued solely for the specified recipient and its internal use. No person to whom a copy of this presentation is issued may copy, issue or distribute this presentation to any other person. You are advised to exercise caution in relation to this presentation. If you are in any doubt about any of the contents of this presentation, you should obtain independent professional advice.

United States: the Fund is not registered as an investment company in reliance on an exemption in Section 3(c)(7) of the Investment Company Act of 1940, as amended, and the shares in the Fund are not registered under the Securities Act of 1933, as amended, or the securities laws of any state. The Fund is not subject to the same regulatory requirements as a mutual fund and is not required to provide periodic pricing or valuation information to investors. Each U.S. subscriber must certify that the subscriber is a "qualified purchaser" as defined in Section 2(a)(51) of the Investment Company Act of 1940.

In case of discrepancies between the English version and Chinese version, the English version shall prevail.

Copyright 2021. All rights reserved.

# What is Actelligent?



## Where Data Science Meets Investing

In a global and more interlinked world with supply chains across continents, the importance of finding value-added and insightful information is undoubtedly growing.

*Can there be meaningful conclusions drawn from looking at Asian EV battery makers when you are looking to invest in European semis?*

*How useful would it be to apply chains and links of industries into each other to think of exposures on the whole, and to get info on competition?*

Actelligent gathers data from various sources and works with professors from the University of Edinburgh, from data cleaning and processing, to implementing neural network models to uncover important trends.

- Founded in early 2018 by Charmaine, Actelligent was set up **initially as a fintech platform**. Its aim was to help fund managers from all around the world become **more efficient in investing** through the help of **technology**
- Actelligent has since secured collaboration with **the University of Edinburgh** and received support from **the University of Chicago** on the development of **various AI models**
- Actelligent has also formed an **in-house team based in Edinburgh** and has secured funding from the **Scottish Government**
- **In June 2019**, Actelligent attained its regulatory licences in Hong Kong for **Advisory and Asset Management**

# Actelligent Fundamental-AI Long / Short Fund

## Strategy

- **Fundamental long / short investing** with an investment horizon of **12-24 months**
- AI models for different stages along the investment process
- **Asian Cyclical-driven Thematics**, capturing **interdependence** across sectors / regions globally
- Exploit positioning fallouts and **avoid style skews** via intra-sector pair trades where possible

**ACTELLIGENT**

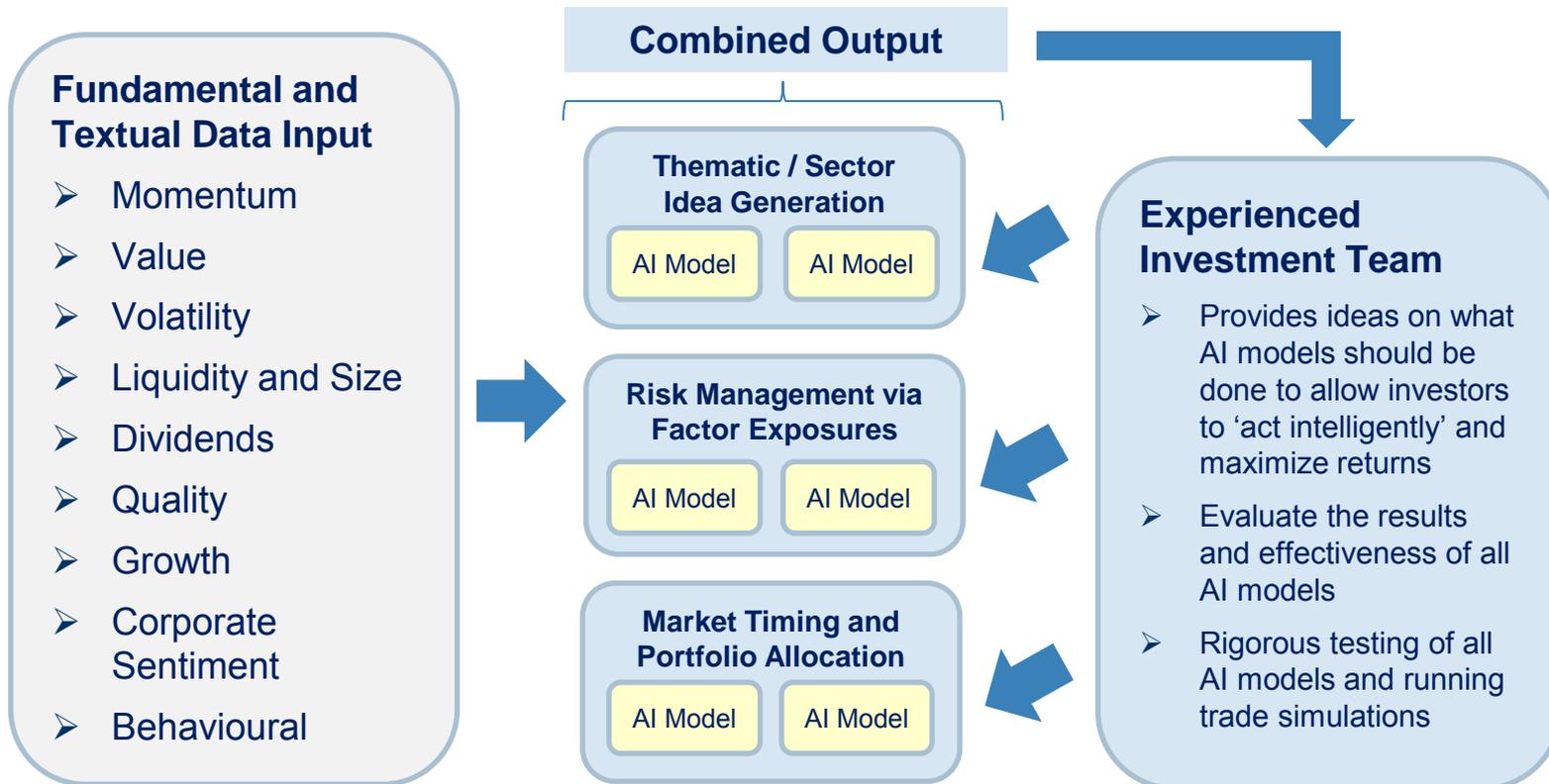
## Target Returns

- **15% absolute returns**, derived from both longs and shorts
- **Sharpe ratio of 2x**, allowing for **leverage**

## Portfolio Characteristics

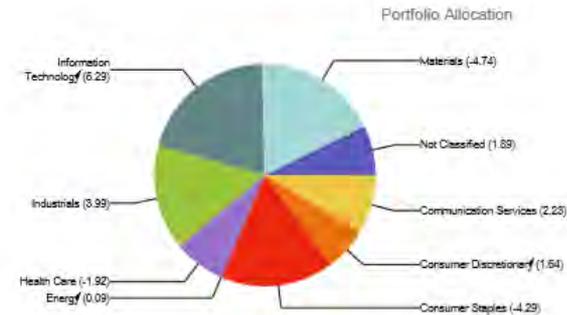
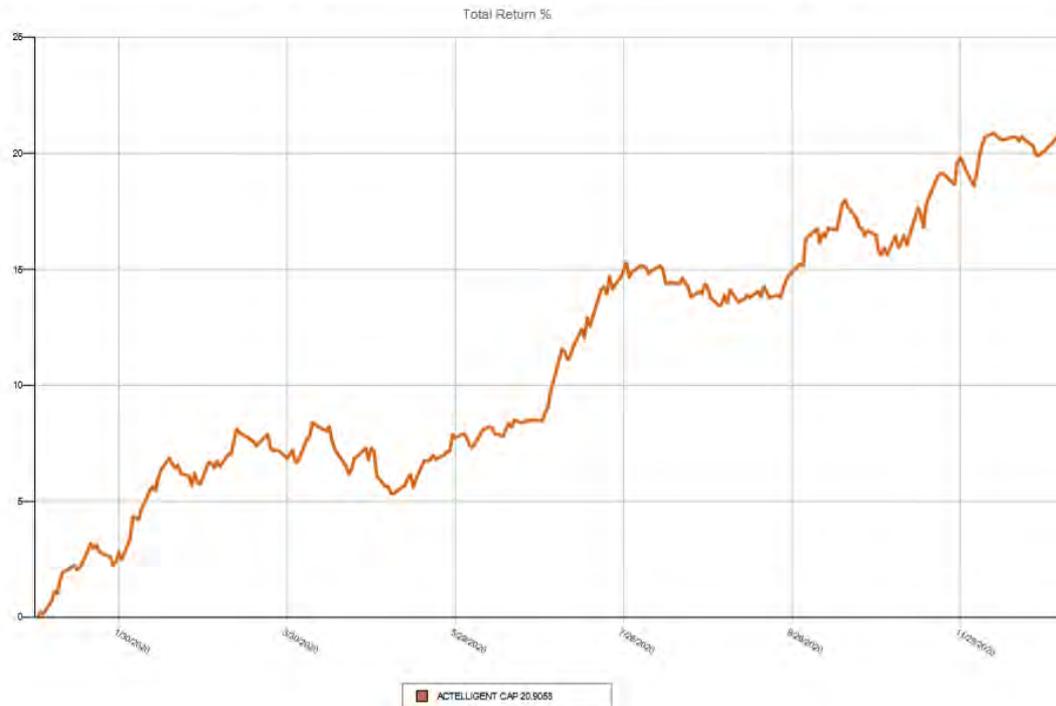
- **Relatively concentrated** book of 40-60 stocks, derived from both longs and shorts
- Market and style neutral – **uncorrelated absolute returns**
- >90% in **Equities**, <10% in Indices / ETFs
- **Conviction-driven** portfolio construction – avoid hard limits and constraining stop-losses
- **Alpha potential** in both long and short – no lazy hedging

# Actelligent's Differentiated Strategy



# Investment Returns

Portfolio: ACTELLIGENT CAP      Benchmark: Default (None)      Start Date: 1/1/2020      End Date: 12/31/2020      Currency: US



# Investment Highlights



Woman-Led Team with a Modern Approach Supported by Young yet Experienced In-House AI Team



Fundamental Long / Short, with AI Tools in Idea Generation, Market Timing and Risk Management



Asian-Driven Thematics Strategy Enhanced by Cooperation with renowned universities



Uncorrelated Low Volatility Absolute Returns Across Different Sectors

# ***Actelligent – Act Intelligently***

For general enquiries please contact:  
info@actelligent-capital.com

[www.actelligent-capital.com](http://www.actelligent-capital.com)

CEO / CIO氏名 Jay Bala

Eメール [jay@aipassetmanagement.com](mailto:jay@aipassetmanagement.com)

登録免許種類

純資産額 92.7 (単位: 百万円)

住所 200 Bay Street, Suite 3240 Toronto, Ontario, Canada M5J 2J2

電話番号 416-601-0808 内線226

登録日

預かり資産(または投資顧問業務対象資産) 8,150 (単位: 百万円)

従業員数/ファンドマネージャー数 10人 / 3人

営業収益 207.8 (単位: 百万円)

#### 運用対象資産・投資哲学等

##### Asset Class, Investment Philosophy, etc.

2013年設立のAIPアセット・マネジメントは、プライベート・デット投資に対する革新的なアプローチで高い評価を博しており、プリンシパル投資を確保しつつ、中小企業の市場シェア拡大も逃さないよう努めています。

2020年のカナダ・ヘッジファンド・アワードでは、グローバル・マクロ/マネージド・フューチャーズ/マルチ戦略部門で1位を3件、2位を2件獲得しました。

2020年には、マルチ戦略クレジット、マクロ、イベント・ドリブン部門でHFM USパフォーマンス・アワードにもノミネートされました。

2017年には、カナダ国際連合協会トロント支部のサステナブル・デベロップメント・ゴール(SDGs)・レコグニション・アワードを受賞しました。

#### 投資に関する意思決定プロセス

##### Decision Making Process to Invest

- ・現在のマクロ・テーマに基づくセクターおよび短期資金の調達を要する企業を見極めます。
- ・制限を設けずにローン条件を交渉して、資産や借り手の銀行口座への抵当権による担保をローンに設定します。求められるローンは株式に転換可能なもので、新株予約権も必要とされます。
- ・ポジション解消まで、融資先企業をモニターします。必要に応じて経営陣との協議、現地視察、現地調査も行うなど、積極的にモニタリングを実施します。
- ・環境および借り手の市場パフォーマンス次第で、ローンを株式に転換し売却するか、またはローンのまま継続保有して金利を徴収します。

#### 運用責任者等の業務経験

##### Professional Experience of CIO and Others

ダイレクト・レンディング、プライベート・エクイティ、キャピタル・マーケット関連の業務経験を合計すると100年を超える、約10人の投資のプロがチームを結成しました。



Jay Bala (CFA取得)  
CIO兼共同創業者兼  
シニア・ポートフォリオ  
オマネージャー



Alex Kanayev,  
(MBA, CPA,  
ICDD, CIM取得)  
共同創業者兼会長



Karl Lohwater (法  
学博士号、修士号取  
得)  
CCO



Karim Mecklai  
CFO兼副社長

同チームがリンクローンや株式市場において奥の深い経験を有することから、過去7年間高いパフォーマンスを実現しています。

- ・ 過去1年間のリターン: 13.8%
- ・ 過去3年間の平均リターン: 19.8%
- ・ 設定来(過去7年間)のリターン: 年36.4%



#### その他運用に関する特記事項 Other Investment Strengths

- ・債券や株式市場との相関性は低く、AIPコンバーティブル・プライベート・デット・ファンドと日経225の相関係数は0.11、Nomuraボンド・パフォーマンス・インデックス(BPI)との相関係数は0.19です。
- ・プライベート・デット投資の重点分野: 上場企業に対するシニア担保付コンバーティブル・ローン - ポートフォリオ組入資産の約75%はシニア担保付ローンです。
- ・ブルーム・バンク集計のランキング: 過去7年間のトータル・リターンに基づくと、AIPファンドは北米の1,715余りのヘッジファンドのうちで第4位、世界全体の2,202のヘッジファンドのうちで第5位となっています。
- ・仮にAIPファンドへの配分比率を5%とした場合でも、ポートフォリオのボラティリティとリスクを引き下げつつ、貴社の顧客である投資家に高いアルファを提供することが可能な計算です。
- ・AIPは、受託する預かり資産が65億ドルを超えるという、強力なカナダのパートナーに支えられている上、本ファンドのカナダ国内独占販売権を有しています。

## AIPファンド 日本の投資家にとってのメリット : Allocation to a Traditional Portfolio, 60% Nikkei 225 Index, 40% Nomura Bond Performance Index

### 7 Year Return Analysis for the Period Ending January 29, 2021

配分比率	5% AIP	10% AIP	15% AIP	Traditional Portfolio
トータルリターン	98.40	128.19	157.86	68.50
標準偏差 (Annualized)	11.69	11.64	12.07	12.55
下振れリスク (Annualized)	8.28	7.89	7.71	9.02
VaR (Ex-Post)	-1.11	-1.08	-1.05	-1.26
シャープレシオ	0.95	1.14	1.27	0.69
最大ドローダウン	-19.15	-17.47	-16.29	-21.71
ベータ	0.90	0.83	0.77	1.00
ソルティノレシオ	0.95	1.19	1.41	0.68

**Portfolio Inception Date:** January 2, 2014 | **Analysis Period:** January 2014 to January 2021

**Traditional Portfolio Composition:** 60% Nikkei 225 Index, 40% Nomura Bond Performance Index

**Portfolio Weighting:** Drifting Weight - therefore actual weightings of portfolio holdings during analysis period will differ.

**Portfolio Currency:** JPY

Traditional portfolio is defined as 60% Equity and 40% Bonds. The Nikkei 225 was used for equity allocations and the Nomura Bond Performance Index was used for the bond allocation. It was assumed that all private debt allocations have been made to AIP's hedge fund. Allocations to AIP's hedge fund were made by decreasing equity and bond allocations pro rata. Calculations use 7 years of data for the period ending January 29, 2021.

---

# Disclaimer

The information contained herein is confidential information regarding AIP Asset Management Inc. and its affiliates (“AIP”). By accepting this information, the recipient agrees and undertakes that it will, and it will cause its directors, partners, officers, employees, attorney(s), agents and representatives to, not reproduce or distribute this presentation in whole or in part, and not disclose any of its contents, without the prior written consent of AIP.

The information contained herein is not, and under no circumstances is to be construed as, an invitation to make an investment in funds advised by AIP. The information contained herein is provided for informational purposes only and is not intended to be, nor should it be considered as, a complete description of either the securities or the issuers of the securities described herein. AIP advised funds are only offered pursuant to confidential private placement and offering memoranda and the information contained herein is qualified in its entirety by reference to such memoranda. Subscriptions for AIP funds will only be considered on the terms set out in the private placement and offering memoranda. The private placement and offering Memoranda contain important detailed information about AIP funds.

The information contained herein is presented solely for illustrative purposes and should not be construed as a forecast or projection. The statements contained in this presentation that are not historical facts are forward-looking statements, which are based on current expectations, estimates, and projections about the industry and particular markets. These statements are not guarantees of future performance and involve certain risks, uncertainties, and assumptions which are difficult to predict. Therefore, actual outcomes and returns may differ materially from what is expressed or forecasted in such forward-looking statements. The information contained in this communication is subject to change without notice and neither AIP nor any AIP fund undertake to update this information at any particular time.

---

# Contact Information

## AIP Asset Management Inc.

[www.aipconvertibleprivatedebtfund.com](http://www.aipconvertibleprivatedebtfund.com)

**Jay Bala, CFA**

**CIO兼共同創業者兼シニア・ポートフォリオマネージャー**

**[jay@aipassetmanagement.com](mailto:jay@aipassetmanagement.com)**

Royal Bank Plaza, South Tower

200 Bay St. Suite 3240

Toronto, Ontario M5J 2J1

**Tel: 416 601 0808 内線 226**

**Fax: 888 900 4123**



Signatory of:



*Produced for*

# Tokyo Asset Management Forum

*By*

## Mayar Capital



*We will invest in companies that adhere to our ethical principles, we want to be shareholders of companies that provide a needed service or product to their customers, cherish their employees, and help make this world a better place.*

*We believe companies that follow this path will become model citizens of this world and, on the way, create substantial value for their shareholders — us.*

**Mayar Founder, Abdulaziz Alnaim - 2003**

# Our Success Rests on Three Pillars



**Partnership Principles**



**Strategy**



**Philosophy & Process**

# Our Partnership Principles



## **Straight Talk**

We will communicate with you regularly and in a straightforward manner. We will not sugarcoat or exaggerate the truth. We will never promise what we cannot deliver



## **In It Together**

We will continue to keep a substantial percentage of our net worth invested along your side, as have many of our family members and friends. Rest assured that our interests are aligned with yours



## **Only Long Term**

We will strive to manage your capital to maximize long-term results and will gladly accept “bumpier” short-term results to achieve them



## **Risk Averse**

We will look at risk before return and will ignore high-risk opportunities regardless of potential payoffs

# Investment Strategy

## We look for:

### Great Businesses

- ❖ Quality
- ❖ Customer Economics
- ❖ High ROIC
- ❖ Cash Conversion
- ❖ Redeployment

### Great Companies

- ❖ Management
- ❖ Capital Structure
- ❖ Capital Allocation

### Great Value



# Investment Philosophy

## Sources of Alpha



### **Ethical-owner approach**

We believe that an ethical-owner approach is essential for generating long-term returns. Our assessment of the sustainability of a business, the intrinsic value and the margin of safety required to invest is indivisible. By thinking like business owners, we only invest in companies consistent with both our ethical and investing values



### **Applied Behavioral Science**

We believe that successful investors should understand their biases and limitations. Insights of behavioral science highlight the importance of actively correcting for biases. Checklists can improve decision-making under uncertainty in different industries. Our proprietary checklist is at the heart of our process



### **Probabilistic Approach**

By taking a probabilistic approach, we can explore all possible outcomes, fully incorporate tail risk in our forecasts and avoid anchoring. By considering ranges in forecasts, valuations and risk management, we believe that we can tilt the odds of success in our favor, systematically and consistently

# Investment Process

## Integrated ESG Approach

Signatory of:



<sup>1</sup>The strategy will also avoid the securities of any companies where any of the following activities constitutes more than 5% of their revenues - recreational drugs; pornography; pork products and interest income other than customer financing.



### Ethical Screening

Industries which, by definition, do not meet the ESG principles of Mayar Capital are automatically excluded from our investment universe. These include extractive industries, weapons manufacturing, gambling, alcohol, tobacco and any other activities determined to be unethical by the Manager<sup>1</sup>



### Integrated Quantitative & Qualitative Assessment

In permitted sectors, the boundary between what constitutes an ethical investment is not always clear cut. Our quantitative and qualitative analysis attempts to make this distinction. The checklist at the heart of our process is designed to scrutinize all aspects of the investment and ethical case for owning a business.



### Continuous Monitoring

Mayar's ethical-owner approach is the framework through which we act as stewards of our clients' investments. Application of the Principles for Responsible Investment obligates us to be an active owner, acting appropriately if ESG characteristics begin to deteriorate.

## Performance: **Calendar year gross of fees**

Year	Mayar Fund	MSCI World	Relative
2011	2.7%	-10.4%	12.3%
2012	16.1%	15.8%	0.3%
2013	30.6%	26.6%	4.0%
2014	7.9%	4.9%	3.0%
2015	3.4%	-0.9%	4.3%
2016	10.0%	7.5%	2.5%
2017	21.0%	22.4%	-1.4%
2018	1.5%	-8.7%	10.2%
2019	27.3%	27.8%	-0.4%
2020 <sup>1</sup>	28.2%	15.9%	12.5%
<b>Since Inception<sup>2</sup></b>	<b>283.1%</b>	<b>143.2%</b>	<b>139.9%</b>

<sup>1</sup>Source: Apex, Mayar Capital as at 31<sup>st</sup> December 2020

<sup>2</sup>Inception: 15th May 2011

# Appendix

# Investment Team: **Biographies**

## **Abdulaziz A. Alnaim, CFA**

**Managing Partner, MCA, MCM**

Abdulaziz is founder and Managing Partner at Mayar Capital. For the seven years prior to founding Mayar, Abdulaziz served as Chairman, CEO and Fund Manager at Yareem Ltd., an investment company which he managed using a disciplined quality/value investing approach. He was also Chairman of Yareem Arabia, a multi-unit restaurant company based in Al-Khobar, Saudi Arabia, for the years 2005 to 2011. Abdulaziz serves as a member of several advisory boards and boards of directors including Basic Chemical Industries (BCI AB), GIB Capital, ATCO Group, the Saudi Association for Investment Professionals “Mostathmer”, the Annual Charity Run, and Dhahran Ahliya Schools. He is also a member of the Milken Institute’s Young Leaders Circle. Abdulaziz previously served as a member of the Executive Committee of the Young Businessmen Council at Asharqia Chamber of Commerce during the 2010-2013 term and was a founding board member of Oqal angel investors network’s Eastern Province chapter. Abdulaziz is a CFA charter-holder and is a member of CFA Society of the UK and CFA Society Saudi Arabia. He holds a BS in Management Science with a concentration in Finance and a minor in Economics from the Massachusetts Institute of Technology.

## **Aubrey Brocklebank**

**Senior Analyst, Assistant Portfolio Manager**

Aubrey Brocklebank joined Mayar in 2015 from Odey Asset Management, where he had worked for two years as an Analyst with coverage of Software and Chemicals on a global basis. Prior to that he served as a research analyst at Verdes Management and as an investment manager at James Brearly & Sons. Aubrey began his investing career at Rathbones in 2007 and has a first in Law and a masters in Competition Law from UCL.

# Mayar Capital Advisors Team

## Investor Relations

**Marc Cox**  
Head of Investor Relations

## Investment Team

**Abdulaziz A. Alnaim, CFA**  
Managing Partner

**Aubrey Brocklebank**  
Senior Analyst

## Operations Team

**Stefan Dawidowski**  
Chief Operating Officer

**Kamea Mayes**  
Associate

**Sophie Forsyth**  
Assistant

# Bios

## Mayar Capital Advisors Ltd

### **Marc Cox** Head of Investor Relations

Marc Cox joined Mayar Capital in 2018. Marc has over ten years' experience as an investment sales professional, previously serving as a Product Specialist for the Global Equity platform at Insight Investment. He also spent six years as a Product Specialist in the Emerging Market equities team at BlackRock. Marc began his career in Financial Services at BNY Mellon in 2001 and has a BSc in International Relations from the London School of Economics.

### **Stefan Dawidowski** Chief Operating Officer

Stefan joined Mayar Capital in 2020 and leads the Operations, Finance, HR, Legal, and Compliance functions. He worked in Investment Banks and the Alternative Asset Management Industry for the past 20 years. Stefan joined Mayar Capital from ALMA Capital Management Luxembourg where served as a CSSF regulated Conducting Officer. Prior to this, for 9 years Stefan was Head of Operations and Trade Flow Technology for Eikoh Research Investment Management, an FCA regulated Japanese equity hedge fund. He has also worked for Altima Partners LLP, Deutsche Bank in London and Singapore, and for BNP Paribas in London.

### **Sophie Forsyth** Assistant

Sophie worked in the market research sector for 12 years before joining Mayar. During that time she managed qualitative projects and accounts for global corporate clients across a range of industry sectors including financial, FMCG, automotive and pharmaceutical. Alongside this, Sophie supported her Managing Director in an administrative and strategic capacity. Prior to this, Sophie worked in the media industry for 8 years in both research and support roles.

### **Kamea Mayes** Operations

Kamea is an Investment Operations Professional with 10 years experience, working within buy and sell side middle office operations. Prior to joining Mayar Capital, Kamea worked for Wadhvani Asset Management, supporting their managed futures, forward and FX businesses. Kamea also worked for Ashmore Investment Management's Fund Administration team, focusing on their Emerging Markets operations. Kamea holds an Associate Degree in Economics, from University of Split in Croatia, is a Member of The Chartered Institute for Securities & Investment and is working towards a Certificate in Accounting

# Fund Setup and Service Providers

- Mayar Capital Advisors Ltd under the Investment Advisory Agreement and the Appointed Representative Agreement
- Mr Abdulaziz Alnaim under the Secondment Agreement with Privium Fund Management (UK) LTD
- Apex Fund Services Bahrain WLL, Apex Financial Outsourcing Services Ltd, Pershing Securities Ltd, Northern Trust Company, Jefferies International Ltd, Northern Trust Securities Inc, KPMG
- Privium Fund Management (UK) Ltd
- Mayar Capital Management Ltd



# World Class Service Providers

Brokerage



UNION BANCAIRE PRIVÉE

Brokerage



Legal

Venture One Legal

Administration



Custody



Audit



Middle & Back Office



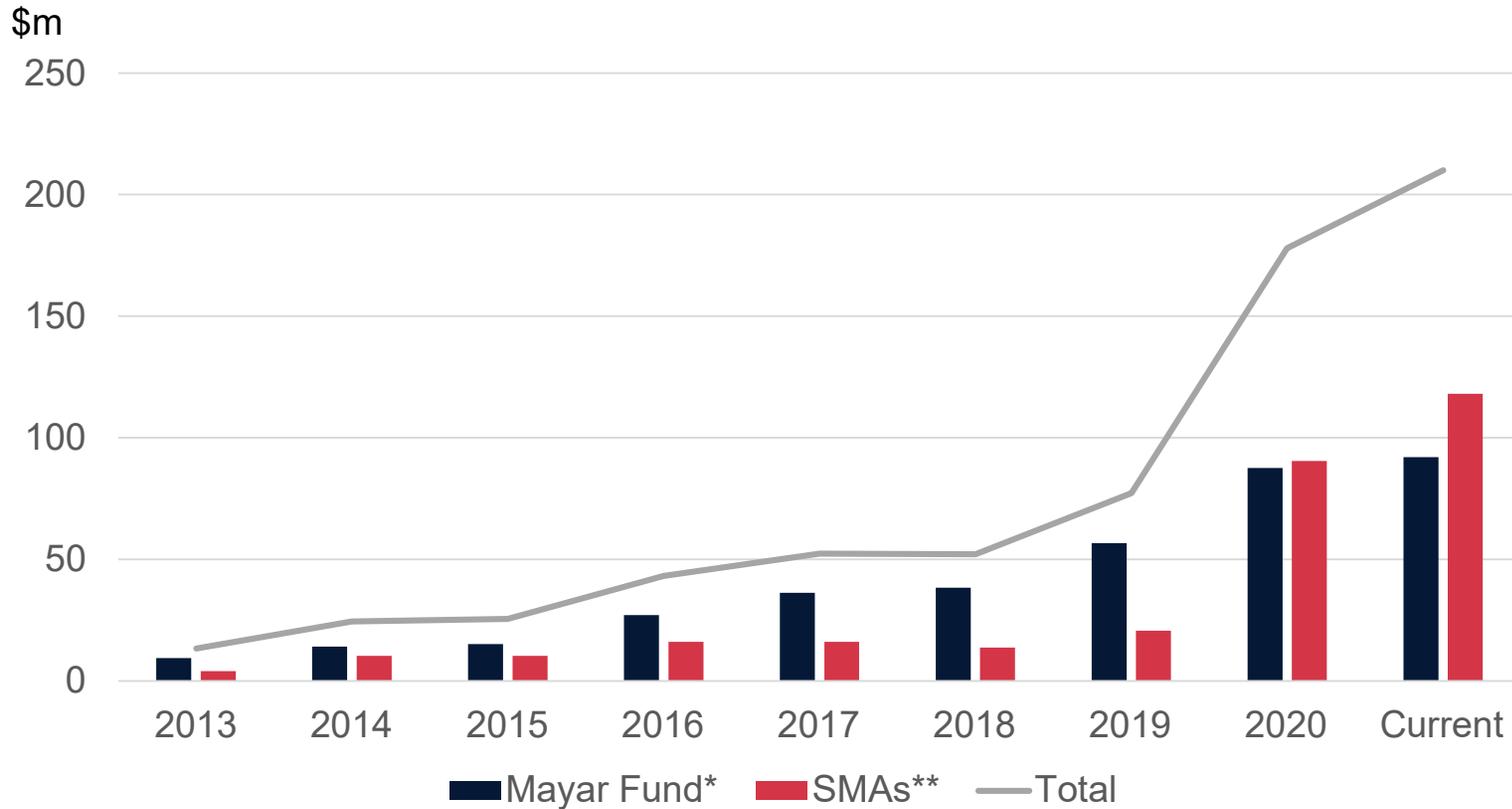
Custody



Compliance & Risk



# Assets Under Management: **Historic Growth**



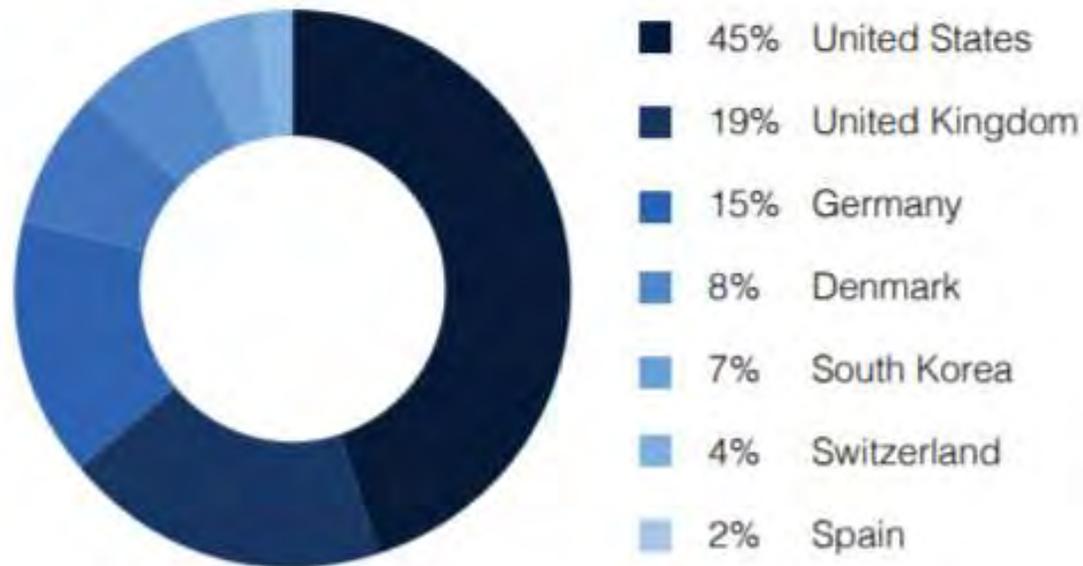
Source: Mayar Capital , Apex 31st January 2021 \*Mayar Fund Ltd is an administered fund registered under the Cayman Islands Mutual Funds Law. \*\* Segregated accounts

## Positioning: **Top 10**

<b>Name</b>	<b>Industry Group</b>	<b>Country</b>	<b>% Assets</b>
Unilever	HH & Personal Prod	United Kingdom	5.44
Brenntag	Capital Goods	Germany	5.44
Vestas Wind Systems	Capital Goods	Denmark	5.09
Henkel	HH & Personal Prod	Germany	5.07
Samsung Electronics	Tech Hardw & Equip	Korea, South	5.07
SAP SE	Software & Services	Germany	4.87
Alphabet	Media & Entertainment	United States	4.83
United Parcel Service	Transportation	United States	4.82
Discovery	Media & Entertainment	United States	4.81
Johnson & Johnson	Pharmaceuticals	United States	4.57
<b>Total</b>			<b>50.00</b>

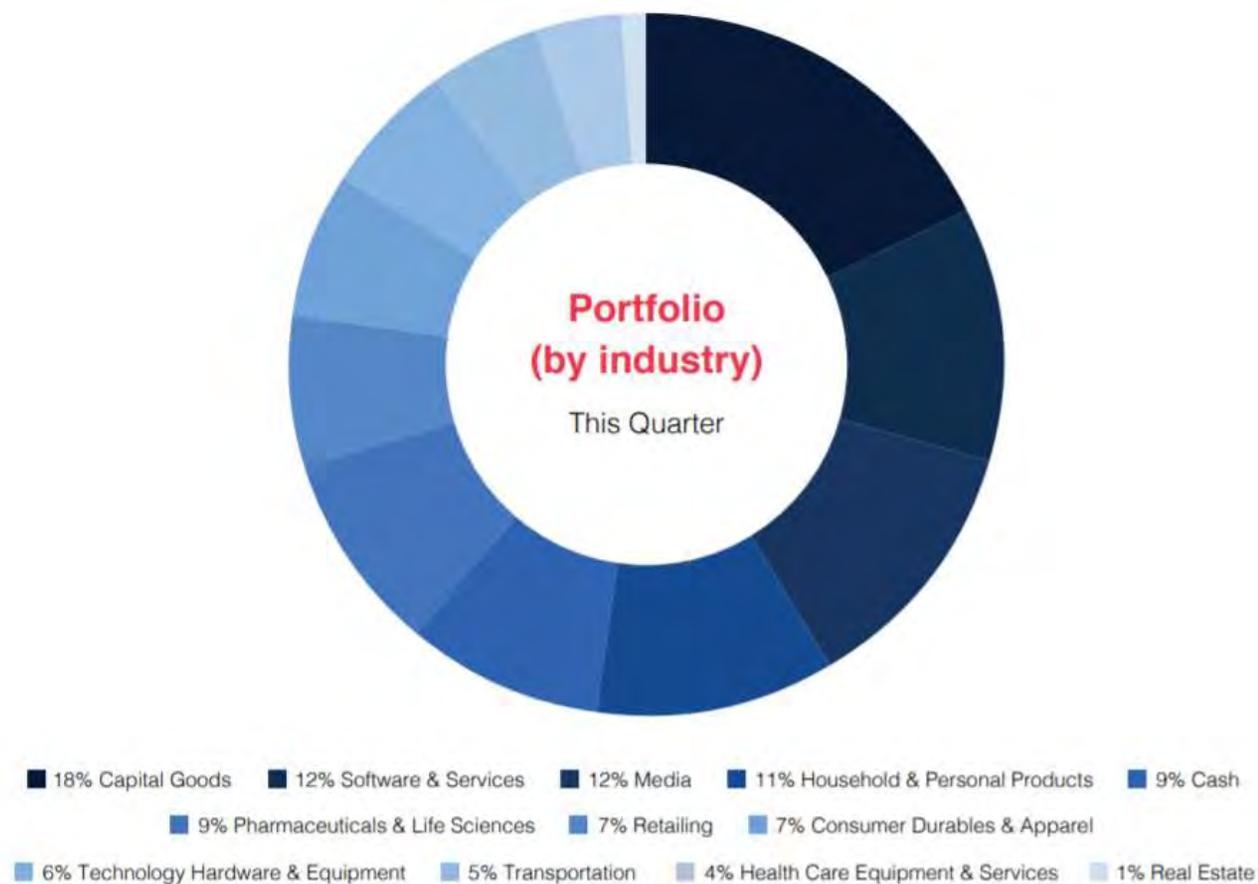
Source: Apex, Mayar Capital, 31<sup>st</sup> December 2020

# Positioning: Geographic Allocation



Source: Mayar Capital , Apex 30<sup>th</sup> September 2020

# Positioning: Industry Allocation



Source: Mayar Capital , Apex 30<sup>th</sup> September 2020

# Performance: Rolling performance of Fund and its predecessors

Annualized	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
<b>3-yr Rolling Returns (Gross)</b>	12,1%	10,1%	4,0%	-6,5%	1,7%	5,2%	19,9%	13,3%	18,9%	17,9%	13,4%	7,1%	11,2%	10,5%	16,0%	13,9%
<b>3-yr Rolling Returns (Benchmark)</b>	9,1%	9,8%	8,0%	-8,9%	-6,3%	-3,5%	11,9%	8,9%	12,7%	15,5%	9,6%	3,8%	9,3%	6,3%	12,5%	7,7%
<b>Spread against Benchmark (Gross)</b>	2,7%	0,3%	-3,7%	2,6%	8,5%	9,1%	7,1%	4,0%	5,5%	2,1%	3,4%	3,2%	1,8%	4,2%	3,5%	6,2%
<b>5-yr Rolling Returns (Gross)</b>			8,9%	0,4%	3,0%	4,9%	5,7%	8,4%	21,2%	15,4%	13,4%	13,2%	14,2%	8,5%	12,1%	13,3%
<b>5-yr Rolling Returns (Benchmark)</b>			9,4%	-2,8%	-0,2%	1,6%	-1,7%	0,3%	15,5%	11,4%	8,3%	10,4%	11,6%	4,6%	8,7%	8,3%
<b>Spread against Benchmark (Gross)</b>			-0,5%	3,3%	3,2%	3,2%	7,5%	8,1%	4,9%	3,6%	4,7%	2,6%	2,3%	3,9%	3,4%	5,0%

The data prior to 2011 reflects the performance of the predecessor fund, Yareem Ltd, which was managed by Mr. Alnaim prior to Mayar Fund. The data was audited by Deloitte Saudi Arabia. Source: Mayar Capital, Apex, MSCI as at 30<sup>th</sup> September 2020

# Awards for Mayar Fund & MCM



Winner - Acquisition International Hedge Fund Awards 2015 – Best Global Equities Hedge Fund - Cayman Islands



Mayar Capital Management Investment Company Of The Year Saudi Arabia 2015



European Hedge Fund of the Year Shortlisted - 2013



Long Only Equity Fund of the Year - 2017



Award for Innovation in Value Investing - 2015



Award for Excellence in Value Investing Strategies 2017 & Best Performing Value Fund (5 Years): Mayar Fund



MAYAR FUND CLASS A USD AS OF 31/10/2017 – to present



Winner - HFM European Performance Awards. Category: Global equity long-term performance (5 years) under \$500m

## Awards for MCM



Saudi Asset Manager of the Year  
Shortlisted - 2013



Saudi Asset Manager of the Year  
Shortlisted - 2014



Saudi Asset Manager of the Year  
Shortlisted - 2015

# Disclaimer

This communication is for information purposes only. It is not an invitation to buy or sell any of the securities or fund(s) referred to herein and is not a personal recommendation or advice on investments, taxation or on any other matter. The prospectus and supplement of the fund are the only authorised documents for offering of shares of the fund and these may only be distributed in accordance with the laws and regulations of each appropriate jurisdiction in which any potential investor resides.

This document is prepared by Mayar Capital Advisors Limited ("MCA"), authorised and regulated by the UK's Financial Conduct Authority (number 926424). It is not intended for distribution to or use by any person or entity in any jurisdiction or country where such distribution or use would be contrary to local law or regulation. Within the EEA Mayar Fund ("the Fund") is only available to Professional Investors as defined by local Member State law and regulation. Outside the EEA, the Fund is only available to Professional Clients or Eligible Counterparties as defined by the FCA, and in compliance with local law. This document is not intended for distribution in the United States ("US") or for the account of US persons, as defined in the Securities Act of 1933, as amended, except to persons who are "Accredited Investors", as defined in that Act and "Qualified Purchasers" as defined in the Investment Company Act of 1940, as amended. It is not intended for distribution to retail clients. This document is qualified in its entirety by reference to the Private Placement Memorandum (together with any supplements thereto, "the PPM") of Mayar Fund. Please see the section of the PPM on information required by Securities Laws of certain jurisdictions. Capitalized terms used herein and not otherwise defined shall have the meanings ascribed to them in the PPM. We believe the information in the document is based on reliable sources, but its accuracy cannot be guaranteed. The views expressed are the views of MCM at time of publication and may change. Where this document contains "forward-looking" information, including estimates, projections and subjective judgment and analysis, no representation is made as to their accuracy or that these projections will be realised. Neither MCM, nor MCA, nor Privium are liable for any losses relating to the accuracy, completeness or use of information in this communication, including any consequential loss.

Investments In this fund carry risks including possible loss of principal. Investments in the fund are not insured, nor are they bank deposits or guaranteed by a bank or any other entity.

Where comparisons are made to an index, this is for information only and should not be interpreted to mean that there is a correlation between the portfolio and the index. Past performance does not necessarily predict future results and the capital value of the fund's investments and the income generated can fluctuate. Where investments are exposed to currencies other than the base currency of the fund, they may be subject to foreign exchange rate fluctuations.

The registered office of Mayar Capital Management Ltd. is One Artillery Court, 161a Shedden Road, Grand Cayman, Cayman Islands P.O. Box MP 10085, KY1-1001

The registered office of Privium is The Shard, 24th Floor, 32 London Bridge Street, London, SE1 9SG

Copyright©2019, Mayar Capital Management Ltd. All Rights Reserved.





# Introduction for the Tokyo Asset Management Forum

February 2021

PRIVATE AND CONFIDENTIAL

# Northleaf has achieved steady growth with a consistent focus on global private mid-market investments across private equity, private credit and infrastructure

**US\$15B**

Commitments Raised

**400+**

Active Investments

**150**

Employees

**7**

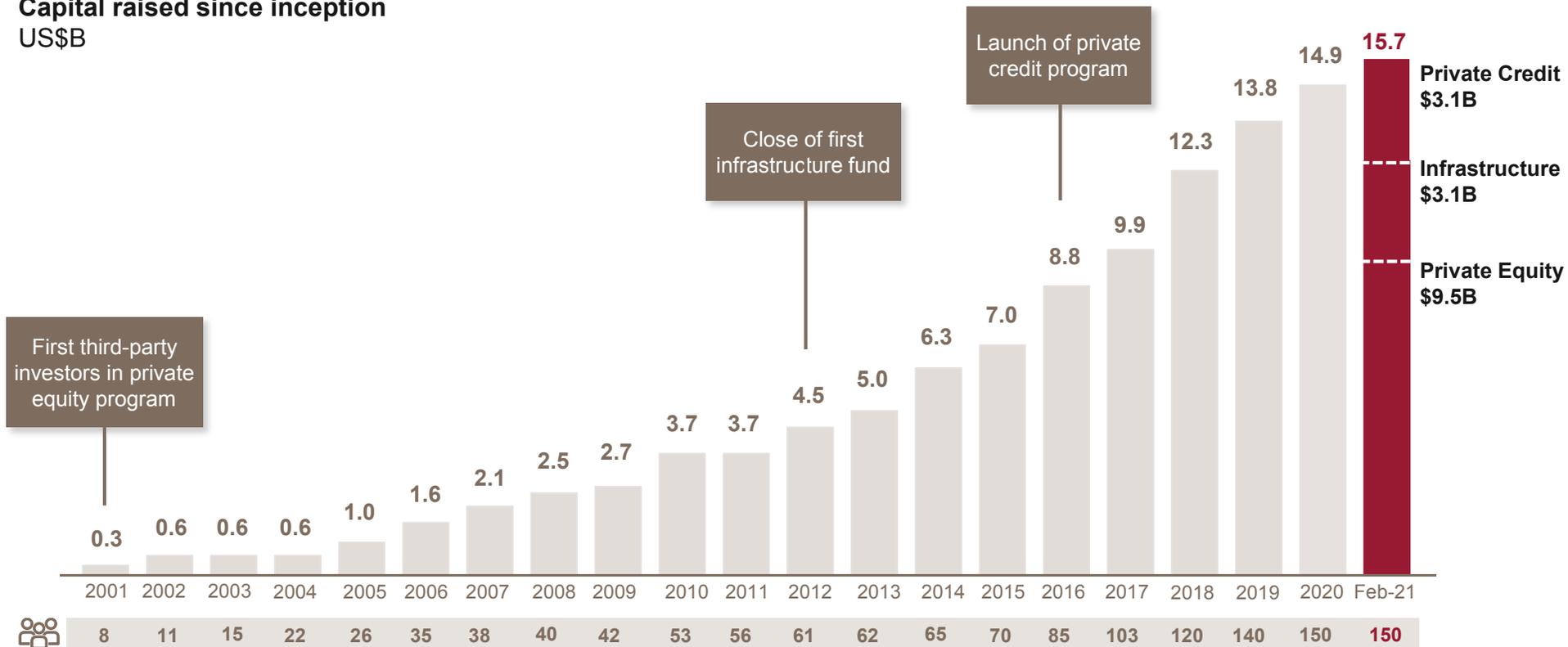
Global Offices

**A+/A**

PRI Rating<sup>1</sup>

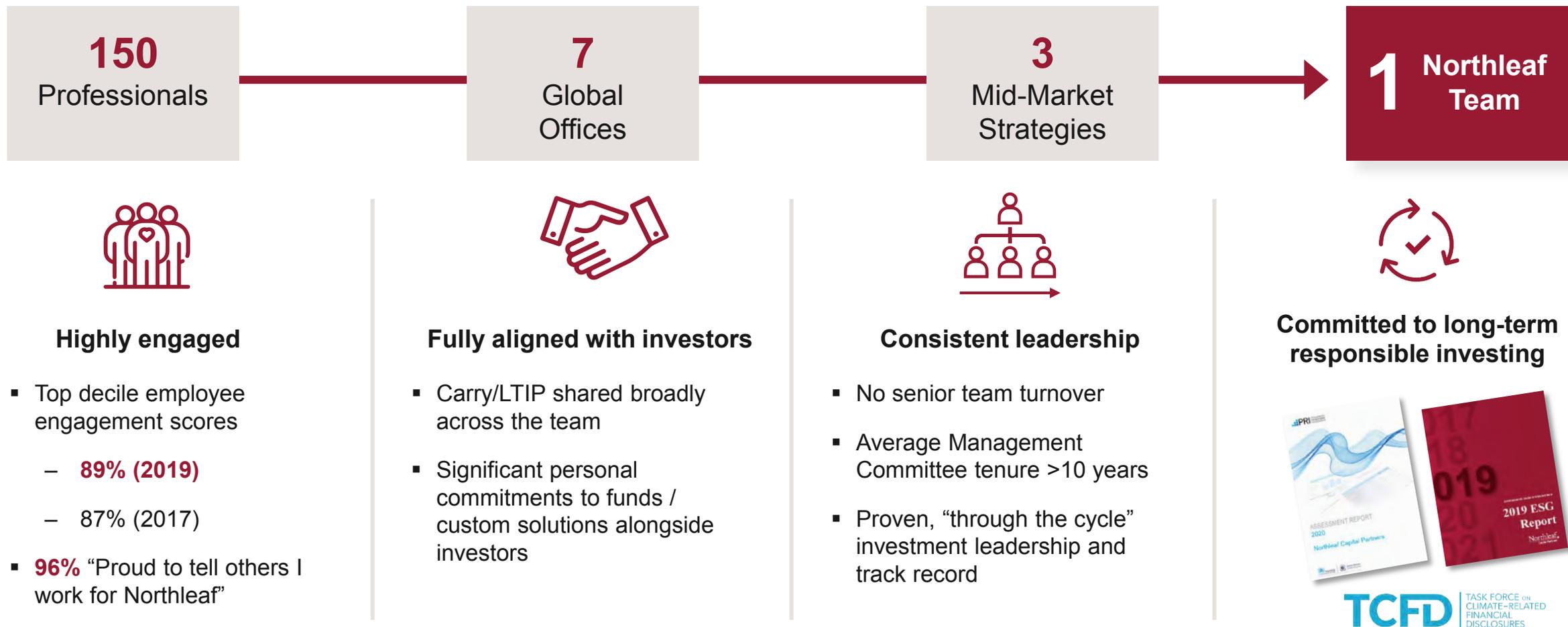
## Capital raised since inception

US\$B



- **Integrated global platform** delivers scale, deal flow and proprietary insights
- **Experienced professional team** with successful track record and extensive global network
- Well-established, **employee-controlled** franchise **backed by Canada's leading institutional investors**
- Benefits from **strategic partnership** with Power Corporation of Canada (Mackenzie Financial / Great-West Lifeco)

Northleaf's consistent and highly experienced global leadership team is supported by an engaged and fully-aligned team of more than 150 professionals in seven global offices



With a solid “defence” strategy in place, our investment teams are selectively identifying new opportunities being created by the current market dynamics

	Private Equity	Private Credit	Infrastructure
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Prior downturns have produced attractive <b>opportunities for experienced private markets investors</b> with the requisite capabilities, capital and conviction</li> <li>✓ Northleaf has extensive experience investing <b>across vintage years</b> and <b>market cycles</b></li> <li>✓ <b>Investor appetite for private markets remains strong</b></li> </ul>	<p><b>Opportunity set</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Secondary opportunities (fund level preferred equity, LP sales, GP-led)</li> <li>▪ Direct opportunities (preferred equity, attractive co-investment valuations, direct secondaries)</li> <li>▪ Primary opportunities (later stage primaries; access to leading managers)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Exploit sourcing/information advantages in secondary market</li> <li>▪ Leverage Portfolio, Strategy &amp; Analytics (PS&amp;A) team and Senior Credit Officers to identify select opportunities across existing portfolio</li> <li>▪ Benefit from lender-friendly environment for new deals</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ Robust pipeline; focus on key “essential asset” attributes</li> <li>▪ Potential to source quality assets from “motivated” sellers, developers and industrial partners</li> <li>▪ Communications and renewable energy are near-term sectors of interest</li> </ul>
<p><b>Current/New mandates (2021)</b></p>	<p>   </p> <p>  </p>	<p>  </p> <p>  </p>	<p>  </p>

Northleaf's global platform delivers the track record, scale and resources required for success in global private mid-market investing

---



- ✓ **Global investor focused exclusively on private mid-market companies/assets**
- ✓ **15+ year track record of delivering strong absolute and risk-adjusted net returns**
- ✓ **Employee-controlled firm with an integrated, fully aligned team and strong “one Northleaf” culture**

# Important Notices

---

**BY ACCEPTING THIS DOCUMENT, WHICH HAS BEEN PREPARED SOLELY FOR INFORMATION PURPOSES BY NORTHLEAF, YOU HEREBY AGREE THAT THIS DOCUMENT IS CONFIDENTIAL AND IS BEING PROVIDED TO YOU ON THE EXPRESS UNDERSTANDING THAT YOU AGREE IT WILL NOT BE REPRODUCED OR TRANSMITTED BY YOU TO THIRD PARTIES WITHOUT NORTHLEAF'S PRIOR WRITTEN CONSENT.** If you are not the intended recipient of this document, you are hereby notified that the use, circulation, quoting, or reproducing of this document is strictly prohibited and may be unlawful. This material was used by Northleaf during a presentation; it is not a complete record of the relevant discussion.

The information contained herein is in summary form for convenience of presentation. It is not complete and it should not be relied upon as such. The information set forth herein was gathered from various sources which Northleaf believes, but has not been able to independently verify and does not guarantee, to be accurate. This document was not prepared, reviewed nor approved by any of the fund managers, investment partners, their respective affiliates or the management of any of the portfolio company investment(s) referred to herein.

This document is provided to you on the understanding that, as an accredited investor and/or institutional advisor, you will understand and accept its inherent limitations, you will not rely on it in making or recommending any investment decision with respect to any securities that may be issued, and you will use it only for the purpose of discussing with Northleaf your preliminary interest in investing in a transaction of the type described herein. Any investment in private markets is subject to various risks; such risks should be carefully considered by prospective investors before they make any investment decision. Each prospective investor should consult its own advisors as to legal, tax, accounting, regulatory and related matters before investing.

These materials may contain forward-looking statements based on experience and expectations about these types of investments. For example, such statements are sometimes indicated by words such as “expects,” “believes,” “seeks,” “may,” “intends,” “attempts,” “will,” “should,” and similar expressions. Those forward-looking statements are not guarantees of future performance and are subject to many risks, uncertainties and assumptions that are difficult to predict. Therefore, actual returns could be much lower than those expressed or implied in any forward-looking statements as a result of various factors. Northleaf has no obligation to revise or update these materials or any forward-looking statements set forth herein.

The information contained herein reflects the general intentions of Northleaf. There can be no assurance that these intentions will not change or be adjusted to reflect the environment in which Northleaf will operate. Historic information on performance is not indicative of future returns. Conclusions and opinions do not guarantee any future event or performance.

PRI refers to the United Nations-backed Principles for Responsible Investment (PRI), which consists of a voluntary set of six investment principles that provide a global standard for responsible investing as it relates to environmental, social and corporate governance (ESG) factors. Eligible signatories include asset owners and investment managers. Signatories are required to report on their responsible investment activities annually. There is a separate nonprofit organization that oversees the program, also called PRIA, which produces an assessment report of ESG integration efforts in the “PRI Assessment Report”. The PRI Assessment Report aims to provide feedback to Northleaf and other PRI signatories to support ongoing learning and development. The report presents a comprehensive overview of the assessed modules which Northleaf reported and compares Northleaf's performance to the peer group. Each module score ranges from “A+” (highest score) to “E” (lowest score) and is calculated from a respective set of indicators grouped together in module specific sections. 2020 scores refer to reporting period January 2019 - December 2019. For more details on how signatories are assessed, see <https://www.unpri.org/signatories/about-pri-assessment>.

Additional information is available upon request.

Northleaf is registered in certain jurisdictions of Canada as an Exempt Market Dealer, a Portfolio Manager and an Investment Fund Manager. Northleaf is registered in the US as an Investment Advisor. In the UK, Northleaf is Authorised with the Financial Conduct Authority.

Northleaf Capital Partners® is a registered trademark of Northleaf Capital Partners Ltd. All rights reserved.

# Northleaf

Capital Partners

## Contact

 [www.northleafcapital.com](http://www.northleafcapital.com)

 + 1 866 964 4141

 [contact@northleafcapital.com](mailto:contact@northleafcapital.com)

 Follow us on LinkedIn



Toronto | Montreal | London | New York | Chicago | Menlo Park | Melbourne

Institutional investors only. Not for retail clients.

# Introduction to Octopus Group

Investing in people, ideas and industries  
that will help change the world

An aerial photograph of a large-scale solar farm. The solar panels are arranged in neat, parallel rows across a green field. In the background, there are rolling hills, trees, and a body of water under a cloudy sky.

octopus

A brighter way

# Important Information

This presentation is issued by Octopus Investments Limited (“Octopus”) for the confidential use of only those persons to whom it is distributed and is not to be reproduced, distributed or used for any other purpose. By accepting delivery of this presentation, each recipient agrees to treat this presentation as strictly confidential and not to reproduce, distribute or otherwise use this presentation or any of its contents without the prior written consent of Octopus.

Our funds and proposed investment strategies mentioned herein will place investor capital at risk and you may not get back the full amount invested. Neither past performance nor any forecast should be considered a reliable indicator of future results.

This presentation is for information and discussion purposes only. It contains information of a preliminary nature which is based on unverified and unaudited information. All information contained herein is subject to updating, revision and/or amendment (although there shall be no obligation to do so). No representation is made, assurance is given, or reliance may be placed, in any respect, that such information is correct and no responsibility is accepted by Octopus for any direct, indirect or consequential loss or damage suffered or incurred by any person in connection with the information contained herein.

Some of the proposed investment strategies will see investment risk concentrated in specific sectors, countries, currencies or companies. This means the strategy will be more sensitive to any localised economic, market, political or regulatory events.

No advice has been sought on any legal or taxation matters relating to the information set out in this presentation and recipients should seek their own legal, tax and financial advice in connection with the information contained herein. Nothing contained herein constitutes either an offer to sell or an invitation to purchase any assets, shares or other securities or capital or to enter into any agreement or arrangement in relation to matters discussed in the presentation. Nothing herein should be taken as a recommendation to enter into any transaction.

All Octopus data has been sourced from internal sources and internal analysis, unless otherwise stated. Please note that calls are monitored or recorded.

In the United Kingdom: This document is issued by Octopus Investments Limited, which is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority. Registered office: 33 Holborn, London EC1N 2HT. Registered in England and Wales No. 03942880. This material is for distribution to Professional Clients only, and should not be relied upon by any other persons.

Outside of the United Kingdom: This document is issued by Octopus AIF Management Limited (OAIFM), which is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority. Registered office: 33 Holborn, London EC1N 2HT. Registered in England and Wales No. 08802172. This material is for distribution to Professional Clients only, and should not be relied upon by any other persons.

## Japan

Any interests in an Octopus fund will constitute such securities as provided in Article 2, Paragraph 2, Item 6 of the Financial Instruments and Exchange Act of Japan (“FIEA”). No securities registration statement has been or will be filed under the FIEA with respect to solicitation of such interests since such solicitation falls under the category of small number private placement (shoninzuu muke kanyu) as described in Article 23 13, Paragraph 4 of the FIEA.

Any transfer of all or any part of the interests by the investor resident in Japan shall be prohibited except where:

- i) in the case of a Japanese investor being a qualified institutional investor (tekikaku kikan toshika) (“QII”) under Article 10 of the Cabinet Office Ordinance concerning Definitions provided in Article 2 of the Financial Instruments and Exchange Act of Japan (the Ministry of Finance Ordinance No. 14, as amended), such Japanese investor transfers all or part of its interests to a QII;
- and ii) in the case of a Japanese investor being a non QII, such Japanese investor transfers all of its interests to one entity or one individual (i.e. partial transfer is prohibited).

# Octopus for institutional investors

A leading multi-strategy alternatives investor

We focus on a small number of sectors where we can be leaders



**Renewables**  
**£2.3bn**  
FUM

One of Europe's largest managers of renewable energy, largest owner / manager of solar assets<sup>1</sup>



**Care Home and Retirement real estate**  
**£1.1bn**  
FUM

Established UK investor in modern, fit-for-purpose care homes and retirement communities



**Commercial real estate debt**  
**£1.2bn**  
FUM

Second largest non-bank lender to UK property<sup>2</sup>



**Ventures and growth businesses**  
**£3.2bn**  
FUM<sup>4</sup>

A top ten European venture capitalist and a leading listed smaller companies manager<sup>3</sup>



<sup>1</sup>Source: [www.solarassetmanagementeu.com](http://www.solarassetmanagementeu.com), June 2019. <sup>2</sup>Source: Real Estate Capital Debt Fund, June 2020. <sup>3</sup>Source: Pitchbook data and press releases as at 1<sup>st</sup> September 2020. Data shows total fundraises since inception for the Venture strategy of venture capital firms in Europe. Data excludes Growth and Opportunities funds, PE firms and investors in biotech/life sciences. <sup>4</sup>Combined FUM of Ventures, AIM and Apollo. <sup>5</sup>The figure shown includes funds under management, under advice and the Octopus Cash service as at 30<sup>th</sup> September 2020.



Over the years, Octopus has become a household name

**octopus** investments  
A brighter way

2008

**octopus** real estate  
A brighter way

2010

**octopus** energy  
A brighter way

2000

**octopus** ventures  
A brighter way

2010

**octopus** renewables  
A brighter way

2016

# Our approach to responsible investment

## Octopus Philosophy

At Octopus, we are values driven and our philosophy is embedded in our culture, our approach and the assets we choose to manage; it is corroborated by our application to become **B Corp** accredited and our approach to responsible investing

## Environmental, Social, Governance (ESG) management

**ESG** is the approach that we, as investors, use to identify and mitigate Environmental, Social and Governance risks and opportunities that may impact the value or reputation of our clients' investments

## Impact investing

**Impact investing** is how, for some of our products, we specifically target positive outcomes for the planet or wider society

## Impact

Our **impact** is the change in social or environmental outcome, good or bad, directly attributable to our investment products, services, technology or infrastructure.

**We are passionate about bringing this to life for our customers**



[investorrelations@octopusinvestments.com](mailto:investorrelations@octopusinvestments.com)  
Octopusinvestments.com



Octopus Investments  
33 Holborn  
London EC1N 2HT



# Tokyo Asset Management Forum

---

2021年2月24日

時国司

# オービス・グループ: 1989年創立以来ボトムアップの銘柄選択者



## グループ概要

- ファンダメンタル、長期、コントラリアンな思想
- 10拠点 - 5つの運用拠点
- 63名の運用プロフェッショナル
- 顧客資産残高371億米ドル
- 50ヶ国以上にわたる顧客ベース

● 運用部門    ● 管理部門    ● 姉妹会社

2020年12月31日時点 | オービスの常勤役職員のみ。63名の運用プロフェッショナルは、38名の株式アナリスト、8名のマルチアセット・アナリスト、7名のクオンツ・アナリスト、2名の通貨アナリスト、および8名のトレーダーで構成されています。\*アラン・グレイ・プロプライエタリー・リミテッドは1973年に創立し、1974年より顧客資産の運用を開始しました。

# オービスとは



- 優れた長期リターンを生む為には、他と異なる考え方をする必要があります。
- 約30年に亘り、オービスはボトムアップ銘柄選択、そしてビジネス遂行において、一貫してコントラリアンなアプローチを続けています。
- しかしこの手法では、アンダーパフォーマンスの期間が生じることは避けられず、お客様は当該期間を乗り越えることができるか試されることになります。

## オービスによるコントラリアンな意思決定の例



■ ポートフォリオ(オービス・グローバル・エクイティ戦略)

■ ビジネス

2020年12月31日時点 | 出典: オービス。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスの目安として信頼することはできません。オービス・ファンドの価額は変動し、保証されておりません。運用成績は為替の変動によっても上下する場合があります。ファンドに投資すると、投資家の投資元本はリスクにさらされます。運用成績の計算方法については巻末の「注意事項」をご参照ください。運用報酬及び費用控除後のリターンは、コア・リファンダブル・リザーブ・フィーのものです。

# オービスの組織原理



オービスの組織は、運用哲学の貫徹およびお客様とオービスの利害の一致を実現するよう構築されています。

## 払戻しメカニズムのある 成功運用報酬\*

オービスの運用報酬体系はパフォーマンスに連動しており、お客様にお支払い頂く成功運用報酬は、その後アンダーパフォーマンス期間が生じた場合には、**払戻しの対象**となります。更に、1億米ドル以上の投資をするお客様には基本運用報酬なしのオプションも提供しています。払戻しメカニズムのある成功運用報酬によって、オービスとお客様の利害の一致を確保しています。

## 緻密なパフォーマンス 寄与システム

各アナリストにペーパー・ポートフォリオを持たせ、独自の投資判断を行えるようにしています。そして、弊社自社開発のパフォーマンス寄与システムが各個人の投資意思決定結果を客観的に評価しています。これにより、個人によるコントラリアンな意思決定を後押しするのに加え、最も能力のあるアナリストを客観的に選定することが可能になっています。また、アナリストが成長するためのフィードバック・システムとしても機能しています。

## 創業者ファミリーによる 永続的なプライベート・ オーナーシップ

オービス・グループの支配権はオービスの創業者によって設立された財団が保有しています。このオーナーシップ構造により永続的に非上場企業であることが担保され、**長期的且つコントラリアンな投資意思決定を支えている**と考えています。

## お客様との共同投資

会社のオーナー、経営陣、およびスタッフはお客様と共にオービス・ファンドに共同投資しており、同一の条件および同一の運用報酬で投資を行っています。グループとしては、**我々オービスの役職員はオービス・ファンドの最大の投資家のひとつ**となっています。したがって、我々にはお客様の資産を守る責任を負った管理者として行動する強いインセンティブがあります。

\*RRFシェアクラスにおいて払戻しメカニズムを有しています。

# オービスの戦略



絶対収益運用戦略				リターン* (年率%, 設定来)				下落 (設定来)		業界の リスク指標	相関 (設定来、運用報酬及び費用控除前)			
								設定来最大の 下落						
設定年	顧客資産 残高 (米ドル)	ベンチマーク	オービス (運用報酬 及び費用 控除後)	米ドル 銀行預金	米ドル債券 ファンド 平均	グローバル 株式ファンド 平均	下落率(%)	回復までの 期間	ボラティリティ (%)	FTSE ワールド・ インデックス	米ドル 債券ファンド 平均	ヘッジファン ド(マーケ トニュート ラル)		
オプティマル (米ドル)	1990	26億	該当なし	6.9	3.1	4.7	6.0	(20)	>34ヶ月†	7.9	0.1	0.1	0.2	

\*オプティマル戦略の設定来リターンは伝統的な資産クラス(例: 現預金、株式、債券)との相関が低くなっています。そのため、運用成績比較のための明確な単一運用ベンチマークは設定していません。同戦略の評価には、少なくとも一つ以上の景気循環期間において、現預金、株式、債券などのグローバル資産クラスと比較したリスク調整後のリターンをご参照ください。

ロング・オンリー株式運用戦略				リターン (年率%, 設定来)			下落 (設定来)				業界のリスク 指標		主要指標‡		
							設定来最大の下落								
設定 年	顧客資 産残高 (米ドル)	ベンチマーク	オービス (運用報酬 及び費用 控除後)	ベンチ マーク	アルファ	下落率(%)		回復までの期間		トラッキ ング・エ ラー (%)	ボラティ リティ (%)	アクティ ブ・シェ ア (%)	組入銘柄 数 (NAVの 80%)	銘柄 回転率§ (%)	
						オービス	ベンチ マーク	オービス	ベンチ マーク						
グローバル	1990	249億	MSCIワール ド・インデ ックス(税引 後配当込み)	11.8	7.0	4.4	(48)	(54)	39ヶ月	69ヶ月	8.9	16.6	93	30	38
ジャパン(円クラス)	1998	19億	TOPIX(税引 後配当込み)	8.1	3.4	4.5	(50)	(56)	84ヶ月	93ヶ月	9.3	18.4	91	18	30
オービスSICAVエ マージング・マーケ ット・エクイティ・ファン ド(オービス・アジア (除く日本)エクイティ 運用戦略を含む)†	2006	31億	該当MSCI ベンチマーク (税引後配当 込み)	8.8	8.0	0.7	(55)	(62)	20ヶ月	81ヶ月	7.7	22.1	87	16	45

†本行に記載されている数値は、顧客資産残高を除きオービス・エマージング・マーケット・エクイティ運用戦略最大のファンドであるオービスSICAVエマージング・マーケット・エクイティ・ファンドのもので、顧客資産残高はオービス・エマージング・マーケット・エクイティ運用戦略全体のもので、2016年11月1日、当ファンドはその運用戦略を拡大し、アジア(除く日本)株式から全てのエマージング・マーケット株式を含むようになりました。それに伴いファンドの名称は「オービスSICAVアジア(除く日本)エクイティ・ファンド」から「オービスSICAVエマージング・マーケット・エクイティ・ファンド」に変更となり、ベンチマークは「MSCIアジア(除く日本)インデックス」から「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」に変更されました。

オプティマル及びジャパン戦略の顧客資産残高は、各戦略における異なる通貨建てのファンド顧客資産残高を含みます。リターンおよびリスクの指標は、コア・リファンダブル・リザーブ・フィー及び費用控除後のものであり、オービス・ジャパン・エクイティ(円クラス)運用戦略およびTOPIXは円建て、それ以外は米ドル建てとなります。

2020年12月31日時点 | 過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスの目安として信頼することはできません。オービス・ファンドの価額は変動し、保証されておりません。運用成績は為替の変動によっても上下する場合があります。ファンドに投資すると、投資家の投資元本はリスクにさらされます。運用成績の計算方法については巻末の「注意事項」をご参照ください。†下落開始からの期間(月)。当該下落はまだ回復していません。‡主要指標は戦略の代表口座に基づきます。§銘柄回転率は、当該期間の開始時点において当ファンドが保有していたが、当該期間の終了時点にはすでに保有していなかったポジションの数を、当該期間の開始時点において当ファンドが保有していた全ポジションの数で除した値として計算されています。

# 注意事項：本資料について（オービス・ファンド）



本資料はオービス・インベストメンツ株式会社及び同社が所属するオービス・グループ、またオービス・グループが運用するオービス・ファンドに関する情報提供を目的とする資料です。本資料中に記載した個別の金融商品の推奨や勧誘を意図するものではありません。

## オービス・ファンドへの投資にあたりお客様にご負担いただく手数料等について

### ■運用報酬

**インベスター・シェアクラスへの投資(最低初回投資額5万米ドル)**:インベスター・シェアクラス(株式運用戦略のみ)では、ファンドがベンチマーク比率で達成した過去三年間の運用実績に応じ、年率で最大2.50%の運用報酬がかかります。

**コア・リファンダブル・リザーブ・フィー・シェアクラスへの投資(最低初回投資額2千万米ドル)**:コア・リファンダブル・リザーブ・フィー・シェアクラスでは、固定された運用基本報酬として株式運用戦略の場合最大0.45%、オプティマル(絶対収益運用)戦略の場合0.75%さらに成功報酬として成功報酬ハードルに対する相対パフォーマンス(運用基本報酬控除後)の25%がかかります。将来ベンチマークを下回った場合には成功報酬部分の払戻しが発生することがあります。

**ゼロ・ベース・リファンダブル・リザーブ・フィー・シェアクラスへの投資(最低初回投資額1億米ドル)**:ゼロ・ベース・リファンダブル・リザーブ・フィー・シェアクラスでは、成功報酬ハードルに対する相対パフォーマンスの33%が成功報酬としてがかかります。将来ベンチマークを下回った場合には成功報酬の払戻しが発生することがあります。

**■費用**:オービス・ファンドは、ファンド資産から資産保管会社に対し資産保管費用、一般事務受託者に対し事務受託費用を支払います。また、ファンドの管理費用、有価証券取引の売買手数料等の費用が発生します。これらは、ファンド資産から支払われるため、お客様が間接的に負担することとなります。これら費用の合計額は、投資金額や運用状況等によって異なるため、一律に金額を表示することができません。手数料等の詳細は、お客様に交付されます契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、その内容をご確認ください。

## オービス・ファンドへの投資に関するリスクについて

オービス・ファンドは、投資対象とする有価証券およびその通貨の価格変動、有価証券の発行者等の信用状態の悪化、有価証券取引市場における流動性等の要素により基準価額が下落し、お客様の投資元金を割り込む場合があります。

投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等によってリスクの内容や性質が異なるため、全てを一律に表示することができません。詳細は、お客様に交付されます契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、その内容をご確認ください。

## 個別銘柄について

本資料中に記載した個別銘柄に関する情報は、オービス・ファンドの運用に関してオービスが行った投資判断の理由を説明すること、また資料の作成日時点または資料中に記載された特定の基準日時点におけるオービスの見解を示すために記載されています。特定の有価証券・金融商品の取引を推奨するものではなく、お客様に対する投資助言を提供するものでもありません。また、オービスの見解は、特定の時点における特定の状況を前提とするもので、その後制約なく変更、撤回する場合があります。

**運用成績について**:過去の運用成績は、将来の運用成績を保証しません。オービス・ファンドのネット運用成績は、全ての配当を含み、運用報酬と費用を控除し、分配金の再投資を想定して計算しています。グロスの運用成績は、全ての配当を含み、費用のみを控除し、分配金の再投資を想定して計算されています。

## リファンダブル・リザーブ・フィー(RRF)シェアクラスの運用成績

オービス・コアRRFシェアクラスの運用成績は、本資料に明記されたオービス・ファンドの設定日において、仮想投資家が2,000万ドルの投資を行い、その後本資料中に記載の基準日まで追加・解約等

の事後的なファンド取引をしないというシミュレーションに基づくものです。

**運用戦略の運用成績**:運用戦略のグロス運用成績は、同一の運用戦略により運用される全ての運用ポートフォリオの資産額を加重平均し、弊社の合理的な推測により算出されています。各運用戦略のネット運用成績は、グロス運用成績に対し、本資料中に明記の特定の運用報酬スケール(シェアクラス毎に適用されるもの)を適用したもので、当該ファンドに実際に投資をした投資家が実際に経験する運用成績を示すものではありません。

**データの出典**:TOPIXトータル・リターン・インデックスはトムソン・ロイターズから取得しています。「TOPIX」は株式会社東京証券取引所の登録商標です。TOPIXデータの再配布を禁じます。MSCI: MSCIの情報は内部使用のみが許されており、いかなる形で再作成、再配布することはできません。また、いかなる金融商品、金融指数の構成要素として使用することはできません。MSCIの情報は投資判断(投資しない判断を含む)に帰結する投資助言や投資推奨を構成することを意図しておらず、そのようなものとして信頼することはできません。過去のデータ及び分析は将来の運用成績の分析、予測、予想を示唆するものとして理解されるべきではありません。MSCIの情報は情報提供時点でのそのままの内容であり、情報の受領者はその情報を利用することによるあらゆるリスクを想定する必要があります。MSCI、その提携会社、MSCI情報を編集、算出、作成する各担当者(以下、総称して「MSCI関係者」といいます)は、本情報に関するいかなる保証(独自性、正確性、完全性、適時性、包括性、商業性、特定の目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。)もしないことを明示的に言明します。前記述を制限することなく、MSCI関係者はいかなる直接、間接、特別、付随的、懲罰的、派生的(逸失利益を含みますが、それに限定されません)その他の損害に関し責任を負いません。(www.msci.com)。「グローバル株式ファンド平均」出典:モーニングスター。主として世界中の大型株に投資するファンドとして、モーニングスターが定義するグローバル大型株ブレンドファンドにより構成されています。「米ドル債券ファンド平均」出典:モーニングスター。主として投資適格の企業または政府が発行する債券に投資する、米ドル建てまたは米ドルヘッジのファンドとして、モーニングスターが定義する米ドル分散型債券ファンドにより構成されています。「ヘッジファンド」=ヘッジファンドリサーチ 株式マーケットニュートラルインデックス:ブルームバーグから取得しています。©2019年モーニングスター:無断複写、転載を禁じます。本資料におけるモーニングスターの情報は(1)モーニングスターまたはその情報提供者に帰属し(2)複写または配布することが禁じられ(3)その正確性、完全性、適時性を保証されるものではありません。モーニングスターまたはその情報提供者のいずれも、情報の使用に起因する一切の損害、損失について責任を負うものではありません。FTSE: FTSEワールド・インデックスの出典はFTSEインターナショナル・リミテッド(「FTSE」)© FTSE 2019年。FTSEはロンドン証券取引所グループの登録商標で、使用許諾に基づきFTSEが使用しています。無断複写・転載を禁じます。FTSEのインデックス及びFTSEのレーティングに係る全ての権利はFTSE及びその許諾を受けた者が使用を許可しています。FTSEまたはその使用許諾を受けた者は、FTSEインデックス、FTSEレーティング、及びそれらを構成するデータの誤り、脱漏に関しいかなる責任も負いません。FTSEの文書による明示の許可がない限り、FTSEデータの再配布を禁じます。その他のデータ出典はデータを記載した資料の当該ページ内に記載されています。

オービス・インベストメンツ株式会社 金融商品取引業者

関東財務局長(金商)第2944号 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本投資者保護基金 加入



# ティケオー・キャピタルのご紹介

2021年2月

# グローバルなオルタナティブ資産運用グループ

TKO  
LISTED  
EURONEXT

ユーロネクスト上場  
ティッカー：TKO

創立  
2004年

285億ユーロ (1)  
運用資産残高

28億ユーロ (2)  
自己資本  
(一部は当社投資戦略に投資)

約570名 (2)  
従業員およびパートナー数

BBB- / stable  
信用格付け (Fitch)

非公開・公開市場における  
確立されたトラック・レコード

欧州の中小企業向け  
代替資金調達における  
パイオニアであり大手運用会社

グローバルな拠点網  
パリ、ロンドン、アムステルダム、ブリュッセル、ルクセンブルグ、マドリード、ミラノ、ニューヨーク、ソウル、シンガポールおよび東京

主要な投資戦略  
プライベートデット、不動産、  
プライベートエクイティ、高流動性戦略

(1) 2020年12月31日現在

(2) 2020年6月30日現在



# グローバルな拠点

## パリ

32, rue de Monceau  
75008 Paris  
FRANCE  
電話 : +33 1 40 06 26 26

## ロンドン

30 St. Mary Axe  
London EC3A 8BF  
UK  
電話 : +44 203 821 1030

## アムステルダム

ITO Tower - Gustav Mahlerplein  
104 1082 MA Amsterdam  
NETHERLANDS  
電話 : +31 20 796 93 61

## ブラッセル

IT Tower, Avenue Louise  
480  
1050 Brussels  
BELGIUM  
電話 : +32 2894 0080

## ルクセンブルク

37A avenue J-F Kennedy  
L-1855, Luxembourg,  
LUXEMBOURG  
電話 : +352 2733 5450

## マドリード

Calle de Velazquez 98  
28 006 Madrid  
SPAIN  
電話 : +34 91 048 1666

## ミラノ

Galleria San Fedele – Via Agnello 20  
20121 Milan  
ITALIE  
電話 : +39 02 0063 1500

## ニューヨーク

412 West 15th St.  
18th Floor  
New York, NY 10011  
UNITED STATES  
電話 : +1 212 922 3734

## ソウル

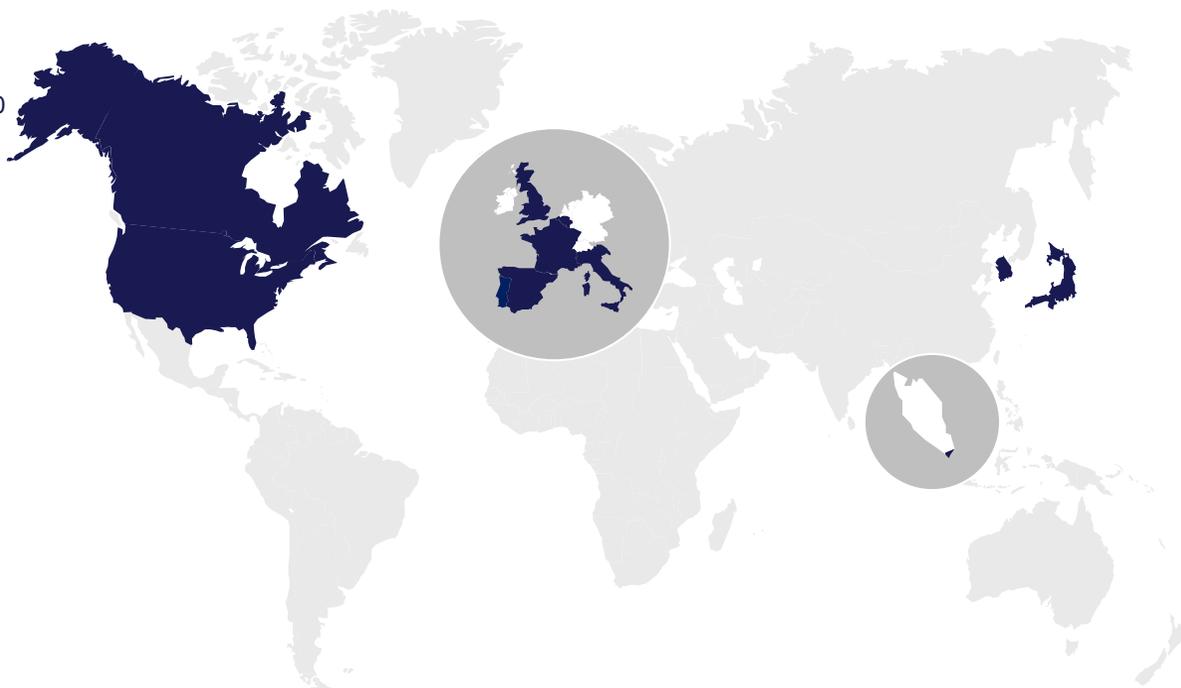
43FI, Three IFC  
10 Gukjegeumyung-ro,  
Youngdeungpo-gu  
Seoul, 07326  
KOREA  
電話 : +82 2 6138 4331

## シンガポール

1 Wallich Street #15-03  
Guoco Tower  
Singapore 078881  
SINGAPORE  
Phone: +65 6718 2111

## 東京

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内 2-2-3  
丸の内仲通りビル6階  
電話 : + 81 3 584 2770





# Vertex Holdings会社紹介

2021年2月24日 Tokyo Asset Management Forum資料  
猪飼 由衣 (Executive Director, Partnership Group)

6

ネットワーク  
ファンド

> 90

VCプロフェッショナル

> USD  
4B

運用資産残高  
(AUM)

> 200

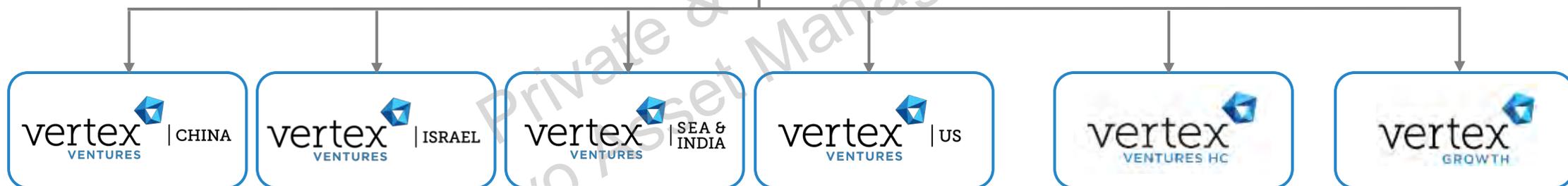
アクティブ  
ポートフォリオ企業

# Vertex : グローバルベンチャーキャピタルファンド

シンガポール政府系投資会社

## TEMASEK

ベンチャーキャピタルホールディングスカンパニー

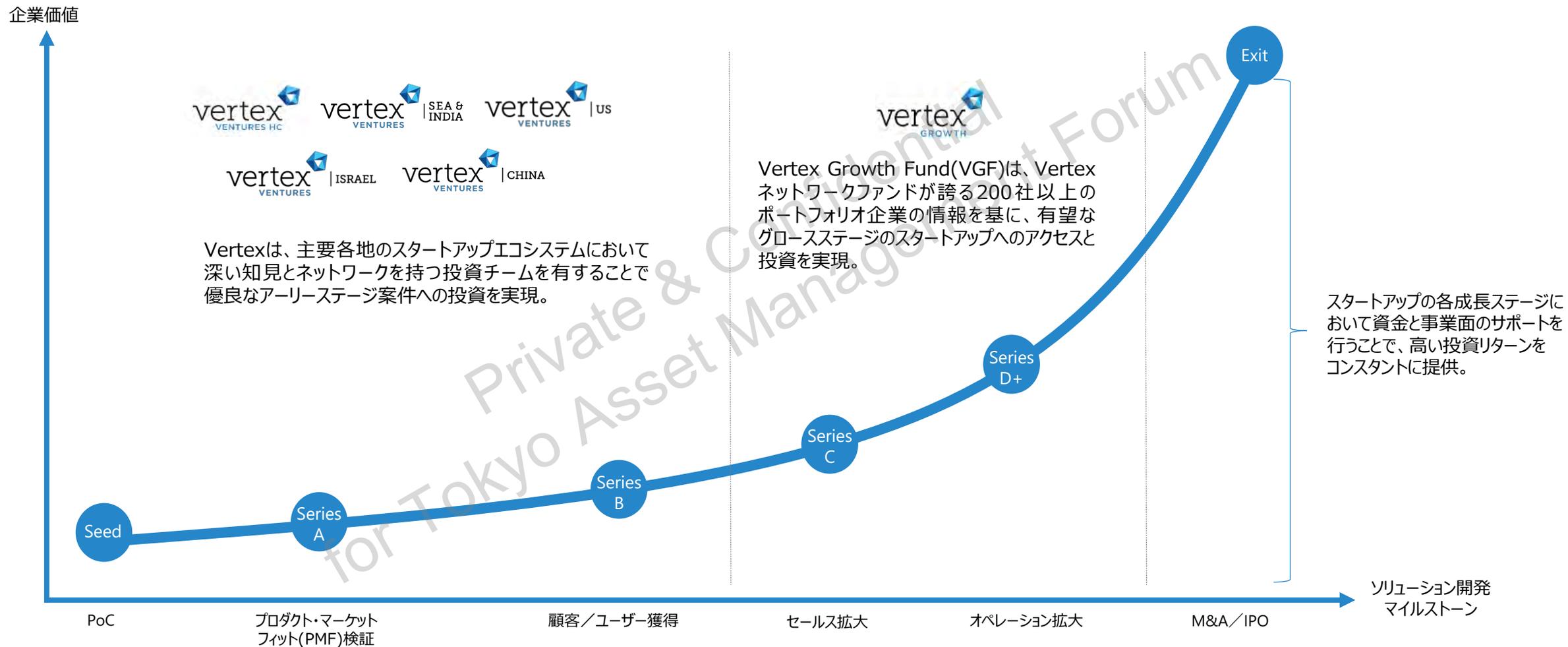


2021年Vertex Growth2号ファンド調達予定

中国	イスラエル	東南アジア・インド	米国	グローバル	
IT				ヘルスケア	IT & ヘルスケア
アーリーステージ					グロースステージ

# Vertex : 企業の成長を支える資金提供

アーリーステージ、グロースステージ、そしてイグジットまで、スタートアップの成長ステージに応じた資金提供を行っております。



# Vertex : グローバルなローカルチーム



## GLOBAL COVERAGE



# Vertex : 投資セクター



## 地域



- データ | クラウド
- エンタープライズ
- インダストリー4.0



- セキュリティ
- 自動車
- エンタープライズ



- 消費アップグレード
- AI
- ディープテック



- コンシューマー向けインターネット
- フィンテック
- エンタープライズ

## グローバル



- メドテック
- バイオテック



- IT
- ヘルスケア

# Vertex : 投資領域と出資先企業(抜粋)

## フィンテック



## セキュリティ



## コンシューマー / インターネット



## エンタープライズオートメーション / AI



## メドテック



## インシュアテック / 不動産テック



## インダストリー4.0



## ディープテック / ハードウェア



## バイオテック



# Vertex : イグジット事例

 <p>STAR MARKETに上場 USD 3.5M*1</p> <p><b>57x**</b></p>	 <p>NASDAQに上場 USD 4.0B*1</p> <p><b>23x</b></p>	 <p>Googleへ売却 USD 1.3B</p> <p><b>22x</b></p>
 <p>Continentalへ売却 USD 400M</p> <p><b>13x</b></p>	 <p>Meituan Dianpingへ売却 USD 2.7B</p> <p><b>13x</b></p>	 <p>Baiduへ売却 USD 1.9B</p> <p><b>11x</b></p>
 <p>HKEXに上場 USD 9.4M*1</p> <p><b>11x</b></p>	 <p>一部分のExit*3 USD 335M</p> <p><b>11x</b></p>	 <p>Soft BankとToyotaへ売却*4 USD 14B</p> <p><b>10x</b></p>
 <p>Proofpointへ売却 USD 120M</p> <p><b>7x</b></p>	 <p>NASDAQに上場 USD 1.3B*1</p> <p><b>6x</b></p>	 <p>Medtronicへ売却 USD 408M</p> <p><b>3x</b></p>

リターン  
(マルチプル)

\*1 2020年2月27日時点での価値  
\*2 上場初日時点(未実現損益)

\*3 Partial Exit via firstcry.comの一部であるBusyBeesロジスティクスソリューション社へ一部売却。リターンは未実現及び実現損益の合算により算出。

\*4 一部売却。リターンは未実現及び実現損益の合算により算出。

# Vertex : テクノロジーやイノベーションに関する情報提供

## マンスリーニュースレター「Vantage」

出資先企業やVertexの最新ニュースを毎月お届け  
ニュースレターの登録はこちら - [リンク](#)



## SNSページ

Facebook日本向けページでの情報発信

Facebook日本向けページ - [リンク](#)



## 「VERTICES」シリーズ

出資先企業を取り上げご紹介



## ディールアラート (LP向け)

新規投資情報をお届け



## 最新イノベーションやテクノロジーに関するレポート

サイバーセキュリティ、AI、VCトレンド、オープンイノベーションなど



Global Open Innovation Insights  
[ダウンロードリンク](#)



グローバルベンチャーキャピタルの最新動向  
[ダウンロードリンク](#)



[ダウンロードリンク](#)



[ダウンロードリンク](#)



おまかせ寿司とベンチャーキャピタルの共通項とは  
[リンク](#)

ご清聴ありがとうございました。



**sansan** ∞ Eight

【お問合せ】

Vertex Holdings 猪飼由衣  
yuiikai@vertexholdings.com



## パネルディスカッション② 資産運用業界の未来への提言

### ■ パネラー :

アセットマネジメントOne株式会社 取締役社長 菅野 暁 氏

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長兼CEO 猿田 隆 氏

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社 代表取締役社長 菱田 賀夫 氏

三菱UFJ信託銀行株式会社 常務執行役員 大森 治朗 氏

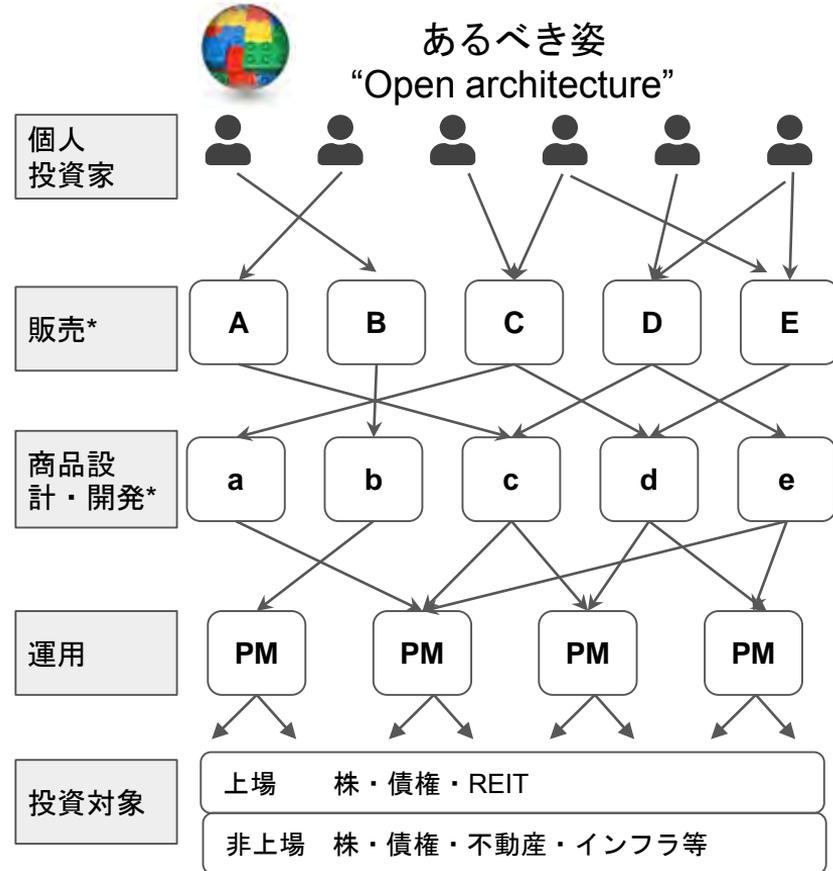
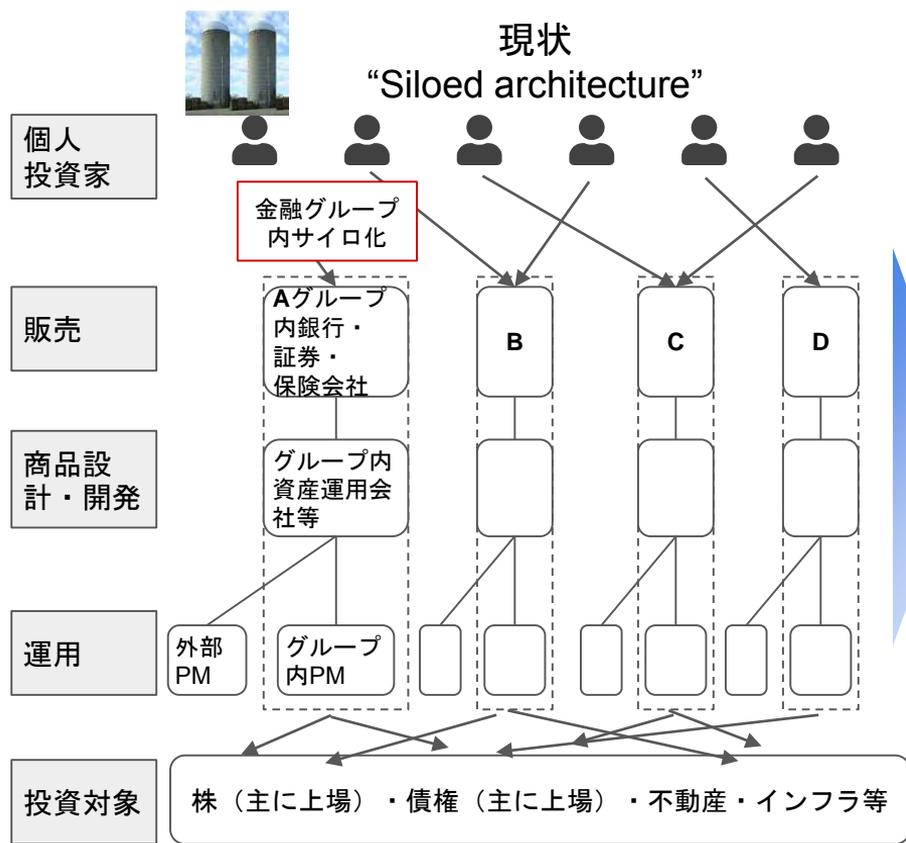
### ■ モデレーター :

FinCity.Tokyo 専務理事 有友 圭一

# Key questions of panel discussions

1. 投資家保護を実現しつつEMの多様性を図る上では、EMの要件をどう定義づけるべきか
2. EMへのシード拠出を促進する上で、何が一番重要か
3. EMP促進に向けて貴社にご協力頂けることは何か

# 公募投資信託販売の現状とあるべき姿





**ご視聴ありがとうございました  
アンケートへのご協力をお願いいたします**